



始



大正八年五月

大正七年度業務功程

群馬縣立農事試驗場

一〇、多收競作試驗	二二頁
一一、石灰加用試驗	二五頁
一二、純系淘汰試驗	二七頁
(一) 純系淘汰收量比較試驗	二八頁
(二) 純系淘汰第一年	三五頁
(三) 純系淘汰第二年	三五頁
第一、陸稻	
一、耕種梗概	四九頁
二、品種試驗	五〇頁
三、品種育成試驗	五二頁
四、純系淘汰試驗	五三頁
(一) 純系淘汰收量比較試驗	五三頁
(二) 純系淘汰第一年	六二頁
第三、大豆	
一、耕種梗概	六二頁

二、品種試驗	六三頁
三、純系淘汰試驗	六四頁
第四、纖維料作物	
一、蘭草ニ關スル試驗	六五頁

第五、麥類	
一、耕種梗概	六五頁
二、品種試驗	六七頁
三、豐凶考照試驗	七二頁
四、肥料配合法試驗	七六頁
五、大麥栽培法試驗	八二頁
六、水田裏作大麥多收競作試驗	八四頁
七、大麥雜種育成試驗	八六頁
八、大小麥純系淘汰試驗(其一)	八九頁
九、大小麥純系淘汰試驗(其二)	九三頁
一〇、燕麥品種試驗	〇二頁

第六、依託試驗

- 一、蘭草栽培試驗
- 二、杞柳栽培試驗
- 三、水稻純系淘汰試驗

一〇四頁

一一一頁

一一二頁

第七、桑樹

- 一、春秋兩用種類試驗

一一六頁

第八、氣象觀測

一二一頁

◎園藝部

第一、蔬菜

- 一、馬鈴薯品種試驗
- 二、甘藍品種試驗
- 三、薯蕷品種試驗
- 四、薑品種試驗
- 五、里芋品種試驗

一二八頁

一三〇頁

一三二頁

一三四頁

一三六頁

第二、果樹

- 六、葱頭品種試驗
- 七、白菜品種試驗
- 八、夏大根時無大根比較試驗

一三八頁

一三九頁

一四一頁

- 一、葡萄品種試驗

一四三頁

- 二、和梨品種試驗

一四四頁

- 三、桃品種試驗

一四五頁

- 四、柿品種試驗

一四七頁

- 五、蘋果品種試驗

一四七頁

- 六、洋梨品種試驗

一四八頁

- 七、櫻桃品種試驗

一四九頁

- 八、見本栽培

一四九頁

第三、依託試驗

- 一、蔬菜
- 二、果樹

一五〇頁

一五一頁

◎ 農藝化學部

第一、試驗事項

- 一、ポット試験耕種梗概 一五二頁
- 二、窒素質肥料奏効率査定試験（繼續）
 - (甲) 水田窒素質奏効試験 一五四頁
 - (乙) 畑窒素質奏効試験 一五八頁
 - (丙) 窒素質奏効率摘要 一六一頁
- 三、三要素適量試験（繼續）
 - (甲) 水田三要素適量試験 一六三頁
 - (乙) 畑三要素適量試験 一六五頁
- 四、三要素試験（繼續）
 - (甲) 水田三要素試験 一六八頁
 - (乙) 畑三要素試験 一六九頁
 - (丙) 養分天然供給量査定 一七一頁

- 五、肥料効能比較試験（繼續）
 - (甲) 窒素質肥料効能比較試験 一七二頁
 - (乙) 磷酸質肥料効能比較試験 一七四頁
- 六、刺戟肥料肥効試験（繼續）
 - (甲) ラジエーム磷肥効能試験 一七四頁
 - (乙) 硫黃肥効試験 一七五頁
- 七、肥料使用方法試験（繼續）
 - (甲) 大豆粕粉砕程度肥効試験 一七五頁
 - (乙) 蠶糞施用方法試験 一七六頁
- 八、地力維持試験
 - (甲) 春蠶糞ノ部 一七八頁
 - (乙) 秋蠶糞ノ部 一七九頁
 - (丙) 成蹟適要 一八〇頁
- 九、蠶糞貯藏試験（完結）
 - (甲) 春蠶糞ノ部 一七八頁
 - (乙) 秋蠶糞ノ部 一七九頁
 - (丙) 成蹟適要 一八〇頁
- 一〇、不良土改良試験（繼續）
 - (甲) 春蠶糞ノ部 一七八頁
 - (乙) 秋蠶糞ノ部 一七九頁
 - (丙) 成蹟適要 一八〇頁

第二、調査事項

(一)	試驗區別	一八二頁
(二)	試驗地	一八三頁
(三)	ポット試驗收量成績	一八三頁
(四)	收量比及適要	一八六頁
(イ)	藪塚土壌	一八六頁
(ロ)	妙義裾野土壌	一八七頁
(ハ)	美野原土壌	一八八頁
(ニ)	赤城裾野土壌	一八九頁
(ホ)	矢場川谷中土壌(完結)	一九〇頁
一	販賣肥料價格調査(繼續)	一九二頁
二	施肥標準調査(繼續)	一九七頁
(甲)	土壤現地調査並ニ土壤採集	一九八頁
(乙)	依託試驗地	二〇〇頁
(一)	本場依託試驗地位置及擔當者	二〇〇頁

◎病 蟲 部

第一、試驗事項

一	藥劑ト二化螟蟲産卵トノ關係試驗	二二二頁
二	石灰硫黄合劑ニ關スル試驗	二二二頁
其ノ一	春季開花期ニ於ケル試驗	二二二頁
其ノ二	夏季石灰硫黄合劑撒布試驗	二二六頁
其ノ三	石灰硫黄合劑ト撒布桑ト蠶兒トノ關係試驗	二三三頁
其ノ四	石灰硫黄合劑ト桑葉トノ關係試驗	二三四頁
(二)	郡町村農會經營試驗地位置及擔當者	二〇二頁
(丙)	栽培試驗成績	二〇四頁
(イ)	本場經營試驗地ノ部	二〇四頁
(ロ)	郡町村農會經營試驗地ノ部	二一〇頁
(ハ)	場内ポット試驗ノ部	二一六頁
三	吾妻川水質調査(完結)	二一八頁

◎畜産部

第二、調査事項

- 其ノ五、石灰硫黄合劑ノ桑介殼蟲ニ對スル試験 二三四頁
- 三、毒劑ニ關スル試験 二三四頁
- 四、梨害蟲驅除試験 二三五頁
- 五、瓜守對毒劑試験 二三五頁
- 六、二硫化炭素瓦斯ト種子ノ發芽トノ關係試験 二三七頁
- 七、やまだかれハノ飼育 二六〇頁
- 八、麥斑葉病豫防試験 二六三頁
- 九、茄ノ苗床及圃地消毒試験 二七四頁
- 一〇、穗首稻熱病豫防試験 二七六頁
- 一一、椎茸栽培委託試験 二七七頁
- 一二、二化性螟蟲發生時期調査 二七七頁
- 一三、二化性螟蟲驅除豫防ニ關スル調査 二七九頁
- 一四、綿蟲ト品種トノ關係調査 二八〇頁

第一、養豚

- 一、優良種豚ノ配布 二八一頁
- 二、種豚種付 二八一頁
- 三、飼養梗概 二八一頁

第二、養鶏

- 一、優良種禽ノ配布 二八二頁
- 二、飼養梗概 二八三頁
- 三、孵化育雛梗概 二八四頁
- 四、試験事項 二八四頁
- イ、種類試験 三〇四頁
- ロ、産卵能力増進試験 三〇四頁
- ハ、飼料經濟試験 三〇五頁
- ニ、運動場廣狹對産卵試験 三〇五頁
- ホ、雛餌付試験 三一九頁
- ヘ、鶏卵貯藏方法試験 三二九頁

ト、鶏卵貯藏日數試驗

五、調 査 事 項

二、米麥原種圃經營事項

第一、水稻原種圃

一、水稻原種圃耕種梗概

二、水稻原種特性調查

三、水稻原種圃品種別作付面積及總收量

四、大正七年度水稻原種郡市別配布數量

第二、麥 原 種 圃

一、麥原種圃耕種梗概

二、麥原種特性調查

三、麥原種圃品種別作付面積並總收量

四、大正七年度麥原種郡市別配布數量

五、麥採種圃外配布數量

三三二頁

三三五頁

三三五頁

三三五頁

三三五頁

三三九頁

三四二頁

三四三頁

三四三頁

三四五頁

三四七頁

三五〇頁

三五二頁

三五二頁

三、練習及講習ニ關スル事項

(一) 練習 生 養 成

(二) 選 拔 農 事 講 習

四、種苗、種豚、種禽等ノ配布ニ關スル事項

(一) 陸 稻、大 豆

(二) 果 樹 苗 木

(三) 種 豚、種 禽

(四) 野 鼠 室 扶 斯 菌

五、肥料及土壤等ノ鑑定分析ニ關スル事項

第一、依 賴 分 析

第二、場 用 分 析

六、成績報告並ニ印刷物配布

七、場 員 出 張

八、鑑定及ヒ質問應答

三五二頁

三五三頁

三五四頁

三五六頁

三五八頁

三六一頁

三六三頁

三六五頁

三六七頁

三六七頁

三六八頁

九、文書往復

三六八頁

一〇、來觀人員

三六八頁

一一、大正七年度經費豫算

三六八頁

附 錄

群馬縣立農事試驗場經營概況

一、沿革 大略

三七三頁

二、土地及建物

三七四頁

三、創立以來各年度經費豫算

三七五頁

四、職員

三七六頁

大正七年度群馬縣立農事試驗場業務功程

一、試驗並調査ニ關スル事項

◎種 藝 部

第一、水 稻

一、耕種梗概

圃場試驗ハ特殊ノ試驗ヲ除クノ外總テ次ノ耕種梗概ニ據リ栽培セリ

一、苗代整地及施肥

整地ハ十二月三四寸ノ深サニ耕起シ三月上旬ニ至リ馬鍬ニテ縱横ニ耕起シテ土塊ヲ

細カニ碎キ播種十日前ニ至リ周圍ノ畔際三尺通リヲ除キテ堆肥及ヒ人糞尿ヲ撒布シ能ク耕土ト混和シ置

キ播種期ニ至リ畔際二三尺ノ處ニ水ヲ灌キ土ヲ捏ネ高サ一尺以上ニ畔塗ヲ行ヒ後テ水ヲ全体ニ灌キ馬鍬

ニテ縱横ニ耕起シ過磷酸石灰ヲ施シ又二三回耕起シ鍬ヲ以テ丁寧ニ均ラシ直ニ水ヲ湛ヘ翌日ニ至リ水ノ

清澄ヲ待チテ播種ス

一、苗床ノ區劃

播巾四尺、床間一尺トス

一、苗代肥料

一反歩當肥料用量及ヒ所含ニ要素量左ノ如シ

肥料名	施用量	全上價格	室所含三要素量		
			窒素	磷	酸
腐熟堆肥	300,000	7,400	2,070	1,610	1,500
人糞尿	150,000	4,500	1,750	0,330	0,550
強過磷酸	7,000	1,600	—	1,347	—
合計	—	13,500	3,820	3,287	2,050

備考 肥料ハ總テ元肥ニ施用ス

一、選種 唐箕選、篩選ノ後チ比重選ヲ行フ其ノ比重ハ左ノ如シ

粳種 一、二三
糯種 一、〇八

一、浸種日數 七日間

一、播種量 苗代一坪ニ對スル播種量ハ左ノ如シ

大粒種 二合

小粒種 一合五勺

一、播種期 五月十日

一、本田整地 麥刈取後直ニ鋤起シ灌水シテ縱横ニ二回耕肥シ之ニ堆肥ヲ施シ再ヒ鋤起シタル後チ肥料ヲ

肥料名	施用量	全上價格	室所含三要素量		
			窒素	磷	酸
堆肥	300,000	7,400	2,070	1,610	1,500
人糞尿	180,000	0,500	0,107	0,080	0,063
大豆粕	140,000	5,000	1,018	0,164	0,350
強過磷酸	5,000	1,100	—	0,961	—
合計	—	14,100	3,187	2,766	1,913

施シ馬鍬ニテ耙耨シ地均ラシヲ行ヒ挿秧スルモノトス

一、本田肥料 一反歩肥料用量及ヒ所含三要素量左ノ如シ

備考 肥料ハ全部元肥ニ施用ス

一、挿秧 六月下旬

一、一步ノ株數及ヒ本數左ノ如シ

早中晚別	畦	行	株間	一步ノ株數	一株ノ苗數
早稻	—	尺	七寸五分	四十八株	七本—八本
中稻	—	尺	八寸五分	四十二株	五本—六本
晚稻	—	尺	一尺	三十六株	三本—四本

品名	出穂	成熟	稈長	芒長	反歩		當收量		全上收量等位	一升重	品質
					大正七年	前年平均	最近三ヶ年平均	最近五ヶ年平均			
坊主二本三	八月七日	一〇、一三	四、三三	一、一	二、三三五	17	二、三五四	四	三七五、〇	上	
信州早生	八月七日	一〇、〇九	四、一三	一、一	二、五九八	11	二、六〇一	四	三七六、五	上	
根之砂	八月二日	一〇、〇七	四、一六	一、一	二、六四五	9	二、四六三	四	三七二、〇	中	
松島赤毛	八月二日	一〇、〇八	四、一〇	一、四	二、四九八	7	二、四五一	五	三七九、八	下	
東郷布	八月二日	一〇、〇八	三、九〇	一、四	二、五六一	6	二、四四三	五	三八〇、〇	上	
月生愛國	八月二日	一〇、〇二	四、一〇	一、〇	二、七六六	7	二、六八五	二	三七九、三	上	
早生	七月二五	九、二六	三、四〇	〇、三	一、六六七	7	一、九八三	二	三七四、五	下	
大森早生	八月二五	一〇、〇七	四、一五	一、〇	三、〇三八	5	二、七〇六	七	三八一、三	中	
苗代稻	八月四	一〇、〇五	四、二五	〇、九	一、三三七	4	一、八九〇	二	三七五、五	中	
房州	八月二九	一〇、〇三	四、五二	一、〇	二、六六七	17	二、四五四	四	三七四、五	中	
金光	八月二六	一〇、〇八	四、三〇	一、一	一、九九四	1	一、三三七	一	三七四、〇	上	
三驚	八月三	一〇、〇八	四、五三	〇、五	一、六八八	1	一、八三七	一	三七六、五	中	
畿内早生七二	八月七	一〇、〇八	四、〇三	一、二	二、五六六	1	二、四九八	一	三八〇、〇	中	
太郎兵衛糯	八月四	一〇、〇九	四、三五	一、二	二、二二〇	17	二、一六六	六	三七二、〇	上	
梅原糯	八月二〇	一〇、〇三	三、九八	一、二	三、一〇九	5	二、五九七	四	三七六、〇	中	
金佐糯	八月二六	一〇、〇三	四、五五	一、二	二、五三二	17	二、〇九六	七	三七二、〇	上	
改良糯	八月二七	一〇、〇五	四、三三	一、一	二、五三三	4	二、三九九	五	三五四、三	中	
荒木	八月二	一〇、〇〇	四、四三	一、九	二、五四二	17	二、二五三	四	三七九、〇	最上	

備考 一株ノ苗數ハ分蘗力ノ強弱ニヨリ多少ノ斟酌ヲ行フモノトス

一、除草 四回行フ

一番 蟹爪打 七月上旬

二番 蟹爪直シ 七月中旬

三番 手ヲ以テス 七月下旬

四番 手ヲ以テス 八月上旬

一、灌排水 插秧ノ當時ハ稍々深水トナシ除草ノ都度一兩日間ハ水ヲ減シ地面ノ固結セサル程度ニ於テ成ルヘク地面ヲ日光ニ當テ、地温ヲ高メ以テ肥料ノ分解ヲ促シ開花時ニ至レハ斷水セサル様注意シ落花後ハ全ク排水シテ田面ノ乾燥ヲ圖ルモノトス

一、落水期 九月十日

一、收穫期 黃熟期ニ刈取ル

二、品種試驗

前年來ノ繼續ニシテ其ノ目的ハ各地方ノ品種ヲ蒐集シ性状、收量、品質等ノ良否ヲ比較シ以テ當地方ニ適スル良種ヲ選定センガ爲メ四十七種ニ就キ試驗セリ

試驗成績

三、豊凶考照試験

甲、豊凶考照試験

明治三十四年以來ノ繼續ニシテ同一ノ水田ニ於テ同種ノ早中晩稻各三種宛ヲ同一ノ方法ニヨリ連年栽培シ以テ其年ノ豊凶ヲ考照センカ爲ニ行ヘリ

一、大暑(七月二十四日)調

種 類	大 正 七 年		平 年		比 較 増 減	
	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數
早稻三種平均	二、二五	二 _本	二、〇三	二 _本	〇、二二	一 _本
中稻三種平均	二、四二	二	一、九二	二 _本	〇、五〇	三
晩稻三種平均	二、二六	三	一、七三	八	〇、五三	四

苗代期中及移植後ノ氣候概ネ適順ニシテ株張、伸長共平年ニ比シ良好ナリ

二、二百十日(九月一日)調

種 類	大 正 七 年		平 年		比 較 増 減	
	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數
早稻三種平均	四、二六	二〇 _本	三、八五	二〇 _本	〇、四一	一 _本

種 類	大 正 七 年		平 年		比 較 増 減	
	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數
中稻三種平均	四、五三	二	四、〇八	二 _本	〇、四五	四
晩稻三種平均	四、〇八	三	三、七五	二	〇、三三	二

大暑後ノ氣候適順ニシテ出穂期ヲ促進シ作況平年ニ比シ良好ナリ

三、秋分(九月二十四日)調

二百十日後氣候極メテ適順ニシテ平年ニ比シ頗ル良好ナリ

四、大雪(十二月八日)調

種 類	大 正 七 年		平 年		比 較 増 減	
	收 量	一 升 重 量	收 量	一 升 重 量	收 量	一 升 重 量
早稻三種平均	二、三三〇	三六 _分	二、三八〇	三六 _分	〇、〇五〇	△ 一四 _分
中稻三種平均	二、六九七	三七 _分	二、四三二	三八〇	〇、二七四	△ 五
晩稻三種平均	二、八五五	三七 _分	二、四六六	三六 _分	〇、四八九	三

稻作期中ノ氣候ハ概ネ適順ナリシヲ以テ生育良好ニシテ平年ニ比シ早稻ハ二分一厘ヲ減セシモ中稻ハ一割一分五厘、晩稻ハ一割八分七厘ヲ增收セリ

乙、豊凶考照試験

前試験ハ明治三十四年以來ノ繼續ニ係ルヲ以テ其ノ品種ハ一般當業者ノ栽培セルモノト異ナルモノアルニヨリ大正元年ヨリ縣下廣ク栽培セラル、早中晩各三種宛選擇シ本試験ヲ行ヘリ其ノ成績左ノ如シ

種類	大正七年			前六ヶ年平均		比較増減
	收量	一升重量	收量	一升重量		
早稻三種平均	二、四七五	三七六	二、五八	三七九	△ 〇、〇五	
中稻三種平均	二、八六五	三七五	二、五三	三八三	〇、〇三	
晚稻三種平均	二、八六〇	三七九	二、五九	三八二	△ 〇、三三	

本年ノ收量ヲ前六ヶ年平均ニ比スレハ早稻ハ二分一厘ヲ減セルモ中稻ハ一割一分八厘、晚稻ハ一割二分二厘ヲ增收セリ

四、耕鋤深淺試驗

明治四十年以來ノ繼續ニシテ水田ノ耕鋤ノ深淺ハ稻作並裏作ニ如何ナル關係ヲ有スルヤヲ知ラントスル目的ニテ耕鋤ノ深サハ四寸、七寸、一尺ノ三區トシ試驗シタルニ其ノ成績ハ左ノ如シ

區別	玄米收量		裏作麥收量	
	大正七年	前十ヶ年平均	大正七年	前十ヶ年平均
四寸	三、〇六三	二、八二六	三、七二六	二、四九五
七寸	二、九六六	二、九一八	三、八六二	二、八〇八
一尺	三、三六〇	三、〇二七	三、七三三	二、八六二

備考 裏作麥收量ハ大麥、小麥ヲ隔年ニ栽培シタル平均ナリ

右ノ成績ニ據レハ四寸區(標準)ニ比シ七寸區ハ玄米八升八合、裏作麥二斗九升八合、一尺區ハ玄米二斗一升八合、裏作麥三斗三升五合多收ナリ斯クノ如ク水田ノ耕鋤ハ深クスルニ伴ヒ稻及ヒ裏作麥ノ收量ヲ増加スルモノナレハ當場ノ土壤ノ如ク底土ノ惡質ナラサルモノニ於テハ深耕ヲ行フニ利アリ而シテ深耕ヲナスニハ便利ナル犁ヲ選擇使用シテ改良牛馬耕ニ據リ勞力ヲ節スルノ方法ヲ講スルヲ得策トス

五、深耕對增肥關係試驗

肥料ノ用量ヲ増加スル場合ニ於テ耕鋤ノ深淺ハ收量ニ如何ナル關係アルヤヲ知ラントスル目的ニテ普通肥料ノ約五割増量ヲ施用シ前試驗ト同一方法ニヨリ試驗シタリ

- 一、肥料用量(一反步當)
- 堆肥 四五〇、〇〇〇
- 大豆粕 二一、〇〇〇
- 人糞尿 二七、〇〇〇
- 強過磷酸 七、〇〇〇

區別	玄米收量		大正七年裏作麥收量
	大正六年	大正七年	
四寸鋤起區	二、五〇四	二、七四九	三、七七〇
七寸鋤起區	二、五三二	二、八九九	三、九四七
一尺鋤起區	三、〇〇一	三、〇六三	四、〇一三

以上ハ二ヶ年ノ試験成績ナルヲ以テ未タ確定スル能ハサルモ四寸鋤起區ニ比シ七寸鋤起區ハ玄米八升八合、裏作麥一斗七升七合、一尺鋤起區ハ玄米四斗〇六合、裏作麥二斗五升七合多收ナリ尙試験ヲ繼續シテ確定セントス

六、施肥量對播秧法試驗

普通肥料用量ヲ施用シタル際如何ナル播秧法ニ依ルカ最モ利益アルカラ知ラントスルニアリ

試驗區別	畦	間	株	間	株	數	本	數
第一普通植	一	尺	八寸五分七厘	四	四十二株	五	本	本
第二寄株植	一	尺	八寸五分七厘	四	四十二株	二	本	宛二株寄本
第三二本植	一	尺	六寸二分九厘	六	四十二株	二	本	宛二株寄本
第四一本植	一	尺	四寸二分九厘	八	四十二株	一	本	宛二株寄本
第五寄株寄畦法	一尺三寸ト七寸交互		八寸五分七厘	四	四十二株	二	本	宛二株寄

區別	出穂	成熟	反當收量	一升重量
普通植	八月三日	十月二日	二、八六九	三、三三
寄株植	八月三日	十月二日	二、九五五	三、八〇
二本植	八月三日	十月二日	二、九三四	三、七七

寄株寄畦	一本植	寄株寄畦
八、三	八、三	八、三
一〇、二〇	一〇、二〇	一〇、二〇
二、七六九	二、七六九	二、七六九
三、七	三、七	三、七

備考 供試品種ハ改良愛國
一ヶ年ノ試験成績ニテハ未タ確定スル能ハサルモ寄株寄畦法最モ多收ニシテ寄株植之ニ次グ尙繼續シテ試験セントス

七、肥料配合法試驗

稻作ヲ行フニ當リ各種ノ肥料ヲ如何ニ配合スレハ最モ有利ナルカラ知ラントスル目的ニテ三要素ノ標準量ハ反當窒素二貫五百目、磷酸二貫目、加里一貫七百目トセリ其ノ配合左ノ如シ

區號	肥料名	反當用量	全上價格	窒素	磷酸	加里
一	堆肥	100,000	4,000	1,380	1,080	1,000
一	大豆粕肥	7,000	2,500	0,514	0,180	0,140
一	人糞	5,695	1,582	0,606	0,116	0,184
一	強過磷酸	3,244	0,785	—	0,624	—
計			8,886	2,500	2,000	1,343
二	硫酸アンモニア	12,165	19,829	2,500	—	—
二	強過磷酸	10,394	2,525	—	2,000	—

一〇	骨粉	三,〇〇〇	一,二九〇	〇,二一八	〇,六三七	〇,〇〇六
	硫酸アンモニア	三,二二六	五,〇九五	〇,六四四	—	—
	蠶蛹粕	四,〇〇〇	一,九七六	〇,五五六	〇,〇六六	〇,〇一〇
	強過磷酸	一,一〇〇	〇,二九〇	—	〇,一三一	—
	計	一,六〇〇	二,六〇八	—	二,〇〇六	〇,六七四
一一	堆肥	二〇〇,〇〇〇	四,〇〇〇	一,三八〇	一,〇八〇	一,〇〇〇
	大豆粕	一〇,〇〇〇	三,六〇〇	〇,七三四	〇,二五七	〇,二五〇
	硫酸アンモニア	一,九〇〇	三,〇九七	〇,九一一	—	—
	強過磷酸	二,七三三	〇,四七七	—	〇,五三三	—
	木灰	五,六二五	〇,五九六	—	〇,一四一	〇,四五〇
	石灰	一〇,〇〇〇	〇,五〇〇	—	—	—
	計	—	三,一五〇	二,五〇五	二,〇〇〇	一,七〇〇
一二	堆肥	五,〇〇〇	一,〇〇〇	〇,三四五	〇,二七〇	〇,二五〇
	綠肥	二五,〇〇〇	三,七五〇	一,〇七五	〇,二二五	一,二五〇
	大豆粕	七,〇〇〇	二,五〇〇	〇,五二四	〇,一八〇	〇,一四〇
	蠶蛹粕	三,〇〇〇	一,七二五	〇,二六九	—	—
	硫酸アンモニア	一,四〇〇	二,三四七	〇,二九〇	—	—
	強過磷酸	六,六五〇	一,七二九	—	一,二八二	—
	計	—	一三,五七二	二,四九三	二,〇〇〇	一,六五五

配合ノ説明

第一區 當場普通肥料中ヨリ堆肥其他ヲ減シタルモノニシテ反應ハアルカリ性ナリ

第二區 無機肥料ノ配合ニシテ反應ハ酸性ナリ

第三區 價格ノ廉ナルモノニシテ有機物ノ少量ヲ含ム、反應ハ殆ント中性ニシテ木灰ハ分施セリ

第四區 第三區ノ對照區ニシテ過磷酸ト木灰トカ相反應シテ磷酸ノ効能ヲ減却スルコトアルヲ察シ、骨粉ヲ使用セルモノナリ而シテ骨粉ト過磷酸トノ效果ヲ經濟的ニ比較セントス

第五區 大豆粕ハ遲効ナルヲ以テ硫酸アンモニアヲ加用シ根着肥トシ其ノ結實期ヲ遲延セシメサル様爲シタルモノナリ、木灰ハ分施シ其ノ反應ハ稍々酸性ナルヘシ

第六區 第四區ノ對照區ニシテ大豆粕ノ代用トシテ蠶蛹粕ヲ使用セル場合ノ稻ノ生育及ヒ收穫並ニ經濟的ノ關係ヲ見ムト欲ス其ノ反應ハ殆ント中性ナルヘシ

第七區 前區ト同様大豆粕ト鱈粕トヲ比較セルモノナリ

第八區 自給肥料ノミニシテ有機物多シ、第二區ノ有機物ヲ含有セサルモノト比較セントス

第九區 堆肥ノ遲効ヲ硫酸アンモニアノ速効ニテ補ヒ石灰ヲ用ヒテ堆肥ノ分解ヲ促カシ結實期ノ遲延ヲ防

止セリ、硫酸加里ヲ用ヒタルハ反應ヲ矯正センカ爲ナリ

第十區 窒素及ヒ磷酸ヲ速効、遲効ノ三態ニテ施シ生育中一様ニ肥料分ヲ供給センカ爲ナリ

第十一區 最モ普通ノ配合ニシテ施用窒素ノ五歩ヲ堆肥ニテ三步五厘ヲ大豆粕ニテ一步五厘ヲ硫酸アンモニアニテ給シ速、中、遲効ノ三態ニ於テ窒素ヲ施シ稻ノ生育ヲ一様ナラシメンカ爲ナリ木灰及石灰ハ他ノモノト異ナル時期ニ分施セリ

第十二區 普通ノ配合ニシテ綠色及ヒ堆肥ヲ施用シ比較的速効ノ蠶蛹粕ヲ混シタルモノニシテ窒素ノ給與歩合ハ堆肥窒素二、綠肥窒素三、硫酸アンモニア窒素一、蠶蛹粕窒素一、大豆粕窒素三ナリ、木灰及ヒ石灰ハ他ノモノト異ナル時期ニ於テ分施セリ

試驗成績

區別	出穂月日	玄米收量	藁收量	肥料價額	肥料價額一圓ニ對スル收量
第一	八月	二、八五六	一三、六六七	八、八八六	三三二
第二	八月	三、〇四〇	一六、三三三	二四、〇〇三	一二三
第三	八月	二、八四九	一四、三三三	一一、四八七	二四八
第四	八月	二、七二六	一四、〇〇〇	一五、四九二	一七五
第五	八月	二、八四七	一五、〇〇〇	一八、三三八	一五五
第六	八月	二、七四一	一四、〇〇〇	一九、二九二	一四二

前表ニ據リ收量ノミニテ見ルトキハ第十一區ノ普通ノ配合最モ優リ、第九區ノ堆肥ノ遲効ヲ硫酸アンモニアノ速効ニテ補ヒタル配合最モ劣レリ又販賣肥料ノミノ配合ニテハ第二區ノ無機肥料ノ配合最モ優リ第一區ノ當場普通肥料中ヨリ堆肥其他ヲ減シタル配合、第三區ノ大豆粕、第五區ノ大豆粕ニ硫酸アンモニアヲ加用シタルモノ順次シ第七區ノ緋粕最モ劣レリ

肥料價額一圓ニ對スル收量ニ於テハ第一區ノ普通肥料最モ優リ第八區ノ自給肥料之ニ次キ第七區ノ無機質肥料ニ緋粕ヲ配合シタルモノ及ヒ第二區ノ無機質肥料ノミノ配合最モ劣レルハ前年ノ成績ト異ナルコトナシ尙ホ前年ヨリノ平均成績ヲ掲クレハ左ノ如シ

區別	出穂月日	玄米收量	藁收量	肥料價額	肥料價額一圓ニ對スル收量
第七	八月	二、七二二	一五、〇〇〇	二三、二七四	一六
第八	八月	二、六六〇	一三、三三三	八、九二二	二九八
第九	八月	二、五八〇	一四、三三三	一〇、八七四	二三七
第十	八月	二、六三三	一五、〇〇〇	一五、二五九	一七三
第十一	八月	三、二九五	一七、〇〇〇	二二、二五〇	二六九
第十二	八月	二、九八一	一五、六〇〇	二三、五七二	二二九

區別	收量		肥料一圓ニ對スル收量	
	大正七年	前四ヶ年平均	大正七年	前四ヶ年平均
第一	二、八五六	二、七〇五	三三二	四八三
第二	三、〇四〇	二、六八九	三三三	四〇三
平均			三三三	四〇三
平均			三三三	四〇三

第 十	第 九	第 八	第 七	第 六	第 五	第 四	第 三
二、九八一	三、二九五	二、六三三	二、五八〇	二、六〇〇	二、七二二	二、七四二	二、八四九
二、七三三	二、六五三	二、六〇一	二、六五一	二、五九六	二、六四八	二、六三七	二、六九八
二、七三三	二、七六一	二、三三七	二、六三七	二、六〇九	二、六六一	二、六五八	二、七六八
二、二九	二、六九	一、七三	二、三三	二、九八	一、一六	一、四三	二、四八
三、〇三	二、九三	二、九三	三、〇四	四、七六	二、三〇	二、四七	二、八四
三、〇三	二、九三	二、九三	二、九一	四、四〇	一、九	二、三	二、七

前表ニ據レハ肥料三主要成分ハ全一ナルモ其ノ配合ニヨリ收量ニ於テハ最多最少ノ差四斗一升六合、肥料價一圓ニ對スル收量ニ於テハ二斗五升四合ノ差アリ故ニ肥料ノ市價ニ鑑ミ其ノ性質ヲ考ヘ配合ノ合理的ニシテ而カモ經濟的ナラムコトヲ要ス

八、石灰窒素施用法試驗

水稻ニ對スル石灰窒素ノ有利ナル施用方法ヲ知ラントスルモノニシテ其ノ肥料標準ハ反當窒素二貫五百匁、磷酸二貫、加里一貫七百匁トシテ堆肥百五十貫、石灰窒素五貫、大豆粕四貫三百七十六匁、強過磷酸五貫五百六十匁、木灰十貫百五十匁ヲ施用セリ

區 號	區 別	收 量		
		大 正 七 年	前 二 ケ 年	平 均
第一區	石灰窒素三日前施用セルモノ	二、四九三	二、五七	二、五二六
第二區	全一週間前土壤ト混合堆積シテ施用セルモノ	二、三九〇	二、五〇〇	二、四六三
第三區	全一週間前堆肥ト堆積シテ施用セルモノ	二、四六四	二、六〇三	二、五五六
第四區	全半量ノ水ヲ加ヘ一晝夜置キテ施用セルモノ	二、六六	二、六〇七	二、六二三

試 驗 區 別

第一區 石灰窒素三日前施用セルモノ

第二區 全一週間前土壤ト混合堆積シテ施用セルモノ

第三區 全一週間前堆肥ト堆積シテ施用セルモノ

第四區 全半量ノ水ヲ加ヘ一晝夜置キテ施用セルモノ

試 驗 成 績

前表ニ據リテ見ルニ各區トモ大差ナシ故ニ便宜ノ方法ニ依ルヲ可トス

九、石灰施用量試驗

明治三十九年以來ノ繼續ニシテ當場普通肥料中大豆粕ノ一部及ヒ人糞尿ニ代フルニ石灰ヲ施用スルノ得失並ニ

ニ跡作ニ及ホス影響ヲ知ラムトスルモノニシテ普通肥料區(堆肥三百貫、大豆粕十四貫、人糞尿十八貫、強過磷酸五貫)基肥區(堆肥三百貫、大豆粕七貫、強過磷酸五貫)及ヒ基肥ニ石灰二十五貫、五十貫、七十五貫、百貫加用ノ六區ニ就キ試驗セリ其ノ成績左ノ如シ

區別	米收量		均	裏作麥收量
	大正七年	前十二ヶ年平均		
普通肥料	二、八四二	二、六六六	二、六五〇	二、三五四
基肥	二、七三三	二、五九九	二、五〇二	二、一八四
基肥石灰二十五貫加用	二、八三五	二、六二四	二、六三一	二、四九
基肥石灰五十貫加用	三、〇一六	二、六三三	二、六三三	二、七〇六
基肥石灰七十五貫加用	三、〇一五	二、七六一	二、六八一	二、七〇三

前表十三ヶ年ノ成績ニ於テ石灰ヲ施用スルモ敢テ地力ノ消耗ヲ來サザルノミナラス却テ增收ヲ見ル殊ニ裏作麥ニ於テ然リトス故ニ基肥トシテ堆肥三百貫内外ヲ施用スル場合ニ於テハ相當ノ石灰ヲ施用スルハ得策ナラシカ尙ホ試驗ヲ繼續シテ確ムヘシ

一〇、多收競作試驗

裏作トシテ大麥ヲ栽培スルニ毛作田ニ於テ如何ナル方法ニヨルカ最モ稻ノ多收ナルヘキヤ併セテ之レカ經濟

上ノ關係ヲ知ランカ爲左ノ九區ニ就キ試驗セリ
各區共愛國種ヲ用ヒ苗ノ仕立ハ同一ニシテ插秧ハ何レモ七月二日ナリ

插秧法

區別	插秧法	畔行株間	一坪株數	一株苗數
第一	正方形植	一尺三寸	一尺	一
第二	長方形植	一尺七寸	一尺	一
第三	長方形植	一尺七寸	一尺	一
第四	正方形植	一尺七寸	一尺	一
第五	正方形植	一尺七寸	一尺	一
第六	長方形植	一尺七寸	一尺	一
第七	長方形植	一尺七寸	一尺	一
第八	長方形植	一尺七寸	一尺	一
第九	寄畦植	一尺一寸	七寸五分	四

區號	肥料用量		反當		木用		計
	用量、價額	堆肥	大豆粕	人糞尿	強過磷酸	石灰	
第一	100,000	100,000	10,000	10,000	10,000	10,000	110,000
第二	100,000	100,000	10,000	10,000	10,000	10,000	110,000
第三	100,000	100,000	10,000	10,000	10,000	10,000	110,000
第四	100,000	100,000	10,000	10,000	10,000	10,000	110,000
第五	100,000	100,000	10,000	10,000	10,000	10,000	110,000
第六	100,000	100,000	10,000	10,000	10,000	10,000	110,000
第七	100,000	100,000	10,000	10,000	10,000	10,000	110,000
第八	100,000	100,000	10,000	10,000	10,000	10,000	110,000
第九	100,000	100,000	10,000	10,000	10,000	10,000	110,000

區 號	第 二		第 三		第 四		第 五		第 六		第 七		第 八		第 九														
	價用	額量	價用	額量	價用	額量	價用	額量	價用	額量	價用	額量	價用	額量	價用	額量													
	三三、三三	六、六六六	三五、〇〇〇	七、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇	二二、〇〇〇	八、六四〇	三〇六、〇〇〇	六、二二〇	四三三、三三三	八、六六六	五〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	三、二二七	一、三三三	一、六六六	二、五八三	一、六六六	二、五八三	
	一六、六六七	六、〇〇〇	一七、八〇〇	六、四〇九	一五、〇〇〇	五、四〇〇	二四、〇〇〇	五、四〇〇	二、四〇〇	八、〇〇〇	一六、〇〇〇	五、七〇〇	二〇、〇〇〇	七、一〇〇	三〇、〇〇〇	一〇、八〇〇	九、〇〇〇	三〇、〇〇〇	七、一〇〇	一〇、八〇〇	一、一〇〇	二、〇〇〇	三、二二七	一、三三三	一、六六六	二、五八三	一、六六六	二、五八三	
	二六、六六七	〇、八〇〇	三〇、〇〇〇	〇、九〇〇	一六、〇〇〇	〇、四八〇	八〇、〇〇〇	〇、四八〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二二、〇〇〇	〇、六三〇	一六、六六七	〇、五〇〇	四〇、〇〇〇	一、一〇〇	二、〇〇〇	四〇、〇〇〇	〇、五〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	二、〇〇〇	三、二二七	一、三三三	一、六六六	二、五八三	一、六六六	二、五八三	
	四三、三三三	一〇、四八七	三、五〇〇	〇、八四七	八、〇〇〇	一、九三六	一五、〇〇〇	一、九三六	三、六三〇	三、六三〇	八、〇〇〇	一、九三六	一三、三三三	三、二二七	三〇、〇〇〇	七、二六〇	三、二二七	三〇、〇〇〇	七、二六〇	七、二六〇	七、二六〇	三、二二七	三、二二七	一、三三三	一、六六六	二、五八三	一、六六六	二、五八三	
	一三、三三三	一、四二三	三、五〇〇	〇、八四七	七、〇〇〇	〇、七四二	一〇、〇〇〇	〇、七四二	一、〇六〇	一、〇六〇	一〇、〇〇〇	一、〇六〇	一〇、〇〇〇	〇、五〇〇	五、〇〇〇	〇、五〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、三三三	一、六六六	二、五八三	一、六六六	二、五八三	
	一五、三三三	八、八二六	一五、〇〇〇	二、二五〇	七、〇〇〇	〇、七四二	一〇、〇〇〇	〇、七四二	一、〇六〇	一、〇六〇	一〇、〇〇〇	一、〇六〇	一〇、〇〇〇	〇、五〇〇	五、〇〇〇	〇、五〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、三三三	一、六六六	二、五八三	一、六六六	二、五八三	
	二四、一八二	二、四〇六	一七、四〇六	一、七四〇	一四、五五八	一、四四二	一七、七三〇	一、四四二	二、七三〇	二、七三〇	一四、四四六	一、四四二	一七、七三〇	一、四四二	一五、二七九	一、五二九	一五、二七九	一四、五五八	一、五二九	一、五二九	一、五二九	一、五二九	一、五二九	一、五二九	一、五二九	一、五二九	一、五二九	一、五二九	一、五二九
	二二、〇四〇	二、四一八	二四、一八二	二、七三〇	二七、七三〇	二、七三〇	二四、一八二	二、七三〇	二、七三〇	二、七三〇	二四、一八二	二、七三〇	二四、一八二	二、七三〇	二四、一八二	二、七三〇	二四、一八二	二、七三〇	二、七三〇	二、七三〇	二、七三〇	二、七三〇	二、七三〇	二、七三〇	二、七三〇	二、七三〇	二、七三〇	二、七三〇	二、七三〇
	一四、〇二〇	一、三三八	一三、五〇八	一、三三八	一三、五〇八	一、三三八	一四、〇二〇	一、三三八	一、三三八	一、三三八	一四、〇二〇	一、三三八	一四、〇二〇	一、三三八	一三、五〇八	一、三三八	一三、五〇八	一、三三八	一、三三八	一、三三八	一、三三八	一、三三八	一、三三八	一、三三八	一、三三八	一、三三八	一、三三八	一、三三八	一、三三八
	九 八 六 三 五 四 二 七 一																												
	七 四 九 六 三 八 二 五 一																												

試驗ノ成績及ヒ收支計算左ノ如シ

第 一	第 二	第 三	第 四	第 五	第 六	第 七	第 八	第 九
三、五八四	三、二八二	三、三九三	三、三九三	三、三九三	三、二七五	三、一八六	三、三六四	三、二五五
一六、二八〇	一四七、六九〇	一五二、六八五	一四四、三〇五	一五二、六四〇	一四七、三七五	一四三、三七〇	一五一、三八〇	一四六、四七五
二二、〇四〇	二四、一八二	一七、四〇六	一四、五五八	二七、七三〇	一四、四四六	一九、五九三	三〇、七六〇	二五、八九三
一四、〇二〇	一三、五〇八	一五、二七九	一三、〇七四	二四、九〇〇	一三、九一九	二二、七七七	二〇、六〇〇	二〇、五八二
九	八	六	三	五	四	二	七	一
七	四	九	六	三	八	二	五	一

前表ノ如ク收量最多、最少ノ差ハ反當三斗九升八合、肥料代金差引殘額ノ差ハ拾九圓六拾五錢八厘ナリ故ニ耕種法並ニ肥料ノ選擇配合ニ十分ノ注意ヲ拂ヒ經濟的多收ヲ得ルノ要アリ

一、石灰加用試驗

明治三十九年以來ノ繼續ニシテ堆肥、青草ノ如キ肥料ト木灰若クハ過磷酸石灰トヲ混用スル場合ニ於テ石灰ヲ加用スルノ得失ヲ知ラントスルモノニシテ普通肥料ヲ標準トシ堆肥區(反當堆肥三百貫)堆肥、過磷酸區(堆肥三百貫、強過磷酸三貫)堆肥、木灰區(堆肥三百貫、木灰二十貫)青草區(青草三百貫)青草、過磷酸區(青草三百貫、強過磷酸三貫)青草、木灰區(青草三百貫、木灰二十貫)ヲ置キ之レニ石灰ヲ施用セルモノ及ヒ石灰五十貫、百貫、百五十貫ヲ加用スルモノニ分チ更ニ石灰五十貫、全百貫、全百五十貫ノ單用區ヲ

設ケ試驗シタルニ其ノ成績左ノ如シ

區別	米 收 量 (三尺四方木框)			基肥ニ對スル平均增收百分率	普通肥料對收量百分率
	大正七年	前十二年平均	平均		
普通肥料	七九、四	八六、四	八五、八	100	100
堆肥	七三、五	六二、七	六三、一	100	100
全 石灰五十貫加用	七九、〇	七四、一	七四、五	100	100
全 百貫加用	七六、九	八一、〇	八〇、八	100	100
全 百五十貫加用	一〇二、二	八六、四	八七、五	100	100
堆肥、過磷酸	五四、八	七、六	七〇、三	100	100
全 石灰五十貫加用	八一、二	七五、六	七六、〇	100	100
全 百貫加用	九二、四	八一、三	八二、一	100	100
全 百五十貫加用	九〇、二	八八、二	八八、三	100	100
堆肥、木灰	七五、〇	六九、九	六九、四	100	100
全 石灰五十貫加用	七九、二	七六、七	七六、九	100	100
全 百貫加用	八九、五	八八、五	八八、六	100	100
全 百五十貫加用	八二、二	八三、一	八二、九	100	100
青 草	六九、八	六四、四	六四、八	100	100
全 石灰五十貫加用	七五、五	七四、一	七四、二	100	100
全 百貫加用	七九、七	八七、四	八六、六	100	100
全 百五十貫加用	七九、七	八七、四	八六、六	100	100

全 百五十貫加用	八五、一	八三、五	八三、六	100	100
青 草、過磷酸	七三、二	六九、八	六九、九	100	100
全 石灰五十貫加用	七三、三	七七、〇	七六、七	100	100
全 百貫加用	六九、八	八五、四	八四、二	100	100
全 百五十貫加用	一〇四、〇	九五、四	九六、〇	100	100
青 草、木灰	七〇、〇	八〇、六	七九、七	100	100
全 石灰五十貫加用	七九、二	八一、九	八一、六	100	100
全 石灰百貫加用	八三、五	九一、三	九〇、七	100	100
全 百五十貫加用	八九、七	九三、三	九三、〇	100	100
石灰五十貫單用	四六、二	五五、一	五四、四	100	100
全 百貫單用	六一、二	六二、一	六三、〇	100	100
全 百五十貫單用	六七、七	七二、二	七〇、九	100	100

前表十三年ノ成績ニ據レハ基肥區ヨリ石灰加用區ハ何レモ增收ヲ見ル、本年ノ收量ニ於テモ全ク石灰加用區ノ增收ヲ見ルモ只用量ノ増加ニ伴ヒ增收ヲ見サルハ堆肥、過磷酸ノ百五十貫加用區、堆肥、木灰ノ百五十貫加用區、青草、過磷酸ノ百貫加用區ニシテ石灰單用區ハ用量ノ増加ニ伴ヒ增收ヲ見ル尙ホ試驗ヲ繼續シテ石灰ノ効果ヲ確ムヘシ

一一、純系陶汰試驗
 品種試驗ノ結果優良ト認メタルモノ、廣ク栽培セラル、品種中有望ト認メタルモノ並ニ農事試驗場畿内支場

ヨリ配付ヲ受ケタルモノ、中有望ト認メタルモノニ就キ純系淘汰試験ヲ施行セリ

(一) 純系淘汰收量比較試験

(一) 改良愛國(畿内支場早生二二號)(第五年)

區別	出穂月日	稈長	芒長	玄米收量		
				大正五年	大正六年	大正七年
標一	八、二五	四、一八	五、九	二、九二	二、七二	二、八二
一三	八、二六	四、二〇	六、五	二、六九	二、五九	二、五〇八
一一	八、二七	四、一三	五、六	二、七〇四	二、四四	二、六五五
一一	八、二八	四、一五	三、九	二、九五四	二、六七九	二、七三三
一一	八、二八	四、一五	三、九	二、七七八	二、六一九	二、九三三
一一	八、二五	四、一五	三、七	二、七七八	三、〇二四	二、八三八
四四	八、二六	四、二三	三、三	二、八三〇	二、八七三	二、八五〇
四四	八、二六	四、二三	三、三	二、七八〇	二、八七三	二、七二〇
五五	八、二五	三、九〇	三、三	二、八八七	二、七六〇	二、八五九
平均				二、八三四	二、七二一	二、八二二
玄米一升重				三、二二五	三、〇九一	三、一七九

右ノ成績ニ依リ最モ優レルハ一四號ニシテ標準ニ比シ一斗一升三合多收ナルヲ以テ原種トセリ

(二) 關取(第四年)

區別	出穂月日	稈長	芒長	長	玄米收量		
					大正七年	前年	平均
八三	九、五	四、一五	一、一	二、九五	二、四八九	二、七七	
一一〇	九、五	四、二〇	一、一	三、一五〇	二、一五〇	二、六五〇	
二〇	九、四	四、一五	一、一	二、七四六	二、二五七	二、五〇二	
勢七	九、六	四、一三	一、一	二、九八九	二、三六五	二、六八七	
勢五	九、六	四、一〇	一、一	二、八三七	二、三六一	二、六〇六	
勢二	九、六	四、一八	一、一	三、〇二六	二、四四二	二、七〇四	
金一	九、六	四、一八	一、一	二、九五六	二、三五四	二、六五〇	
金六	九、五	四、〇〇	一、一	二、九八一	二、三六五	二、六八〇	
金八	九、六	四、〇〇	一、一	二、九九九	二、三六五	二、六八〇	
金二	九、六	四、二三	一、一	二、九九九	二、五〇一	二、七五〇	
標一	九、五	四、二五	一、一	二、八九七	二、四〇二	二、六八六	
平均				二、六八	二、三五六	二、六八	
玄米一升重				三、九〇	三、八〇	三、九〇	

前表ノ成績ニ依レハ最モ優レルハ金八號ニシテ標準ニ比シ一斗一升二合ヲ増シ最モ劣レルハ二〇號ニシテ標準ニ比シ一斗二升六合ヲ減セリ

(三) 國富(第四年)

區別	出穂月日	稈長	芒長	長	玄米收量	玄米一升重
標一	八、二八	四、〇五	一、一	二、八四	二、四二	二、六三
平均				二、八四	二、四二	二、六三
玄米一升重						三、八一〇

標	別	出穂月日	稈	長	芒	長	大正七年	前	年	收	平	均	一升重量
五	三	八、二九	三、九〇	四、〇〇	四、〇〇	一、八	二、八九四	二、四〇五	二、四三八	二、四三六	二、六三三	二、六三三	三八一、〇
一	四	八、二八	四、〇三	四、〇三	四、〇三	一、七	二、八九三	二、四九三	二、四三八	二、四三六	二、六三三	二、六三三	三八一、〇
二	〇	八、二九	四、〇三	四、〇三	四、〇三	一、七	二、八九三	二、四九三	二、四三八	二、四三六	二、六三三	二、六三三	三八一、〇
八	四	八、二八	四、〇八	四、〇八	四、〇八	一、八	二、七六五	二、五八七	二、四九三	二、四三六	二、六三三	二、六三三	三八一、〇
金	〇	八、二九	四、〇三	四、〇三	四、〇三	一、七	二、五八二	二、四九三	二、四三八	二、四三六	二、六三三	二、六三三	三八一、〇
金	三	八、二九	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	一、六	二、五八二	二、四九三	二、四三八	二、四三六	二、六三三	二、六三三	三八一、〇
金	四	八、二九	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	一、六	二、五八二	二、四九三	二、四三八	二、四三六	二、六三三	二、六三三	三八一、〇
金	三	八、二九	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	一、六	二、五八二	二、四九三	二、四三八	二、四三六	二、六三三	二、六三三	三八一、〇
金	四	八、二九	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	一、六	二、五八二	二、四九三	二、四三八	二、四三六	二、六三三	二、六三三	三八一、〇
五	五	八、二八	三、八五	四、〇〇	四、〇〇	一、五	二、六四二	二、五〇九	二、四三八	二、四三六	二、六三三	二、六三三	三八一、〇

前表ノ成績ニ據レハ最モ優レルハ一四號ニシテ標準ニ比シ一斗九升三合ヲ増シ最モ劣レルハ金四號ニシテ標準ニ比シ七升五合ヲ減セリ

(四) 愛 國 (第四年)

標	別	出穂月日	稈	長	芒	長	大正七年	前	年	收	平	均	一升重量
六	三	八、二五	四、一〇	四、一五	四、一五	一、三	三、一七六	二、五四九	二、八六三	二、八六三	二、八六三	二、八六三	三七七、〇
三	號	八、二四	四、一五	四、一五	四、一五	一、四	三、一四二	二、五〇〇	二、八三二	二、八三二	二、八三二	二、八三二	三七七、〇
標	準	八、二五	四、〇三	四、〇三	四、〇三	一、〇	三、一〇〇	二、四四二	二、六六六	二、六六六	二、六六六	二、六六六	三七九、〇

邑	七	號	八、二五 <th>四、一〇 <th>四、一〇 <th>一、九 <th>三、一七二 <th>二、二九〇 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>三七九、五 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	四、一〇 <th>四、一〇 <th>一、九 <th>三、一七二 <th>二、二九〇 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>三七九、五 </th></th></th></th></th></th></th></th></th>	四、一〇 <th>一、九 <th>三、一七二 <th>二、二九〇 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>三七九、五 </th></th></th></th></th></th></th></th>	一、九 <th>三、一七二 <th>二、二九〇 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>三七九、五 </th></th></th></th></th></th></th>	三、一七二 <th>二、二九〇 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>三七九、五 </th></th></th></th></th></th>	二、二九〇 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>三七九、五 </th></th></th></th></th>	二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>三七九、五 </th></th></th></th>	二、七三二 <th>二、七三二 <th>二、七三二 <th>三七九、五 </th></th></th>	二、七三二 <th>二、七三二 <th>三七九、五 </th></th>	二、七三二 <th>三七九、五 </th>	三七九、五
邑	九	號	八、二四	三、九八	三、九八	一、八	三、〇二六	二、三三三	二、六七〇	二、六七〇	二、六七〇	二、六七〇	三八〇、八
勢	一	號	八、二五	四、二三	四、二三	一、九	三、二〇五	二、〇一七	二、六二一	二、六二一	二、六二一	二、六二一	三七九、〇
勢	五	號	八、二四	四、〇三	四、〇三	一、九	三、一六四	二、二八二	二、七三三	二、七三三	二、七三三	二、七三三	三八一、五
新	二	號	八、二四	四、一五	四、一五	一、九	三、二二三	二、四〇六	二、八二四	二、八二四	二、八二四	二、八二四	三七九、五
新	三	號	八、二五	四、〇五	四、〇五	一、六	三、〇三五	二、四〇〇	二、七七八	二、七七八	二、七七八	二、七七八	三八一、〇
新	五	號	八、二四	四、一五	四、一五	一、七	二、八三二	二、二二二	二、四六七	二、四六七	二、四六七	二、四六七	三七八、五
勢	七	號	八、二五	三、九八	三、九八	一、〇	三、〇八四	二、四三六	二、七六〇	二、七六〇	二、七六〇	二、七六〇	三七二、〇

前表ノ成績ニ依レハ最モ優レルハ六號ニシテ標準ニ比シ二斗三升七合ヲ増シ最モ劣レルハ新一五號ニシテ標準ニ比シ一斗五升九合ヲ減セリ

(五) 玉 錦 (第四年)

標	別	出穂月日	稈	長	芒	長	大正七年	前	年	收	平	均	一升重量
標	準	九、二	四、六五	四、六五	四、六五	一、八	二、六〇六	一、八七一	二、三三九	二、三三九	二、三三九	二、三三九	三八九、〇
四	號	九、三	四、六〇	四、六〇	四、六〇	一、七	二、七三二	二、〇八四	二、四〇八	二、四〇八	二、四〇八	二、四〇八	三九三、〇
五	號	九、一	四、八〇	四、八〇	四、八〇	一、六	二、六二〇	一、九一〇	二、二七〇	二、二七〇	二、二七〇	二、二七〇	三九〇、〇
六	號	九、二	四、七五	四、七五	四、七五	一、五	二、八三二	二、三三二	二、五三七	二、五三七	二、五三七	二、五三七	三八七、〇
七	號	九、一	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	一、五	二、六六二	一、九九八	二、三三九	二、三三九	二、三三九	二、三三九	三八五、〇

八號	一號	高五號	高六號	高七號	高標
九、二	九、二	九、二	九、三	九、二	九、二
四、七三	四、九八	四、八八	四、六三	四、四八	四、五三
三	二〇	二	二九	二七	三
二、六四〇	二、八〇〇	二、六七〇	二、六〇四	二、六四七	二、六九二
二、二二七	一、九六九	二、〇六一	二、〇〇〇	二、四八八	二、三六〇
二、四二九	二、三九五	二、三六五	二、三二二	二、五六八	二、四七六
三、八九、五	三、八八、八	三、八七、五	三、八七、五	三、八六、五	三、八九、〇

前表ノ成績ニ據テ見レハ最モ優レルハ高一七號ニシテ標準ニ比シ二斗二升九合ヲ増シ最モ劣レルハ五號ナルモ標準ヨリハ三升一合多收ナリ

(六) 荒木 (第四年)

標準	中一號	中五號	中一號	中五號	九號	二號
九、三	九、四	九、二	九、三	九、五	九、四	九、四
四、四〇	四、五〇	四、五三	四、四八	四、五八	四、四〇	四、六三
一六分	一六	一六	一六	一五	一四	一四
二、七九	二、五三	二、六〇	三、〇八一	二、四五二	二、二八四	二、四〇七
二、一七〇	二、二二七	二、三三六	二、〇五二	二、三三三	二、〇七	一、九九五
二、四八五	二、三八五	二、四六三	二、五六六	二、三八三	二、一八一	二、二〇一
三、七〇	三、六、五	三、八〇、八	三、七、五	三、六、五	三、六、五	三、七、三

金一〇號	金一〇號	金二〇號	金二〇號	金七號
九、四	九、四	九、四	九、四	九、三
四、三〇	四、七五	四、五〇	四、五〇	四、四〇
一六	一三	一六	一四	一四
二、五七二	二、八九	二、五一一	二、六五〇	二、二六〇
二、三三七	二、一六〇	二、一〇九	二、二二六	二、二二六
二、四五五	二、四九五	二、三六〇	二、四三三	二、四三三
三、七、〇	三、七、〇	三、六、五	三、六、〇	三、六、〇

前表ノ成績ニ據レハ最モ優レルハ中一〇號ニシテ標準ニ比シ八斗一合ヲ増シ最モ劣レルハ九號ニシテ標準ニ比シ三斗〇四合ヲ減セリ

(七) 明治坊主、坊主二本三、金光坊 (第四年)

明治坊主標準	全一號	全六號	全九號	坊主二本三標準	全二號	全一號	全二號	金光坊標準	全六號
八、八	八、八	八、九	八、八	八、二	八、二	八、三	八、三	八、三	八、二
四、四〇	四、一八	四、三	四、〇八	三、七三	三、八三	三、八三	三、八三	三、九三	三、七〇
大正七年	二、三三	二、三二	二、四六二	二、五〇三	二、五〇六	二、三〇六	二、四五六	二、四五〇	二、三五八
前年	五、七五〇	五、三三〇	五、二九〇	五、七二五	六、二二六	五、七五	六、一一〇	六、三〇〇	六、一三〇
一升	三七〇、〇	三六五、〇	三六〇、〇	三七〇、〇	三七〇、〇	三六〇、〇	三六五、〇	三六〇、〇	三六〇、〇

品種比較試験ノ結果優良ト認メタルモノ及廣ク栽培セラル、品種中有望ト認メタル左記各品種ニ就キテ純系淘汰ヲ行ヘリ其成績左ノ如シ

(1) 試験區ハ一區二坪宛ニシテ畦間一尺株間六寸即チ一坪六十株ノ一本植トナセリ其他ノ耕種ハ普通法ニ依ル

(2) 試験成績

(一) 選

區別	出穂月日		草丈		莖數		穂重		備考
	平均價	標準誤差	平均價	標準誤差	平均價	標準誤差	平均價	標準誤差	
選一、壹號	五、四二六	〇、九七四	二、八七〇	〇、一五五	〇、二二二	三、一五九	八、〇五六	〇、五七	
全二號	五、六二六	〇、六八〇	一、六二五	〇、一〇八	〇、一六九	二、四三四	五、六七六	〇、三七三	
全三號	六、〇〇八	〇、六四二	一、六一八	〇、〇九八	〇、一五六	二、四三二	七、六四〇	〇、四八九	
全四號	五、二四四	〇、九二八	一、七四六	〇、一〇九	〇、一四六	二、二七八	八、六九五	〇、五五八	
全五號	五、八三五	〇、九二二	一、六二六	〇、〇九三	〇、一九三	三、〇〇六	七、二七九	〇、四六七	
全六號	六、六二六	〇、九〇八	一、〇一九	〇、〇六八	〇、一九六	二、九八三	六、四一九	〇、四一七	
全七號	六、六八九	〇、七五九	一、五六六	〇、一〇一	〇、二〇八	三、一〇四	七、八四六	〇、五〇一	
全八號	六、五六九	〇、五八五	一、五三六	〇、一〇〇	〇、一九一	三、一〇四	五、九六九	〇、三八三	
全九號	六、五四二	〇、六九一	一、三五一	〇、〇八三	一、三三三	二、八九三	六、九二八	〇、四四五	

全一〇號	六、〇九一	〇、八九〇	一、二一九	〇、〇六八	一、三九三	三、一七九	〇、二〇三	一、五四〇	七、三三七	〇、四六六
全一一號	五、七八二	〇、八四七	一、三四一	〇、〇八六	一、三九四	三、一四七	〇、二〇四	一、六〇五	七、六九三	〇、四九九
全一二號	六、二三〇	〇、六六〇	一、八〇〇	〇、一〇〇	一、三六二	二、七八一	〇、一八一	一、五二四	七、〇一六	〇、四六五
全一三號	六、四〇七	〇、六六四	一、五五六	〇、一〇八	一、三六四	三、二八七	〇、二一六	一、四六三	六、七二〇	〇、四三七
全一四號	六、六七二	〇、六八九	一、三五九	〇、〇八七	一、四七二	三、六八六	〇、二二九	一、五五二	七、〇五二	〇、四六四
全一五號	六、四八五	〇、五五七	三、〇三〇	〇、一九六	一、五二七	二、九八〇	〇、一九三	一、六二五	六、三三三	〇、四〇九
全一六號	五、九四二	〇、八八八	一、二二三	〇、〇八〇	一、三六四	三、〇六六	〇、二〇四	一、二六一	八、九八六	〇、五七二
全一七號	五、五八四	〇、八七一	一、三三三	〇、〇八七	一、三五五	二、八九二	〇、一八七	一、五〇九	六、八三二	〇、七二〇
全一八號	五、九〇六	〇、八九六	一、六四一	〇、一〇六	一、三〇九	二、六六一	〇、一七〇	一、四七四	六、八三一	〇、四四六
全一九號	五、九三三	〇、七九九	一、九四〇	〇、一〇五	一、四〇九	三、七六五	〇、二四六	一、六八八	七、四一九	〇、四七九
全二〇號	六、一四六	〇、六五九	一、九四六	〇、一〇二	一、四〇八	三、四七〇	〇、二二三	一、六六三	七、五七九	〇、六七九
全二一號	六、一七四	〇、六三七	一、三五五	〇、〇八七	一、二七六	三、四一四	〇、二二三	一、五九八	一、〇二七	〇、六六八
全二二號	五、七四四	〇、八〇八	一、三六七	〇、〇七二	一、二七五	三、〇三七	〇、一九三	一、五七三	七、八八六	〇、五〇五
全二三號	五、七三二	一、一〇五	一、三六七	〇、〇八四	一、二九〇	二、六四四	〇、一七四	一、四一三	七、九九三	〇、五二三
全二四號	五、四八五	〇、七七八	一、六七四	〇、一〇四	一、三五四	四、六二二	〇、一九六	一、三六五	九、〇四九	〇、五六六
全二五號	六、三三三	〇、七四〇	一、七九八	〇、一〇三	一、三〇七	二、九四九	〇、一九四	一、五〇四	九、一六六	〇、六〇四
全二六號	五、九八七	〇、八九七	一、九〇〇	〇、一〇二	一、四二七	二、九五二	〇、一九五	一、六二〇	七、九六三	〇、五二五
全二七號	五、八八九	〇、八五八	一、三五六	〇、〇八八	一、四六三	三、四二二	〇、二五五	一、六一〇	七、七二八	〇、五〇九
全二八號	六、〇八一	一、〇七八	一、六一六	〇、〇九七	一、三九六	三、三三七	〇、二〇三	一、六七八	七、四一五	〇、四八二
全二九號	五、九七七	〇、九〇六	一、六三三	〇、一〇六	一、三九四	二、九四九	〇、一九二	一、三四五〇	六、二七七	〇、四〇七

全	三〇號	五九二	〇八五	〇五七	三二八	一六九	〇一九	一四九	三五六	〇二八	二三八	八三二	〇五四
全	三一號	六三八	〇六七	〇三九	三二八	一六〇	〇一〇	一三〇	三〇六	〇一九	二四三	七九一	〇五四
全	三二號	五八八	〇七四	〇五〇	三二七	一四三	〇〇九	一五五	三二八	〇二五	二四一	八四七	〇五〇
全	三三號	六三八	〇八四	〇五六	三二九	一八五	〇一六	一四六	三二四	〇二二	二四一	八五七	〇五四
全	三四號	六〇六	〇九五	〇四五	三四二	一七三	〇一七	一三八	三三六	〇二五	二五〇	九四六	〇五四
全	三五號	六八六	〇九一	〇六七	三四七	一六六	〇一六	一四〇	三七七	〇二四	二四七	九四二	〇六二
全	三六號	六二〇	〇六〇	〇二八	三二七	一六七	〇一七	一四九	三七九	〇二五	二五三	九四三	〇六三
全	三七號	六五六	〇八七	〇五一	三二九	一八八	〇二三	一三八	三四一	〇二六	二五九	九四二	〇六三
全	三八號	四六七	一七〇	〇七五	三四九	一七八	〇二四	一四一	三六六	〇二七	二六六	七〇六	〇四三
全	三九號	六八二	〇五八	〇三五	三四九	二四七	〇二五	一三七	三五二	〇二七	二六九	九二五	〇五九
全	四〇號	五五七	一〇五	〇四八	三四二	一六七	〇二八	一三一	三五二	〇三〇	二七〇	九〇八	〇五八
全	四一號	五二四	〇七八	〇五一	三四八	一五六	〇二九	一二五	三五三	〇三一	二七六	七九六	〇五二
全	四二號	六二四	〇八五	〇五五	三五〇	一六四	〇三〇	一三三	三四七	〇三二	二八〇	一一四	〇七八
全	四三號	五八二	〇八八	〇五一	三五〇	一三五	〇三〇	一四三	三五〇	〇三二	二八〇	一一四	〇七八
全	四四號	五八七	〇七九	〇四六	三五二	一三五	〇三〇	一四三	三五〇	〇三二	二八〇	一一四	〇七八
全	四五號	五九二	〇八四	〇五四	三五五	一三五	〇三〇	一四三	三五〇	〇三二	二八〇	一一四	〇七八
全	四六號	五九七	一〇〇	〇六四	三五三	一六五	〇三一	一三三	三五〇	〇三二	二八〇	一一四	〇七八
全	四七號	六〇五	〇七九	〇五〇	三四四	一八六	〇三二	一二四	三五〇	〇三三	二八四	一一五	〇七九
全	四八號	六二七	〇八八	〇五二	三四七	一九一	〇三三	一二九	三五〇	〇三三	二八四	一一五	〇七九
全	四九號	六三七	〇六八	〇三九	三四二	一九四	〇三三	一四二	三五〇	〇三三	二八四	一一五	〇七九

出穂不同
付中止

全	五〇號	六四八	〇七五	〇四八	三二〇	一八二	〇〇八	一五九	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	五一號	六三三	〇九四	〇六一	三二七	一四八	〇一〇	一四八	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	五二號	五九二	〇三七	〇四七	三二〇	一三一	〇〇八	一四三	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	五三號	六〇三	〇六三	〇四一	三二〇	一三〇	〇〇八	一四三	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	五四號	六三三	〇八三	〇五四	三二二	一三三	〇〇八	一四三	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	五五號	五八七	〇七九	〇四六	三二二	一四六	〇〇八	一四三	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	五六號	六〇七	〇八三	〇五三	三四〇	一七六	〇〇九	一三三	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	五七號	六二五	〇七〇	〇四九	三四一	一八八	〇〇九	一二六	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	五八號	六二九	〇九四	〇六一	三四四	一九一	〇一〇	一二九	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	五九號	五九六	〇八一	〇四三	三四八	一九七	〇一〇	一三五	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	六〇號	六三一	〇八一	〇四三	三四八	一九七	〇一〇	一三五	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	六一號	五七四	〇八五	〇四九	三四八	二〇〇	〇一〇	一三〇	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	六二號	二四七	〇六七	〇四九	三四八	二〇〇	〇一〇	一三〇	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	六三號	六九八	一〇九	〇七〇	三四八	二〇〇	〇一〇	一三〇	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	六四號	六八〇	一二七	〇七〇	三四八	二〇〇	〇一〇	一三〇	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	六五號	七〇二	一六六	〇七〇	三四八	二〇〇	〇一〇	一三〇	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	六六號	六三〇	〇九三	〇六二	三四八	二〇〇	〇一〇	一三〇	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	六七號	六一〇	一六三	〇七〇	三四八	二〇〇	〇一〇	一三〇	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	六八號	七〇八	〇七九	〇四九	三四八	二〇〇	〇一〇	一三〇	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四
全	六九號	七〇八	〇七九	〇四九	三四八	二〇〇	〇一〇	一三〇	四九四	〇三六	二七八	一〇七	〇七四

出穂不同
付中止

全	七〇號	六五〇〇	一五五四	〇,一〇〇	三三四七	一六七三	〇,一〇七	一三三八五	二九四一	〇,一八八	二三六四	八三〇〇	〇,七五四
全	七一號	五九五九	一二二〇	〇,〇七八	三四六〇	一八〇六	〇,一七三	一三二五五	二四九二	〇,一六三	三二四〇	七六三〇	〇,四九二
全	七二號	六四七九	一六五一	〇,一〇七	三五七八	一六〇九	〇,〇八三	一三一四〇	三二五五	〇,一四一	二四六八〇	七八七四	〇,五二四
全	七三號	七三三二	〇,九九九	〇,〇六一	三五八三	一六一三	〇,一〇四	二二七二七	二八八二	〇,一八六	二四〇七〇	八一九〇	〇,五二四
全	七四號	六九一九	一三七六	〇,〇九二	三五八一	一四三七	〇,〇九五	二二九九二	三二二一	〇,二〇四	二四七五〇	七七八一	〇,四六七
全	七五號	六〇六六	一三八二	〇,〇八八	三七七六	一四三七	〇,〇八三	一三〇三五	二七九三	〇,一八三	二四五六〇	七三七七	〇,四六七
全	七六號	六八三九	一三三九	〇,〇八五	三八三三	一四七一	〇,〇九五	一三二二七	二五九九	〇,一六八	二四三八〇	七五〇九	〇,四六八
全	七七號	六〇〇八	一三三一	〇,〇七九	三七四〇	一四二二	〇,〇九一	一二七九六	二六一五	〇,一六六	二六四二六	一〇,〇四九	〇,六四六
全	七八號	四四一九	一,一五七	〇,〇七六	三三九二	一六三八	〇,一〇一	一二七二七	二八一〇	〇,一八八	二二五二二	九,一五八	〇,五八三
全	七九號	六〇〇四	一,〇八二	〇,〇六六	三三六三	一,三〇三	〇,〇八三	一三三三〇	二,九二〇	〇,一八八	三三八八五	七,九五二	〇,五七五
全	八〇號	六四八四	一,一六六	〇,〇七四	三五〇八	一四二九	〇,一〇〇	一二六九七	二,三四一	〇,一五二	二七四三〇	九,二〇九	〇,四六八
全	八一號	六六七四	一,二四七	〇,〇七九	三三八二	一,三二九	〇,〇八六	一二六一五	三,〇一〇	〇,一九二	二四五四〇	九,五〇一	〇,六一〇
全	八二號	五九三七	〇,九七〇	〇,〇六一	三三三三	一,三二二	〇,〇八四	一二〇五七	二,一九三	〇,一四〇	二三九〇二	六,九九八	〇,四四八
全	八三號	五五三四	〇,六九七	〇,〇四三	三三七八	一,二七九	〇,〇八二	一二二四二	二,四三三	〇,一五七	二〇,九〇九	六,四三〇	〇,四一三
全	八四號	五五八六	一,五四五	〇,〇八二	三三五六	一,七九六	〇,一四四	一二〇六六	二,一五八	〇,一三九	二五,六四九	六,一九〇	〇,三八二
全	八五號	五,三三六	一,三七一	〇,〇八四	三四四七	一,六五五	〇,一〇二	一二,七二八	三,五三三	〇,二六二	二八,一一〇	一,七七八	〇,七四四
全	八六號	五,九〇七	〇,九七四	〇,〇八五	三四八七	一,八五七	〇,一〇二	一二,七二八	二,八六七	〇,二五七	二七,五八六	九,二五〇	〇,六〇八
全	八七號	七,三六二	一,〇二二	〇,〇六四	三二,九四一	一,五七五	〇,一〇三	一二,八〇二	二,四四三	〇,一六九	二七,一六七	六,八四〇	〇,四一八
全	八八號	四八八七	一,〇六三	〇,〇五〇	三二,〇八五	一,八七六	〇,一〇一	一二,八九七	二,二四一	〇,一四二	二四,七九〇	六,四四〇	〇,四一四
全	八九號	五,二八九	〇,八四七	〇,〇五四	三二,〇七四	一,五七六	〇,一〇二	一二,八九七	二,二四一	〇,一四二	二四,七九〇	六,四四〇	〇,四一四
全	九〇號	五,二二〇	一,〇四一	〇,〇七四	三二,五五四	一,六五五	〇,一〇三	一二,四四三	二,三五五	〇,一八八	二五,一一八	五,九三五	〇,四七五
全	九一號	五,三九四	一,四八八	〇,〇九四	三二,九三四	一,〇七四	〇,〇六九	一二,六〇〇	二,二六三	〇,一四三	二四,〇九八	五,八〇一	〇,三七二
全	九二號	三,七五二	一,〇七七	〇,〇六九	三二,〇五九	一,一三三	〇,〇八〇	一二,八二三	二,六七三	〇,一八七	二四,三七二	六,四三五	〇,四二六
全	九三號	五,三九〇	〇,九七二	〇,〇六三	三二,一八〇〇	一,四〇〇	〇,〇九〇	一二,九八三	二,二八七	〇,一五三	二三,四七一	六,二一八	〇,三九四
全	九四號	五,二二〇	一,〇四一	〇,〇七四	三二,五五四	一,六五五	〇,一〇三	一二,四四三	二,三五五	〇,一八八	二五,一一八	五,九三五	〇,四七五
全	九五號	四八八七	一,〇六三	〇,〇七〇	三二,〇八五	一,八七六	〇,一〇一	一二,八九七	二,二四一	〇,一四二	二四,七九〇	六,四四〇	〇,四一四
全	九六號	五,二八九	〇,八四七	〇,〇五四	三二,〇七四	一,五七六	〇,一〇二	一二,八九七	二,二四一	〇,一四二	二四,七九〇	六,四四〇	〇,四一四
全	九七號	七,三六二	一,〇二二	〇,〇六四	三二,九四一	一,五七五	〇,一〇三	一二,八〇二	二,四四三	〇,一六九	二七,一六七	六,八四〇	〇,四一八
全	九八號	五,九〇七	〇,九七四	〇,〇六五	三二,二四六	一,九七九	〇,一〇二	一二,〇八六	二,四四三	〇,一六七	二五,六〇〇	七,六三二	〇,四九二
全	九九號	五,三六六	一,三七二	〇,〇八四	三四四七	一,六五五	〇,一〇二	一二,七二八	三,五三三	〇,二六二	二八,一一〇	一,七七八	〇,七四四
全	一〇〇號	五,〇〇〇	一,二二五	〇,〇八五	三四八七	一,八五七	〇,一〇二	一二,七二八	二,八六七	〇,二五七	二七,五八六	九,二五〇	〇,六〇八
全	標準甲	五,五六七	一,〇五六	〇,〇六八	三五,〇一八	二,一六八	〇,一四四	一三,三〇四	四,四八九	〇,二九五	二六,五五〇	九,七四七	〇,六二七

出穂不同
付中止

出穂不同
付中止

前表ノ成績ニ據リ、一一、一六、一九、二六、二七、三二、三八、四一、四三、五二、五八、六二、七九
八二、八六、八九、九二、九三、九五、九六、一〇〇、及標準ノ甲、即二十三區ヲ選抜シテ更ニ明年ノ試験
ニ供スル事トナセリ

(二) 福 龜

區別	出穗月日	草	丈	莖	數	穗	重	備考				
									平均價	標準	中央	平均價
全 三四號	三,七五六	一,〇七一	〇,〇六八	三,五五〇	一,三五八	〇,〇六六	八,九三三	二,三三四	〇,一五四	一九,五四六	六,六四〇	〇,四四五
全 三五號	三,二五二	一,〇五七	〇,〇六八	三,二八九	一,六一二	〇,一〇八	八,一四一	一,一四四	〇,〇七七	二,二五〇	六,〇六一	〇,四三八
全 三六號	三,〇四五	〇,九二二	〇,〇六八	三,三〇五	一,三六六	〇,一〇〇	八,二二三	二,三九六	〇,一七五	二,七五三	五,七四五	〇,四二三
全 三七號	三,一三一	一,〇五七	〇,〇六八	三,一八〇	一,四九九	〇,一〇七	八,五三六	二,三三八	〇,一六一	二,四五六	七,五二一	〇,五二九
全 三八號	三,一五〇	〇,八〇七	〇,〇六六	三,一三二	一,六七五	〇,一〇二	九,一〇八	二,〇九二	〇,一三二	二,〇一七	六,一六五	〇,四一九
全 三九號	三,一四三	一,一五七	〇,〇七三	三,五九八	一,二二九	〇,一〇四	八,八四一	二,〇九二	〇,一六三	二,〇三六	六,六一五	〇,五二七
全 四〇號	三,〇九八	一,〇七一	〇,〇六七	二,九八四	一,四五五	〇,〇九八	八,二二一	一,七二八	〇,一八	二,〇三六	六,二〇一	〇,四二八
全 四三號	三,一八九	一,二〇四	〇,〇七七	二,九六二	一,四九五	〇,一〇七	八,四九三	一,七九三	〇,一四三	一九,二八六	七,〇三六	〇,五四二
全 四六號	三,一三〇	一,一六四	〇,〇七三	三,四三三	一,三八九	〇,〇九〇	八,三七六	一,九五五	〇,一四八	三,一八一	七,一八四	〇,四八〇
全 四七號	九,一九六	一,〇五五	〇,〇六九	三,〇七五	一,四七八	〇,一〇四	八,六二五	二,一一七	〇,一四七	二,八七五	七,五二一	〇,五二二
全 五〇號	三,〇八一	一,一八二	〇,〇七五	三,〇九五	一,八六七	〇,一〇六	八,四九四	二,一七〇	〇,一三四	二,〇三六	七,二二一	〇,五六三
全 五一號	三,一八三	〇,九七七	〇,〇六四	三,一九五	一,四六四	〇,一〇五	八,三〇〇	一,五〇三	〇,一三九	二,一三六	五,四七〇	〇,八六八
全 五二號	三,〇九四	一,二五六	〇,〇六八	三,〇九五	一,四七三	〇,一〇二	八,四九四	二,一七〇	〇,一三四	二,〇三六	五,四七〇	〇,八六八
全 五三號	三,一四四	一,一六三	〇,〇七四	二,九七三	一,三七三	〇,一〇三	八,八三一	一,六八一	〇,一五五	二,三,七五〇	六,四九六	〇,五七四
全 五四號	三,〇五二	一,〇八〇	〇,〇六九	二,八六七	一,五六六	〇,一〇二	九,三六四	一,六三四	〇,一三二	二,一,三三〇	四,四八〇	〇,三七〇
全 五五號	三,一七三	一,二五九	〇,〇八一	二,九四五	一,五五三	〇,一〇九	九,一九九	一,七九六	〇,一五四	二,二,〇〇〇	五,三三一	〇,四六七
全 五八號	三,一三九	一,〇七三	〇,〇七〇	三,〇八九	一,五五二	〇,一〇九	八,八〇三	二,一四二	〇,一七五	二,二,三四二	六,六九二	〇,五五三
全 五九號	三,一三九	一,〇七三	〇,〇七〇	三,〇八九	一,五五二	〇,一〇九	八,八〇三	二,一四二	〇,一七五	二,二,三四二	六,六九二	〇,五五三
全 六〇號	三,〇九〇	一,一五一	〇,〇七三	二,九七七	二,二〇一	〇,一〇八	八,八〇六	一,九五二	〇,一六三	一,七,五〇〇	六,四〇〇	〇,五三三
全 六一號	三,一三九	一,三二〇	〇,〇八六	三,一五五	一,〇九〇	〇,一〇四	九,一六三	一,九〇四	〇,一四四	二,三,一一一	五,八九七	〇,六二二

區別	出穗月日	草	丈	莖	數	穗	重	備考				
									平均價	標準	中央	平均價
全 一〇號	三,〇六五	〇,九三三	〇,〇五九	三,一〇〇	一,三三三	〇,〇九〇	八,五三八	一,九八三	〇,一三五	二,一,七五九	六,〇二五	〇,四〇九
全 一七號	三,〇五六	〇,九三三	〇,〇五九	三,一〇〇	一,三三三	〇,〇九〇	八,五三八	一,九八三	〇,一三五	二,一,七五九	六,〇二五	〇,四〇九
全 二〇號	三,〇八〇	一,〇九〇	〇,〇六八	三,一八〇	一,四九九	〇,一〇七	八,五三六	二,三三八	〇,一六一	二,四五六	七,五二一	〇,五二九
全 二二號	三,〇六三	一,〇七七	〇,〇七二	三,一九六	一,三八八	〇,一〇三	九,〇三九	二,二〇七	〇,一八五	一,八,八四七	六,六九五	〇,六五七
全 二四號	三,〇七六	一,一八〇	〇,〇六七	三,一八七	一,五五三	〇,一〇六	八,六五〇	一,七五二	〇,一四二	二,一,四七一	六,七七三	〇,四七四
全 二六號	三,〇四九	〇,九五三	〇,〇六〇	三,一九五	一,四七五	〇,〇九五	八,七三七	一,七四〇	〇,一三二	二,二,九五〇	六,三三八	〇,四七七
全 二八號	三,一〇四	一,一八〇	〇,〇六七	三,一八七	一,五五三	〇,一〇六	八,六五〇	一,七四〇	〇,一三二	二,二,九五〇	六,三三八	〇,四七七
全 三〇號	三,一四六	一,〇三七	〇,〇六五	三,一五〇	一,四三六	〇,一〇五	八,六二二	一,七二八	〇,一四二	二,一,五九六	六,五七一	〇,四八〇
全 三二號	三,〇六八	一,一八九	〇,〇七八	三,〇八〇	一,五〇三	〇,一〇二	八,七四七	二,一五二	〇,一七〇	二,二,〇九八	六,七七七	〇,五三三
全 三四號	三,〇六二	〇,九二二	〇,〇六三	三,一八九	一,四〇三	〇,〇九八	九,六四〇	二,〇七三	〇,一四六	二,五,一〇〇	七,七四三	〇,七四四
全 三六號	三,〇五〇	一,〇三九	〇,〇六七	三,一三七	一,二四〇	〇,〇九八	八,五三三	一,七二二	〇,一三八	二,二,一六七	五,八一〇	〇,四六〇
全 三九號	三,〇六一	〇,九五六	〇,〇六一	三,一九七	一,二七七	〇,〇九〇	八,五三三	一,七二二	〇,一三八	二,二,一六七	五,八一〇	〇,四六〇
全 四二號	三,〇六三	一,〇九〇	〇,〇六八	三,一八〇	一,四九九	〇,一〇七	八,五三六	二,三三八	〇,一六一	二,四五六	七,五二一	〇,五二九
全 四四號	三,〇九八	一,〇七一	〇,〇六七	二,九八四	一,四五五	〇,〇九八	八,二二一	一,七二八	〇,一八	二,〇三六	六,二〇一	〇,四二八
全 四六號	三,一八九	一,二〇四	〇,〇七七	二,九六二	一,四九五	〇,一〇七	八,四九三	一,七九三	〇,一四三	一九,二八六	七,〇三六	〇,五四二
全 四八號	三,一三〇	一,一六四	〇,〇七三	三,四三三	一,三八九	〇,〇九〇	八,三七六	一,九五五	〇,一四八	三,一八一	七,一八四	〇,四八〇
全 五〇號	九,一九六	一,〇五五	〇,〇六九	三,〇七五	一,四七八	〇,一〇四	八,六二五	二,一一七	〇,一四七	二,八七五	七,五二一	〇,五二二
全 五二號	三,〇九四	一,二五六	〇,〇六八	三,〇九五	一,四七三	〇,一〇二	八,四九四	二,一七〇	〇,一三四	二,〇三六	六,六一五	〇,五二七
全 五三號	三,一四四	一,一六三	〇,〇七四	二,九七三	一,三七三	〇,一〇三	八,八三一	一,六八一	〇,一五五	二,三,七五〇	六,四九六	〇,五七四
全 五四號	三,〇五二	一,〇八〇	〇,〇六九	二,八六七	一,五六六	〇,一〇二	九,三六四	一,六三四	〇,一三二	二,一,三三〇	四,四八〇	〇,三七〇
全 五五號	三,一七三	一,二五九	〇,〇八一	二,九四五	一,五五三	〇,一〇九	八,一九九	一,七九六	〇,一五四	二,二,〇〇〇	五,三三一	〇,四六七
全 五八號	三,一三九	一,〇七三	〇,〇七〇	三,〇八九	一,五五二	〇,一〇九	八,八〇三	二,一四二	〇,一七五	二,二,三四二	六,六九二	〇,五五三
全 五九號	三,一三九	一,〇七三	〇,〇七〇	三,〇八九	一,五五二	〇,一〇九	八,八〇三	二,一四二	〇,一七五	二,二,三四二	六,六九二	〇,五五三
全 六〇號	三,〇九〇	一,一五一	〇,〇七三	二,九七七	二,二〇一	〇,一〇八	八,八〇六	一,九五二	〇,一六三	一,七,五〇〇	六,四〇〇	〇,五三三
全 六一號	三,一三九	一,三二〇	〇,〇八六	三,一五五	一,〇九〇	〇,一〇四	九,一六三	一,九〇四	〇,一四四	二,三,一一一	五,八九七	〇,六二二

調查不能

全六二號	九月 一、〇二七	日 一、三六五	〇、〇七九	三、〇二六	二、〇四九	〇、三三〇	九、八〇四	二、二一八	〇、一五五	三、三八八	六、七七一	一、一三三
全六三號	八月 三、二一四	一、〇九三	〇、〇七〇	三、〇三九	一、二九〇	〇、二四八	八、五四一	一、六三七	〇、二二五	二、四七二	五、五二六	〇、六六一
全六四號	九月 一、二七六	一、一六〇	〇、〇七九	三、〇八三	一、二一八	〇、二〇八	八、七二〇	一、八五七	〇、一六五	二、四二八	四、六六七	〇、四一六
全六五號	三、〇三〇	一、一五四	〇、〇七四	三、〇九三	一、四九四	〇、二一八	九、三三五	一、六九三	〇、一三六	二、四七四	六、五五一	〇、五三三
全七〇號	三、〇七四	一、〇四三	〇、〇六六	三、〇一八	一、三六〇	〇、〇八九	九、〇一〇	一、五六四	〇、一二二	二、〇四九	五、三三四	〇、四一〇
全七二號	三、二八六	一、三〇七	〇、〇八二	三、〇五六	一、三〇四	〇、一五二	九、一三九	一、七五一	〇、一三三	二、一〇〇	五、三三七	〇、六二七
全七三號	三、二二三	一、〇九二	〇、〇六八	三、〇八二	一、六八八	〇、二二二	九、七八七	一、九三五	〇、一四二	二、三三八	五、二三四	〇、三九二
全七六號	三、二四六	一、〇八五	〇、〇六九	三、〇八七	一、三〇二	〇、〇九六	九、九八一	二、二八九	〇、一六一	二、三二五	六、二四八	〇、四三七
全七七號	三、〇五三	一、一三六	〇、〇七五	三、〇九九	一、五五九	〇、一三一	九、五二〇	二、二二二	〇、一五二	二、四四三	七、八六六	〇、五六四
全七八號	三、〇六二	一、一七九	〇、〇六九	三、〇九一	一、四四一	〇、〇九八	八、九二四	二、三四五	〇、一六二	二、四七七	六、九六六	〇、六四三
全七九號	三、〇九五	〇、九五八	〇、〇六〇	三、〇三三	一、六四七	〇、一三三	九、六八〇	一、五六九	〇、一五七	二、四三三	七、五七三	〇、七二二
全八一號	三、二四五	一、一九一	〇、〇八〇	三、〇七八	一、五五六	〇、一〇〇	九、五二五	二、二五〇	〇、一五四	二、三九〇	七、一九六	〇、五〇九
全八三號	三、二四五	〇、八七五	〇、〇六七	三、〇七六	一、四〇〇	〇、〇九三	九、五八六	二、二八七	〇、一五二	二、三八七	六、一八八	〇、四三五
全八六號	三、二六四	一、〇三三	〇、〇六五	三、〇九六	一、九一四	〇、一三七	九、八七四	二、二一九	〇、一五三	二、四一一	六、三九六	〇、四七七
全八七號	三、二八二	一、〇七一	〇、〇六九	三、〇九九	一、六〇九	〇、一二〇	一、〇三四	二、五三三	〇、一〇一	二、三九九	六、九八九	〇、五五〇
全八九號	三、二八七	一、〇〇〇	〇、〇六九	三、〇四七	一、八六五	〇、一四二	一、〇一八	二、六六二	〇、一六八	二、四三六	八、二六四	〇、六二六
全九二號	三、二八三	〇、九二二	〇、〇五九	三、〇六七	一、四三〇	〇、〇九五	一、〇四一	一、九三九	〇、一三三	二、六四七	六、一五一	〇、四〇七
全九三號	三、二四五	〇、八六六	〇、〇五八	三、〇四八	一、五四五	〇、一七三	一、〇八五	二、四六一	〇、一八五	二、六一三	七、七五三	〇、五八〇
全九九號	九月 一、二八一	〇、八九一	〇、〇五六	三、〇五五	一、六二九	〇、二一五	一、〇三八	二、四六一	〇、二八五	二、六三八	五、九四二	〇、四九七

全一〇〇號	九月 一、五〇〇	一、四六〇	〇、〇九六	三、〇六〇	一、五八一	〇、二二七	九、七九六	二、二二三	〇、一五六	二、五七六	七、二七二	〇、五三二
全一〇一號	三、二六〇	一、〇六五	〇、〇六八	三、〇九三	一、六二四	〇、二一八	九、三三六	一、九八五	〇、一四七	二、三〇二	七、四八九	〇、五〇〇
全一〇二號	三、〇九二	〇、七九九	〇、〇五〇	三、〇五七	一、六〇九	〇、二二〇	八、三三三	一、七一九	〇、一三六	二、〇八四	五、八五〇	〇、四五二
全一〇三號	三、二四三	〇、一六二	〇、〇七四	三、〇六六	一、五三四	〇、二二七	九、〇三三	一、九九五	〇、二四七	二、〇三六	七、四三八	〇、五八八
全一〇五號	三、二八〇	一、〇九七	〇、〇六七	三、〇六七	一、四九〇	〇、二〇七	九、五四六	一、九六九	〇、二四二	二、四四二	五、五六五	〇、四〇三
全一〇六號	三、二九〇	一、三七〇	〇、〇八九	三、〇八〇	一、三三七	〇、〇九七	一、〇三三	二、〇七四	〇、一五一	二、二七五	六、一四一	〇、四二八
全一〇七號	三、二九〇	一、〇九七	〇、〇八九	三、〇八〇	一、三三七	〇、〇九七	一、〇三三	二、〇七四	〇、一五一	二、二七五	六、一四一	〇、四二八
全一〇八號	三、二九四	一、〇九七	〇、〇八九	三、〇六三	一、三三六	〇、二二〇	九、八四〇	二、二八〇	〇、一八五	二、二九四	七、一九六	〇、五〇〇
全一〇九號	九月 一、四四九	一、六二四	〇、〇七四	三、〇五六	一、六四三	〇、二二二	九、八四〇	二、二八〇	〇、一八五	二、二九四	六、五〇九	〇、四七六
全一一〇號	三、二四三	一、二四九	〇、〇七三	三、〇三七	一、六三九	〇、二二二	九、八七九	二、一〇二	〇、一三九	二、三六九	七、二五三	〇、六六八
全一一二號	九月 一、九四二	〇、八五六	〇、〇五五	三、〇二七	〇、九五四	〇、〇九一	九、四三四	二、二一一	〇、二二二	二、五七九	六、一八六	〇、五八四
全一一三號	九月 一、〇五〇	〇、九七七	〇、〇六三	三、〇七四	一、三三三	〇、〇八九	九、七〇一	二、〇七四	〇、一四二	二、三八七	五、五二八	〇、四八〇
全一一四號	三、二八〇	〇、九五二	〇、〇六〇	三、〇三三	一、六三九	〇、二二〇	一、〇三三	二、〇七四	〇、一五一	二、二七五	六、一四一	〇、四二八
全一一六號	三、二七二	一、五三四	〇、〇九八	三、〇三三	一、六六〇	〇、一三三	一、〇六三	二、〇〇〇	〇、一六一	二、五七〇	六、五二二	〇、五二七
全一一七號	三、二七二	一、五三四	〇、〇九八	三、〇三三	一、六六〇	〇、一三三	一、〇六三	二、〇〇〇	〇、一六一	二、五七〇	六、五二二	〇、五二七
全一一八號	三、二五二	〇、八七〇	〇、〇五六	三、〇八九	一、一九〇	〇、一〇〇	一、〇三九	一、八九六	〇、一六六	二、四九二	五、七八四	〇、四八六
全一二二號	九月 一、八〇七	一、二五八	〇、〇八二	三、〇七二	一、八二〇	〇、一〇〇	一、〇三九	二、三四五	〇、一六九	二、三九七	六、一五八	〇、四四九
全一二五號	九月 三、二四〇	一、二三三	〇、〇七八	三、〇七四	一、六三三	〇、一三七	九、四六七	二、三三五	〇、一七一	二、〇七三	五、一〇三	〇、五二六
全一二六號	九月 一、四三〇	一、〇二七	〇、〇六六	三、〇五四	一、六〇五	〇、一八七	九、五九五	二、四六〇	〇、一七〇	二、〇三三	六、二三七	〇、七三四
全一二七號	九月 二、二二三	一、〇七三	〇、〇七一	二、九七三	一、六九二	〇、一三七	一、〇三二	一、九七六	〇、一六〇	二、三三九	六、〇〇七	〇、五〇〇

出穂不同
付中止ス

出穂不同
付中止ス

全	一一號	二〇七五九	一九四四	〇、二三三	二七、八八二	一、五四七	〇、一四二	一、四〇〇	三、一五九	〇、一八九	二、四二六	七、五九一	〇、七〇九
全	一二號	一九九三三	一九七四	〇、二二七	三〇、六一五	一、二〇〇	〇、〇九〇	一、二七二	二、七四〇	〇、二〇一	一、八四七	六、〇六九	〇、四四九
全	一三號	一九五〇四	一九五八	〇、二一九	二八、五四六	一、三六三	〇、〇九六	一、一六五	二、四一一	〇、一六九	二、二〇三	五、八二四	〇、四〇一
全	一四號	二二、四二二	一、七五三	〇、二二〇	二七、七八八	一、一五四	〇、〇九五	二、二二五	二、六六六	〇、二三三	二、〇四一	五、九五四	〇、四九二
全	一五號	一九七、七五	一九〇六	〇、二一八	二七、九四九	一、二八七	〇、〇八四	一、一〇五	二、八九一	〇、一九一	二、二六六	六、九八九	〇、五〇二
全	一六號	一九〇、六三	一、八九三	〇、二一七	二八、八〇六	一、〇三三	〇、〇七〇	二、六四五	三、〇四二	〇、二一一	二、三、一七八	六、七八三	〇、四六四
全	一七號	二二、一六〇	一、六三五	〇、二一五	二八、二一五	一、二四七	〇、一〇四	二、一八三	二、五八二	〇、二二二	二、〇、八三三	八、一一九	〇、六七七
全	一八號	二〇、九三二	一、八一九	〇、二一九	二七、五四六	一、四五一	〇、一〇四	二、一六四	二、八八三	〇、二〇六	二、〇、五二七	六、二七八	〇、五八二
全	一九號	二二、二三八	一、七三七	〇、二二二	二七、五四六	一、四五一	〇、一〇四	二、一六四	二、八八三	〇、二〇六	二、〇、五二七	六、二七八	〇、五八二
全	二〇號	二二、二八九	一、九四四	〇、二二八	二七、三二七	一、三三九	〇、〇九六	二、六一〇	三、一七一	〇、二四三	二、〇、二二三	七、五六八	〇、五九一
全	二一號	一八、一〇七	一、五七四	〇、二一〇	三、一七九	一、三三一	〇、〇九一	八、二二二	一、九七四	〇、一四五	一、九、四五一	六、一七八	〇、四五八
全	二二號	二〇、一三三	一、九六一	〇、二三七	二七、五四〇	一、〇三八	〇、〇七八	二、七四三	二、六〇六	〇、一九九	二、二、二一〇	六、五四三	〇、四〇九
全	二三號	二二、五五六	一、八一九	〇、二一九	二六、五七四	一、三〇六	〇、〇八八	二、九〇八	二、八七九	〇、一九四	二、二、一一〇	六、八五〇	〇、四六一
全	二四號	二〇、九五〇	二、一九四	〇、二四二	二九、八四二	一、三〇〇	〇、〇八七	二、一〇六	二、五五二	〇、二六九	二、〇、八〇四	五、六九一	〇、三八〇
全	二五號	二〇、五四四	二、〇四四	〇、二二九	二八、二二三	一、三三八	〇、一四五	二、二九六	三、一〇七	〇、三三二	二、〇、二二七	六、九〇五	〇、七二六
全	二六號	二〇、九三七	一、九四四	〇、二三三	二八、六六七	一、五九四	〇、一四〇	二、一五六	二、九四九	〇、二五六	一、九、五三八	五、六六五	〇、四九二
全	二七號	二〇、四〇三	一、七四四	〇、二一一	二七、三三九	〇、六〇四	〇、〇三八	二、二九二	三、〇〇六	〇、一九九	二、五、五〇〇	五、八九五	〇、三五二
全	二八號	二〇、四八〇	一、七九二	〇、二一二	二六、六三六	一、一九六	〇、〇九二	二、三〇九	二、四九四	〇、一五八	二、九、二九四	五、四八五	〇、四二二
全	二九號	二〇、八六二	一、五六〇	〇、〇九九	二七、三九四	一、二〇九	〇、〇八一	二、四五五	二、九三六	〇、一九八	二、九、六三六	六、四七七	〇、六一五
全	三〇號	二〇、〇一八	二、一〇四	〇、一三三	二六、一六九	一、二八	〇、〇八七	二、三三五	二、八九九	〇、二二五	二、九、七六二	五、九七一	〇、四二〇

調査不能

全	三一號	二二、七四六	一、四七七	〇、〇九五	二九、一三九	二、七七八	〇、一九八	二、三六五	二、七四七	〇、二九二	一、八、六五六	六、〇六三	〇、七〇〇
全	三二號	二二、一六五	一、五九一	〇、一〇〇	三〇、八九四	一、二五六	〇、一〇九	二、〇五〇	二、五四〇	〇、二一九	二、六、五二五	一、六九九	〇、一四七
全	三三號	二二、一〇八	二、〇七七	〇、二一九	二七、五二九	二、二一九	〇、二五八	二、二八四	三、五六四	〇、四三四	一、八、〇〇〇	五、七五七	〇、六八九
全	三四號	二二、六四	一、五三九	〇、一〇〇	二七、五二九	二、二一九	〇、二五八	二、二八四	三、五六四	〇、四三四	一、八、〇〇〇	五、七五七	〇、六八九
全	三五號	二二、九五二	一、二九七	〇、〇八二	二六、六三六	一、一九六	〇、〇九二	二、三〇九	二、四九四	〇、一五八	二、九、二九四	五、四八五	〇、四二二
全	標準	二二、一六五	一、五九一	〇、一〇〇	二八、一四三	一、二四四	〇、〇九九	二、三〇八	二、九八一	〇、二五二	二、三、〇〇〇	七、六七一	〇、六五〇

調査不能

前表ノ成績ニ依リ一、八、一一、一三、一五、一六、一九、二二、二四、二七ノ十區ヲ選抜シテ更ニ明年ノ試験ニ供スル事トナセリ

第一、陸 稻

- 一、耕種梗概
- 一、畦 巾 二 尺
- 一、選 種 比重梗一、〇八、糯一、〇五液ヲ以テ比重選ヲ行フ
- 一、播種量 一反步當三升乃至三升五合トス
- 一、播種方法 麥作間ニ條播ス
- 一、播種期 五月下旬
- 一、除草及中耕

第一回 六月中旬
 第二回 七月上旬
 第三回 七月下旬

一、肥料 一反歩當用量左ノ如シ

肥料名	用 量	價 格	窒 素		磷 素		酸 素	
			量	里	量	里	量	里
堆肥	200,000	5,600	1,380	1,080				
大豆粕	4,000	1,800	0,294	0,063				
硫酸アンモニア	4,000	6,500	0,825					
強過磷酸	5,000	1,200						
人糞尿	54,000	1,600	0,601	0,119				
合 計		15,700	3,100	2,264				

備考 人糞尿ハ全量ヲ二分シ六月中旬及七月中旬ノ二回ニ追肥シ其ノ他ノ肥料ハ全部元肥トス

二、品種 試驗

前年來ノ繼續ニシテ陸稻ノ各品種ヲ蒐メ當地方ノ風土ニ適スル良種ヲ選定セントスルモノニシテ三十七種ニ就キ試驗セリ其ノ成績左ノ如シ

品 種 名	出 穂	成 熟	稈 長	芒 長	一 反 步 當 收 量		最近三ヶ年 收量等位	一 升 重
					大正七年 前年平均	最近三ヶ年 平均		
夜ノ雪糯	八、三	一〇、五	三、七〇	一、一分	12	1,636	1,715	3,600
尾張糯	八、九	一〇、二	四、三〇	五	1	2,497		3,600
改良國富糯	八、三	一〇、四	四、六五	一	5	1,923		3,700
早不知糯	九、五	一〇、五	四、六〇	一	17	1,677		3,500
勢多凱旋糯	八、三	一〇、八	四、二〇	二	14	1,355		3,700
藤藏糯	八、三	一〇、八	四、五〇	二	3	2,087		3,650
早生江曾島糯	八、二	一〇、三	四、四五	二	2	2,091		3,550
美濃早生	八、四	一〇、九	四、三八	二	2	1,805		3,550
田優	八、八	一〇、七	四、一八	二	1	2,384		3,500
常陸錦	八、八	一〇、七	四、〇五	二	2	1,721		3,500
常陸捷	八、二〇	一〇、四	四、二〇	六	3	2,653		3,500
當場金光坊	八、八	一〇、七	三、八三	六	17	1,755		3,500
長柄早生	八、七	一〇、八	四、五〇	六	6	2,159		3,500
當場信州早生	八、八	一〇、八	四、五〇	五	16	1,733		3,500
都賀	八、七	一〇、八	四、四三	八	3	2,235		3,500
大畑早生	八、二	一〇、三	四、三〇	〇	3	2,221		3,500
高砂早生	八、七	一〇、八	三、九〇	〇	5	2,147		3,500
埼玉關取	八、七	一〇、七	四、二〇	九	2	1,881		3,500

三	重種	八、一五	一〇、七	四、一三	—	二、四七〇	—	—	—	三、〇〇〇
---	----	------	------	------	---	-------	---	---	---	-------

備考 一、本表ノ肩ニ附セル數字ハ平均數ヲ示セルモノナリ

一、收量等位ハ二石五斗以上ヲ一等トシ以下一斗ヲ下ル毎ニ一階級ヲ下ケタリ

前表ノ成績ニ據リ早中晩、稈長、米質等ヲ綜合シテ優良種ト認ムルモノハ梗種ニアリテハ金光坊、長柄早生
糯種ニテハ夜ノ雪糯、藤藏糯トス尙ホ大畑早生、戰捷、凱旋、美濃早生、三重等ハ有望種ト認メ純系淘汰試
驗ヲ施行シツツアリ

三、品種育成試験

陸稻ノ極早生種ヲ育成センカ爲水稻ノ極早生種ヲ畑ニ播種シ漸次陸稻ニ馴化セシムルノ方法ニヨリ左ノ六品
種ニ就キ試験ヲ行ヘリ

- 一、保村早生
- 二、坊主
- 三、早生愛國
- 四、苗代稻
- 五、北海糯
- 六、金光坊

四、純系淘汰試験

品種試験ノ結果優良ト認メタルモノ並ニ廣ク栽培セラル、品種中有望ト認メタルモノニ就キ純系淘汰試験ヲ
施行セリ

(一) 純系淘汰收量比較試験

(一) 凱旋種 (第四年)

標	區別	出穂月日	成熟月日	稈長	芒長	反當玄米收量			玄米一升重
						大正七年	前年	平均	
五	標準	八、三	一〇、九	四、八五	—	二、五三五	二、四〇一	二、四六八	三五〇、〇
六	號	八、三	一〇、九	四、三五	—	二、四五五	二、二七一	二、三三三	三五〇、〇
七	號	八、三	一〇、九	四、二〇	—	一、七五七	一、八〇一	一、七九九	三六〇、〇
七	號	八、三	一〇、九	四、三〇	—	二、二九七	二、二九七	二、三三〇	三五〇、〇
七	號	八、三	一〇、九	四、〇五	—	二、三〇〇	二、〇八〇	二、二一八	三五〇、〇
七	號	八、二	一〇、九	四、一〇	—	二、五〇四	一、七五二	二、五九六	三五〇、〇
七	號	八、二	一〇、九	四、三〇	—	二、六六二	二、五〇九	二、五六六	三五〇、〇
二	號	八、四	一〇、九	三、八五	二	二、五四〇	二、四九五	二、五八	三五〇、〇
二	號	八、三	一〇、九	四、一〇	—	二、三九二	二、三四一	二、三六七	三五〇、〇
二	號	八、三	一〇、九	四、一五	—	二、六七三	一、九三〇	二、三三二	三五〇、〇

前表ノ成績ニヨリ最モ優レタル二三號、二四號ヲ選出シ一層確實ニ選定セン爲メ第五年ノ試験ニ供セントス
(二) 戦捷種 (第四年)

區別	出穂	成熟	稈長	芒長	反當	前年	平均	玄米一升重
標一	八、九日	一〇、五日	四、三〇	六分	二、九六八	二、七六〇	二、八六四	三、六〇、〇
三	八、九日	一〇、五日	四、二〇	五分	二、七〇四	二、九九八	二、八五二	三、六〇、〇
五	八、八日	一〇、五日	四、三〇	五分	二、六二七	二、八四九	二、七三六	三、六〇、〇
七	八、八日	一〇、五日	四、三〇	五分	二、五〇〇	二、九〇五	二、七三三	三、六〇、〇
七	八、八日	一〇、五日	四、三〇	五分	二、六八二	二、七六五	二、七四一	三、六〇、〇
八	八、八日	一〇、五日	四、〇〇	五分	二、六六六	二、四七〇	二、五八八	三、六〇、〇
九	八、八日	一〇、五日	四、〇〇	五分	二、八三〇	二、四八八	二、六二九	三、六〇、〇
九	八、八日	一〇、五日	三、五五	五分	二、四八二	二、四九三	二、三六一	三、六〇、〇
九	八、八日	一〇、五日	三、八五	五分	二、七四二	二、四一七	二、五八〇	三、六〇、〇
九	八、九日	一〇、五日	四、一〇	五分	二、五九九	二、四四五	二、四三二	三、六〇、〇

前表ノ成績ニ據リ標準ヨリ優リタルモノナシ
(三) 早生江會島糯 (第四年)

區別	出穂	成熟	稈長	芒長	反當	前年	平均	玄米一升重
標二	八、三日	一〇、九日	四、六五	二分	二、四〇二	二、六八九	二、五四六	三、五〇、〇
二	八、三日	一〇、九日	三、九五	二分	二、五五〇	二、三七二	二、四六一	三、五〇、〇
三	八、三日	一〇、九日	四、二〇	二分	二、三四九	二、五七二	二、四六二	三、五〇、〇
四	八、三日	一〇、九日	三、九五	二分	二、五〇一	二、三五五	二、四三七	三、五〇、〇
四	八、三日	一〇、九日	三、七〇	二分	二、三五〇	二、三五四	二、四三七	三、五〇、〇
四	八、三日	一〇、九日	三、九〇	二分	二、一六八	二、三三五	二、四三八	三、五〇、〇
八	八、三日	一〇、九日	三、七〇	二分	二、三〇九	二、三三〇	二、四二八	三、五〇、〇
八	八、三日	一〇、九日	三、八〇	二分	二、三〇五	二、三〇九	二、四二八	三、五〇、〇
九	八、三日	一〇、九日	三、八〇	二分	二、一九八	二、二〇四	二、一〇一	三、五〇、〇
九	八、三日	一〇、九日	三、八〇	二分	二、一七二	二、二〇七	二、一九九	三、五〇、〇

前表ニ據リ二八號、二九號、三四號ヲ優良ト認メ選抜シ第五年ノ試験ニ供セントス
(四) 常陸錦 (第四年)

區別	出穂	成熟	稈長	芒長	反當	前年	平均	玄米一升重
標二	八、四日	一〇、九日	四、一五	一分	二、四三二	二、五三九	二、四八五	三、七〇、〇
二	八、四日	一〇、六日	四、三〇	一分	二、一四八	二、〇三六	二、〇九二	三、六〇、〇
八	八、四日	一〇、六日	四、一〇	一分	二、〇五〇	二、三三九	二、一九〇	三、七〇、〇
三	八、四日	一〇、六日	四、四五	一分	一、八〇四	一、八〇四	一、八〇四	三、六〇、〇

三	二	七	三
號	號	號	號
八、一四	八、一四	八、一四	八、一四
一〇、一六	一〇、一六	一〇、一六	一〇、一六
四、三〇	四、三〇	四、三〇	四、三〇
二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇	二、二四〇
二、六四九	二、六四九	二、六四九	二、六四九
三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇

前表ノ成績ニヨリ最モ優レタル二四號ヲ選拔シ一層確實ニセシメ第五年ノ試験ニ供セントス
 (五) 藤藏糯 (第四年)

標	一	一	二	二	二	二	二	二	二	三
準	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
八、二三	八、二三	八、二三	八、二三	八、二三	八、二三	八、二三	八、二三	八、二三	八、二三	八、二三
一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四
五、一〇	四、八〇	四、八〇	四、八〇	四、八〇	四、八〇	四、八〇	四、八〇	四、八〇	四、八〇	四、九〇
二、二五〇	二、〇八〇	二、〇八〇	二、四四四	二、四四四	二、四四四	二、四四四	二、四四四	二、四四四	二、四四四	二、四九五
二、一三三	二、四四二	二、四四二	二、七〇四	二、七〇四	二、七〇四	二、七〇四	二、七〇四	二、七〇四	二、七〇四	二、七〇四
二、一八六	二、二八一	二、二八一	二、五七四	二、五七四	二、五七四	二、五七四	二、五七四	二、五七四	二、五七四	二、五七四
三、五〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	三、三九四	三、三九四	三、三九四	三、三九四	三、三九四	三、三九四	三、三九四	三、三九四

標	三	四	四	四
準	號	號	號	號
八、二三	八、二三	八、二三	八、二三	八、二三
一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四
四、四五	四、四七〇	四、四七〇	四、四七〇	四、四七〇
二、四四三	二、二八一	二、二八一	二、二八一	二、二八一
二、二八〇	二、二三四	二、二三四	二、二三四	二、二三四
二、三六二	二、四四三	二、四四三	二、四四三	二、四四三
三、六〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇

前表ノ成績ニヨリ最モ優レタル一六號、四三號、二五號ノ三系統ヲ選拔シ一層確實ニセシメ第五年ノ試験ニ供セントス
 (六) 美濃早生 (第四年)

標	三	一	二	三	七	七	八	八
準	號	號	號	號	號	號	號	號
八、二四	八、二四	八、二四	八、二四	八、二四	八、二四	八、二四	八、二四	八、二四
一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四	一〇、一四
四、二〇	三、八〇	四、二〇	四、二〇	四、二〇	四、二〇	四、二〇	四、二〇	四、二〇
二、二三九	二、五六〇	二、四五五	二、四五五	二、四五五	二、四五五	二、四五五	二、四五五	二、四五五
二、二六五	二、二九七	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇
二、二五二	二、四七九	二、四七九	二、四七九	二、四七九	二、四七九	二、四七九	二、四七九	二、四七九
三、五五〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇

九	九	八、三	一〇、九	四、一〇	二	二、六三〇	二、三六三	二、四九七	三六〇、〇
九	一	八、四	一〇、九	四、一〇	一	二、四三三	一、九七二	二、一九九	三五〇、〇
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號

前表ノ成績ニヨリ最モ優レタル七二號、九一號ノ二系統ヲ選抜シ一層確實ニセン爲メ第五年ノ試験ニ供セントス

(七) 大畑早生 (第四年)

區別	出穂期	成熟期	長	芒	玄米反當收量		玄米一升重
					前年	平均	
標一	八、三	一〇、二	四、一五	八分	二、九二二	二、七八二	三六〇、〇
七	八、三	一〇、二	四、七五	八分	二、七六五	二、七六六	三六〇、〇
二	八、三	一〇、二	四、二〇	六分	二、九九五	二、七二五	三六〇、〇
二	八、三	一〇、二	四、四〇	六分	二、九三三	二、八三一	三六〇、〇
四	八、三	一〇、二	四、八〇	四分	三、一四四	二、八二二	三六〇、〇
四	八、三	一〇、二	三、九〇	七分	三、一八四	二、三〇四	三六〇、〇
五	八、三	一〇、二	四、一〇	五分	二、六四〇	二、七五〇	三六〇、〇
七	八、三	一〇、二	四、四〇	八分	二、五〇七	二、六九五	三六〇、〇
八	八、三	一〇、二	四、四〇	八分	二、七二五	二、八九二	三六〇、〇
八	八、三	一〇、二	三、九〇	七分	三、〇三九	二、五〇二	三五〇、〇
八	八、三	一〇、二	四、三〇	七分	二、六〇七	二、五〇五	三五〇、〇

前表ノ成績ニヨリ最モ優レタル七號、二一號、二二號ノ三系統ヲ選抜シ一層確實ニセン爲メ第五年ノ試験ニ供セントス

(八) 長柄早生 (第三年) 浦次郎 (第三年)

區別	出穂期	成熟期	長	芒	反當收量		玄米一升重
					前年	平均	
三	八、七	一〇、九	四、七五	四分	二、五六〇	二、五六〇	三六〇、〇
四	八、七	一〇、九	四、六〇	四分	二、三八七	二、三八七	三五〇、〇
四	八、七	一〇、九	四、四五	四分	二、五八一	二、五八一	三六〇、〇
四	八、七	一〇、九	四、六五	四分	二、三五二	二、三五二	三六〇、〇
四	八、七	一〇、九	四、四〇	四分	二、六〇〇	二、六〇〇	三五〇、〇
四	八、七	一〇、九	四、六五	四分	二、一六八	二、一六八	三六〇、〇
標	八、七	一〇、九	四、六〇	四分	二、六五七	二、六五七	三五〇、〇
八	八、七	一〇、九	四、五五	五分	二、五〇六	二、五〇六	三五〇、〇
九	八、七	一〇、九	四、五〇	五分	二、五七六	二、五七六	三五〇、〇
一	八、七	一〇、九	四、八〇	七分	二、七六五	二、七六五	三五〇、〇
一	八、七	一〇、九	四、五五	七分	二、八二〇	二、八二〇	三五〇、〇
浦次郎	八、七	一〇、九	四、二〇	三分	二、六二八	二、六二八	三六〇、〇

(二) 純系淘汰第一年

埼玉縣立農事試驗場ヨリ三重種ノ種子ヲ取寄セ純系淘汰第一年ニ着手セリ其調査株數ハ三百五十株ニシテ選抜系統數ハ六十系統ナリ調査項目ハ左ノ如シ

- 一、出穂期
- 一、草丈
- 一、一株穂重
- 一、一穂ノ粒數
- 一、總重
- 一、分蘗
- 一、穗長

第三、大豆

- 一、耕種梗概
- 一、畦幅 二尺
- 一、選種 平盆選
- 一、肥料 一反步當木灰十五貫ヲ元肥ニ施用ス
- 一、播種量 一反步當二升乃至三升
- 一、播種種 五月下旬

一、中耕除草
 第一回 六月中旬(中耕)
 第二回 七月上旬(中耕)
 第三回 七月下旬(除草)
 第四回 八月中旬(除草)

二、品種試驗
 前年來ノ繼續ニシテ大豆ノ品種ヲ廣ク蒐メ當地方ノ風土ニ適スル良種ヲ選定セントスルモノニシテ十九種ニ就キ試驗セリ其ノ成績ハ左ノ如シ

品種名	成熟期	稈	收量			平均
			大正七年	前年平均	最近三ヶ年平均	
改良大豆	九、〇	一、九〇	一、四〇〇	九	一、二九八	一、二八二
裸豆	九、〇	二、一五	一、五四五	九	一、二四四	一、一八四
鬼裸	九、五	一、八八	一、三六〇	三	一、三五二	一、三五三
白裸	九、七	一、九〇	一、二五〇	九	一、二四七	一、二四八
還俗	九、九	一、八五	一、二三五	九	一、二〇一	一、二〇三
地藏	九、五	一、九五	一、四四五	九	一、二九四	一、三〇七
赤地	九、三	二、一五	一、一一〇	十五	一、二四三	一、一四〇

四ツ	白	生	借	水	鈴	上	地	柄	晚	半	比
莢	花	娘	シ	潜	豆	總	塚	木	後	越	丘
九、一三	九、一〇	九、一〇	九、一〇	九、一〇	九、一〇	九、一〇	九、一〇	九、一〇	九、一〇	九、一〇	九、一〇
二、二六	二、二五	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一〇
一、四〇	一、四〇	一、四一	一、三〇	一、四八	一、二五	一、三〇	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五	一、二五
15	15	11	15	15	15	15	3	3	3	3	3
一、一八〇	一、一八六	一、三〇五	一、三六六	一、二〇一	一、二二二	一、二二二	一、二二二	一、二二二	一、二二二	一、二二二	一、二二二
一、一三七	一、一〇五	一、四一七	一、二九五	一、四〇八	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇九
一、一七一	一、一七六	一、三三四	一、三六六	一、二二八	一、二二四	一、二二四	一、二二八	一、二二八	一、二二八	一、二二八	一、二五五

前表ノ成績ニ據リ優良種ト認ムルハ借金ナシ、鬼裸、白裸ニシテ之ニ亞クハ生娘、改良大豆、晚越後等ナリトス

三、純系淘汰試験（第二年）

試験ニ供セシ品種ハ晚越後、白裸ノ二品種ニシテ左ノ調査項目ニヨリ調査ヲナシ固定種ト認メ得ヘキモノノ晚越後十九系統、白裸三十六系統ヲ選抜シ翌年ノ收量比較試験ニ供セリ其調査項目左ノ如シ

- 一、開花月日
- 二、稈長

三、莢數
四、莢量
五、稈量
六、實量

第四、纖維耕作物

一、蘭草ニ關スル試験
當地方ニ於テ蘭草ヲ栽培シ副業トシテ疊表、莫産類ヲ織成スルノ得失ヲ研究セントスル目的ニテ前年ヨリ繼續試験ヲ行ヒシニ濕田ニシテ二毛作ヲナシ得サル處若クハ婦人等ノ勞力ヲ利用シ得ル地方ニテハ有利ト認メ之等ノ地方ニ對シテハ本場養成ノ苗ヲ配布シ漸次之レカ普及ヲ圖レリ

第五、麥類

一、耕種耕概
麥類試験ハ特別ノモノヲ除ク他總テ次ノ耕種法ニ依リテ栽培セリ
一、整地 大豆跡地ハ十月中旬南北ニ馬耕ヲ行ヒ同下旬馬鍬ニテ土碓ヲ破碎シ播種前畦巾二尺ノ距離ニ東西ニ作條ヲ設ケ陸稻跡地ハ踏鍬ニテ一回耕起シ後チ土碓ヲ碎キ畦幅二尺ノ距離ニ作條ヲ設ケ水稻裏作地ハ水稻刈取後直チニ鋤起シ播種前再ヒ鋤起シ土碓ヲ粉碎シ畦巾二尺ノ距離ニ作條ヲ設ケ
一、肥料

甲、大麥及裸麥

肥料名	一反歩用量		全上價格		元肥		追肥		所含三要素量		
	堆肥	大豆粕肥	堆肥	大豆粕肥	堆肥	大豆粕肥	第一回	第二回	窒素	磷酸	
堆肥	300,000	6,000	6,000	300,000	1,950	1,500			1,500	1,500	
大豆粕肥	6,000	2,130	6,000	6,000	405	91			91	210	
強過磷酸	5,000	1,165	5,000	5,000					1,010	1,100	
人糞尿	5,000	1,944	1,944	1,8,000	1,8,000			5,210	1,100	1,890	
合計			21,239						2,977	2,861	1,890

乙、小麥

肥料名	一反歩用量		全上價格		元肥		追肥		所含三要素量		
	堆肥	大豆粕肥	堆肥	大豆粕肥	堆肥	大豆粕肥	第一回	第二回	窒素	磷酸	
堆肥	250,000	5,000	5,000	300,000	1,650	1,150			1,150	1,150	
大豆粕肥	6,000	2,130	6,000	6,000	405	91			91	210	
強過磷酸	5,000	1,165	5,000	5,000					1,010	1,100	
人糞尿	5,000	1,944	1,944	1,8,000	1,8,000			5,210	1,100	1,890	
合計			10,139						2,592	2,611	1,590

備考 甲乙兩表其陸稻跡及水田裏作ニハ大豆粕四貫ヲ増施スルモノトス

一、選種

大麥ハ一、一三、小麥及裸麥ハ一、二三ノ比重液ニテ比重選ヲ行フ

一、病害豫防

麥奴及班葉豫防ノ目的ヲ以テ大麥、小麥、裸麥共ニ冷水温湯浸法ヲ行フ

一、播種量

一反歩ニ付大麥ハ四升乃至四升五合小麥、裸麥ハ三升乃至三升五合トス

一、播種法

特別ノ場合ヲ除ク他ハ條播ヲ行フ

一、播種期

小麥、裸麥ハ十月下旬大麥ハ十一月上旬トス

一、追肥

第一回 十二月 第二回 二月

一、踏付

第一回 十二月 第二回 一月 第三回 二月乃至三月

一、中耕

第一回 十二月 第二回 二月 第三回 三月下旬

一、土入

第一回 四月上旬 第二回 四月中旬 第三回 四月下旬

一、收穫期

黄熟期ニ刈取ル

二、品種試驗

前年來ノ繼續ニシテ其目的ハ内外各種ノ品種及人工交媒ニ依リテ育成シタル新品種ヲ栽培シ其性状品質收量等ノ優劣ヲ比較シ以テ當地方ノ風土ニ適應スル品種ヲ選擇センカ爲大麥、裸麥、小麥ニ就キテハ試驗セリ其ノ成績左ノ如シ

甲、大 麥

品 種 名	出 穂	成 熟	稈 長	芒 長	一 反 步 收 量		全 上 收 量 順 位	一 升 重	品 質
					大正七年	前年平均			
半 芒	四、二〇	六、二〇	三、八五	一、五	四、五七〇	16 五、一九二	五、二五三	五、一五五	上
備 前 早 生	四、二五	六、二二	四、二〇	一、〇	四、八七五	16 四、八四三	五、三〇七	四、八四五	上
改 良 大 麥	四、二八	六、一八	四、一〇	一、八	四、一七〇	2 六、〇八五	五、四四七	五、四四七	下
五 畝 四 石	四、二九	六、一八	三、九〇	三、七	四、六〇五	16 四、七九七	五、〇四一	四、七六六	中
虎 尾	五、一	六、一八	四、〇三	二、八	四、一七〇	16 四、三三七	四、三六五	四、三六五	中
ゴ ー ル デ ン メ ロ ン	四、三〇	六、一八	四、一五	一、五	四、八六〇	5 四、七五九	四、七六八	四、七六六	中
關 取	五、四	六、一七	四、九〇	四、一	三、九三五	16 四、一四四	四、一四二	四、一三二	中
ゴ ー ル デ ン メ ロ ン	四、二五	六、一六	三、七五	二、〇	四、三二〇	2 四、五三八	四、四六五	四、四六五	中
白 麥	四、二六	六、一三	三、九〇	一、三	四、四四五	2 五、〇一八	四、八三〇	四、八三〇	中
六 郷 關 取	四、二二	六、一〇	三、五五	一、六	四、七八〇	2 四、四四三	四、五五五	四、五五五	上
水 晶 林	四、二五	六、一三	二、九五	一、一	四、六〇五	11 四、八五六	五、二二〇	四、八三五	上
竹 林	四、二五	六、一八	三、一五	一、七	三、八二〇	4 四、七七二	四、二二七	四、五八一	上
竹 林	四、三〇	六、一六	三、七五	三、九	四、五六〇	2 四、六五〇	四、六二〇	四、六二〇	上
竹 林	四、二八	六、一六	三、八三	三、一	四、四八〇	2 四、五九五	四、五五七	四、五五七	中
竹 林	四、二八	六、一八	三、九五	二、九	四、四九〇	2 四、九三〇	四、七八三	四、七八三	中

竹 林 × 白 麥 乙 四 號	四、二九	六、一八	三、八〇	三、六	四、六四五	2 四、九〇〇	四、八一五	四、八一五	中
辨 慶	四、二四	六、一四	三、一〇	一、五	四、〇六〇	5 四、三三八	四、一七四	四、二七五	中
白 穗 麥	四、一八	六、一四	三、九〇	二、〇	四、三三〇	15 四、五四七	四、六七七	四、五三五	上
白 穗 好	四、二三	六、一五	四、〇三	三、三	四、八〇〇	5 四、四七二	四、五四五	四、五二七	上
珍 好	四、二五	六、一三	三、八五	二、〇	四、九七〇	16 四、六二八	五、三四七	四、六四九	上
珍 好 × 半 芒 四 號	四、二三	六、一一	三、八五	一、三	四、八八五	2 四、七七八	四、七五〇	四、七五〇	上
珍 好 × 半 芒 一 號	四、二七	六、一五	三、七〇	一、二	四、三七五	2 四、四八〇	四、四四五	四、四四五	上
岡 山	四、二六	六、一五	三、二〇	二、三	四、四四五	5 四、八四九	四、六〇二	四、七七七	中
奧 州	四、三〇	六、一八	三、一〇	四、〇	四、九三〇	4 四、六八九	四、六九五	四、六八一	中
彌 右 衛 門	四、二七	六、一五	四、〇〇	一、九	五、二五五	5 五、一七六	五、二九〇	五、一八九	中
甲 州 六 石	五、六	六、二〇	四、五〇	一、七	四、九三〇	—	—	—	中
シ ャ キ ロ ー ド	四、三〇	六、一六	四、四五	五、二	五、三六五	16 五、五一一	五、〇〇六	五、五〇六	下

本試験ノ成績ニ據リ品質、收量、稈長、成熟期等ヲ綜合シテ優良種ト認ムルハ半芒、備前早生、白麥、竹林等ニシテ半芒ハ稈長中位ニシテ熟期早ク品質收量等上位ナリ備前早生ハ稈長稍長キモ品質良好、白麥收量中位ナルモ品質良好ニシテ日本種中ノ最上位ナリ、竹林ハ稈長短ク多收穫ヲナスニ適シ跡作ニ便ナリ故ニ以上ノ四種ヲ原種ト定メタリ「シヤキロードシユバリ」ハ收量最多ナルモ品質劣等ニシテ稈長長ク且晩熟ナレハ跡作ヲナスニ適セム「ゴールデンメロン」ハ收量少キモ麥酒醸造用トシテ最モ適當ナリ然レトモ熟期晩ク稈長キヲ以テ跡作ノ栽培ニハ不適當ナリ

今試験經過ノ詳細ヲ示セハ左ノ如シ

大豆跡

種別	大										項目	
	備前早生	ゴールデンメロン	鬼	薄	原	豊	赤	關	小	大		
冬至	0.27	0.30	0.33	0.36	0.39	0.42	0.45	0.48	0.51	0.54	0.57	0.60
小寒	0.40	0.43	0.46	0.49	0.52	0.55	0.58	0.61	0.64	0.67	0.70	0.73
大寒	0.53	0.56	0.59	0.62	0.65	0.68	0.71	0.74	0.77	0.80	0.83	0.86
立春	0.66	0.69	0.72	0.75	0.78	0.81	0.84	0.87	0.90	0.93	0.96	0.99
雨水	0.79	0.82	0.85	0.88	0.91	0.94	0.97	1.00	1.03	1.06	1.09	1.12
啓蟄	0.92	0.95	0.98	1.01	1.04	1.07	1.10	1.13	1.16	1.19	1.22	1.25
春分	1.05	1.08	1.11	1.14	1.17	1.20	1.23	1.26	1.29	1.32	1.35	1.38
清明	1.18	1.21	1.24	1.27	1.30	1.33	1.36	1.39	1.42	1.45	1.48	1.51
穀雨	1.31	1.34	1.37	1.40	1.43	1.46	1.49	1.52	1.55	1.58	1.61	1.64
立夏	1.44	1.47	1.50	1.53	1.56	1.59	1.62	1.65	1.68	1.71	1.74	1.77
小滿	1.57	1.60	1.63	1.66	1.69	1.72	1.75	1.78	1.81	1.84	1.87	1.90

種別	大										項目	
	備前早生	ゴールデンメロン	鬼	薄	原	豊	赤	坊	小	大		
冬至	0.36	0.39	0.42	0.45	0.48	0.51	0.54	0.57	0.60	0.63	0.66	0.69
小寒	0.49	0.52	0.55	0.58	0.61	0.64	0.67	0.70	0.73	0.76	0.79	0.82
大寒	0.62	0.65	0.68	0.71	0.74	0.77	0.80	0.83	0.86	0.89	0.92	0.95
立春	0.75	0.78	0.81	0.84	0.87	0.90	0.93	0.96	0.99	1.02	1.05	1.08
雨水	0.88	0.91	0.94	0.97	1.00	1.03	1.06	1.09	1.12	1.15	1.18	1.21
啓蟄	1.01	1.04	1.07	1.10	1.13	1.16	1.19	1.22	1.25	1.28	1.31	1.34
春分	1.14	1.17	1.20	1.23	1.26	1.29	1.32	1.35	1.38	1.41	1.44	1.47
清明	1.27	1.30	1.33	1.36	1.39	1.42	1.45	1.48	1.51	1.54	1.57	1.60
穀雨	1.40	1.43	1.46	1.49	1.52	1.55	1.58	1.61	1.64	1.67	1.70	1.73
立夏	1.53	1.56	1.59	1.62	1.65	1.68	1.71	1.74	1.77	1.80	1.83	1.86
小滿	1.66	1.69	1.72	1.75	1.78	1.81	1.84	1.87	1.90	1.93	1.96	1.99

人糞尿 計 平均成績 三六、〇〇〇 一、二五六 二、〇五五

區別	大正七年		前四ヶ年平均		平均	
	反當收量	肥料對一圓收量	反當收量	肥料對一圓收量	反當收量	肥料對一圓收量
一	五、〇八四	〇、一〇二	五、三三三	〇、四五七	五、二八三	〇、四〇六
二	四、三三八	〇、一七九	四、八一三	〇、四二八	四、七二八	〇、三七〇
三	五、三四〇	〇、二五四	五、六〇九	〇、五二六	五、五五五	〇、四六四
四	五、四三三	〇、二六〇	五、四九三	〇、五二二	五、四八一	〇、四六二
五	四、二六五	〇、二二二	四、七二七	〇、四八四	四、六二七	〇、四三三
六	五、二八〇	〇、二五二	五、三六五	〇、四六六	五、三四八	〇、四二三
七	四、六五九	〇、二二四	四、八八〇	〇、四四〇	四、八三六	〇、三九五
八	五、四五四	〇、二四一	五、六〇〇	〇、四八九	五、五七一	〇、四三九
九	三、九四八	〇、四四三	四、八八〇	〇、八三三	四、六九四	〇、七四七
〇	四、一五二	〇、三四四	五、〇六三	〇、七三二	四、八八一	〇、六五四

備考 本年度ノ肥料代一圓ニ對スル收量前四ヶ年平均ニ比シ著シク減少セルハ肥料價格ノ異常ナル騰貴ニ基因ス

前表ニ於テ最高ト最低トヲ比較スルニ收量ニ在リテハ一石五斗(最低ニ對スル三割七分増)肥料代ニ在リテハ約拾六圓(最少ノ三倍増)ノ差異アリ而シテ肥料代一圓ニ對スル收量ハ最高ハ最低ノ二、五倍ヲ示ス以テ配合ノ巧拙如何カ經濟ニ及ホス影響ノ大ナルヲ知ラン

五ヶ年平均中收量最多キハ第八區ニシテ第三、第四區之ニ亞ケリ之等ハ何レモ有機質窒素ニ少量ノ速効性無機質窒素ヲ加ヘ且無機質速効ナル磷酸及加里ヲ配合セルモノナリ如斯配合法ニ依ル時ハ收量ハ大ナリト雖金肥ナルカ故ニ肥料價値ニ對スル收量ハ割合ニ低キノ欠点アリ

然ルニ第九區及第十區ハ何レモ自給肥料ヲ主トセルモノニシテ其收量ハ前者ニ及ハスト雖モ肥料代ニ對スル收量ニ至リテハ他區ノ遠ク及ハサル所ナリトス

第三區ノ年ヲ重ヌルニ從ヒ減收シ第八區カ次第ニ增收スルノ傾向ヲ示セルハ麥作肥料ノ配合ニ際シ反應矯正カ如何ニ深甚ノ注意ヲ要スルカヲ表スモノナリ

第五區及第七區ノ骨粉使用區カ成績優良ナラサルハ麥ニ對シ同肥料ノ肥効十分ナラサルヲ示ス

第一區ト第二區、第三區ト第四區トヲ比較スレハ智利硝石ノ肥効ハ實際上硫酸ニ劣ルヲ知ルヘシ

第二區ト第四區トノ比較ニ依リ有機配合カ遙ニ無機配合ニ優ルヲ知ル

以上ヲ綜合シ麥作ニ適スル有利ナル配合ハ堆肥、人糞尿(又ハ硫酸)ヲ骨子トシ之ニ配スルニ大豆粕、過磷酸並ニ少量ノ木灰ヲ用フルヲ最可トスルカ如シ

五、大麥栽培法試驗

大麥ニ對シ當場普通肥料ヨリ約五割増量ヲ施シ各種栽培法ニ就キテ其得失ヲ研究セントスルモノニシテ畑及水田裏作ニ於テ試驗ヲ行ヘリ

肥料 (一反歩當用量)

肥料名	反當用量	全上價格	所含成分		
			窒素	磷	酸加里
堆肥	三〇〇,〇〇〇	六,〇〇〇	一,九五〇	一,五六〇	一,五〇〇
大豆粕	二八,〇〇〇	九,九四〇	一,八三三	〇,四二〇	〇,五四〇
硫酸アンモニア	三,〇〇〇	四,五九〇	〇,六〇九	—	—
強過磷酸	八,〇〇〇	一,八六四	—	一,六一六	—
木灰	八,〇〇〇	六〇〇	—	〇,〇六七	〇,七三六
人糞尿	五〇,〇〇〇	一,九四四	〇,五六一	〇,二〇〇	〇,一八九
合計		二四,九三八	四,九四四	三,八五三	二,九六五

備考 堆肥、大豆粕、硫酸アンモニア、強過磷酸ハ全部元肥ニ木灰ハ全部追肥ニ施用シ人糞尿ハ三分ノ一ヲ元肥ニ施用シ三分ノ一ハ十二月、三分ノ一ハ二月ニ追肥トシテ施用セリ

試驗區別

- 第一、寄播法 畦幅三尺播幅四寸宛二畦ノ寄條播トス
 - 第二、香川式 畦幅三尺播幅一尺ノ平播トシ稍高畦トナス播種後中耕ヲ行ハス土入ヲナス
 - 第三、權田式 畦幅二尺七寸播溝七寸ニシテ一畦二列條播トシ權田式手入ヲ行フ
 - 第四、普通法 當場普通播ニシテ畦幅二尺播幅四寸ノ條播トス
- 試驗成績
- 一、畑地播種 十一月九日
 - 一、水田裏作播種 十一月二十五日

區號	區別	大正六年		大正七年		平均
		畑地反當收量	水田裏作全上	畑地全上	水田裏作全上	
第一 寄播法	寄播式	五,九一五	四,二〇〇	五,六五〇	三,八一九	五,七六三
第二 香川式	香川式	五,五二八	四,九〇〇	五,五四七	三,八三六	五,五三三
第三 權田式	權田式	五,五九四	四,四〇六	五,二六七	三,七七九	五,四三二
第四 普通法	普通法	五,九二二	四,〇七三	五,七〇〇	四,〇三三	五,八〇六

右ノ成績ニ據レハ畑地ニ於テハ普通法最モ優リ權田式最モ劣レリ然レトモ水田裏作ニ於テハ香川式最モ優レリ之レ蓋シ畑ト水田トノ乾燥度合ヲ異ニスル故ナランカ、サレハ土地濕潤ナル場所ニ於テハ香川式ノ如ク稍高畦式播種法ヲ行フ事可ナルカ如シ尙試驗ヲ繼續シテ其結果ヲ究ムヘシ

區別	反當收量	全上價格	反當肥料價格	肥料代金 差引殘額	殘額順位	收量順位
第一	三、五二八	五、四四八	一七、三二八	三、一三〇	二	一
第二	三、五四七	五、七五二	一五、八八三	四〇、八六九	一	二
第三	三、三三三	五、一五六	一四、八四三	三、七五	三	三
第四	二、九〇〇	四、六〇〇	一三、六六二	三、七三六	五	四
第五	二、八三三	四、五〇八	一三、五九一	三、四二六	八	五
第六	二、五二七	四、〇、二七二	一二、八五九	二、七、四二三	九	六
第七	三、二五三	五、〇、四八	一五、九三八	三、六、一一〇	四	七
第八	二、八九〇	四、六、二四〇	一三、七四二	三、四九八	六	八
第九	二、九四〇	四、七、〇四〇	一四、八九八	三、一四二	七	九

右ノ成績ニ依レハ收量並ニ肥料代金差引殘額共第二區第一位ヲ占メ第六區最モ劣レリ然シテ肥料代金差引殘額ニ於テ最多最少ヲ比較スル時ハ實ニ拾參圓四拾五錢六厘ノ大差アリ尙收量ノ多寡ト肥料代金差引殘額ノ多寡トノ順位一致セサルヲ見レハ肥料ノ選擇配合並ニ栽培法ノ如何ニヨリ利害得失ノ大ナルモノアルヲ知ラン、

七、大麥雜種育成試驗

甲、雜種第三代

現今原種トシテ配布セル白麥種ハ收量、品質共ニ優秀ニシテ他種ノ遠ク及ハサル所ナリト雖モ麥稈弱クシテ倒伏シ易キ嫌アリ故此欠点ヲ改良センカ爲大正五年白麥種ト他ノ九品種トノ間ニ人工交媒ヲ施行セリ

大正六年度ニ於テ其中ヨリ左記各系統ヲ選抜シ本年度ノ試驗ニ供セリ

一、白麥 × 原町

第二代(大正六年度トス以下全之)ニ於テ稍目的ニ近シト認メタルモノ二十一株ニシテ之ヲ本年比較栽植セル結果十一號ハ最有望ナリト認メ更ニ明年度ノ試驗ニ供スル事ト爲セリ

二、白麥 × 水品

第二代選抜株數ハ三十九株ニシテ之ヲ本年比較試驗セル結果三十一號、三十九號、四十一號、五十二號、六十六號、八十三號 六區ヲ選擇シテ更ニ明年ノ試驗ニ供スル事ト爲セリ

三、白麥 × 竹林

第二代ニ於テ選抜セル二十九區中ヨリ比較試驗ノ結果三十五號並ニ五十二號ヲ有望ト認メ更ニ明年度ノ試驗ニ供スル事ト爲セリ

四、白麥 × 五畝四石

第二代ニ於テ選抜セル十五區中ヨリ比較試驗ノ結果八十五號ヲ選抜シ更ニ明年ノ試驗ニ供スル事ト爲セリ

五、白麥 × 備前早生

第二代ニ於テ選抜シ本年比較試驗セル二十三區中ヨリ四號及九號ヲ選擇シ更ニ明年ノ試驗ニ供スル事トナセリ

六、白麥 × 改良大麥

第二代ニ於テ選抜シ本年比較試験セル二十區中ヨリ一號ヲ選擇シ更ニ明年度ノ試験ニ供スル事ト爲セリ

七、白麥 × 虎ノ尾

第二代ニ於テ選抜シ本年比較試験セル二十三區中ヨリ一ノ一號及二ノ一三號ヲ選抜シ更ニ明年ノ試験ニ供スル事ト爲セリ

八、白麥 × 半芒

第二代ニ於テ選抜セル八區ニ就キ本年比較試験セルモ有望ト認ムヘキモノナキニ付全部廢棄ス

九、白麥 × 豐年

第二代ニ於テ選抜セル三區ニ就キ本年比較試験セルモ有望ト認ムヘキモノ皆無ニ付全部廢棄ス

乙、雜種第二年

白麥改良ノ目的ヲ以テ人工交媒セル雜種中ヨリ左記ノ個體ヲ選抜シ更ニ明年ノ試験ニ供スル事トセリ

一、竹林 × 白麥 一〇株

一、虎ノ尾 × 白麥 三株

一、半芒 × 白麥 一株

雜種ニ關スル研究ニ供スル爲メ大麥備前早生ト裸麥豐年並ニ大麥シユキロードシユバリート半芒トヲ人工交

媒シ其ノ中ヨリ左記ノ個體ヲ選抜シテ更ニ明年ノ試験ニ供スル事ト爲セリ

一、豐年 × 備前早生 五株

一、シユキロードシユバリー × 半芒 一株

八、大小麥純系淘汰試驗 (其一)

品種比較試驗ノ結果優良ト認メタル左記諸品種ニ就キ純系淘汰第四年ヲ施行セリ

一、水 品 (大麥)

區 別	出穗期	成熟期	稈 長	芒 長	反 當 收 量	收量順位	一升重
水 品 標 準	四月五日	六月二日	三、五	一、七	三、八〇	四	三、四一、五
全 一 五 號	四月五日	六月三日	二、九〇	一、三	四、九〇	二	三、三二、五
全 四 二 號	四月三日	六月二日	三、一〇	一、八	四、九〇	一	三、三一、五
全 一 〇 號	四月五日	六月二日	二、七五	一、六	四、三〇	三	三、九一、五

二、關 取 (大麥)

區 別	出穗期	成熟期	稈 長	芒 長	反 當 收 量	收量順位	一升重
標準六郷關取	四月五日	六月三日	三、一〇	一、六	三、三九〇	七	三、三四、五

區別	出穗期	成熟期	稈長	芒長	反當收量		收量順位	一升重	
					大正六年	大正七年			
關取田二號	四、二五	六、一三	三、一〇	二、〇	六、〇〇〇	四、三八〇	五、一九〇	一	三、六、五
全田六號	四、二七	六、一三	二、八〇	一、八	五、八七〇	四、三〇五	五、〇八八	二	三、七、五
全田三一號	四、二六	六、一三	二、九五	一、八	五、三九〇	四、四九五	四、九四三	三	三、五、〇
全久九號	四、二五	六、一三	三、〇五	一、六	六、〇四〇	四、〇六五	五、〇五三	四	三、四、〇
全久四號	四、二四	六、一三	三、〇〇	一、九	五、八八〇	四、二五五	五、〇六八	三	三、四、三、五
全久二號	四、二五	六、一三	三、五〇	一、九	五、七七〇	四、一九五	四、九八三	五	三、四、〇、五
竹林(標準)	四、二五	六、一八	二、九五〇	二、一	五、五六五	四、六〇五	五、〇八五	二	三、九、〇
全一號	四、二六	六、一八	三、一五〇	二、二	六、〇〇〇	四、五七〇	五、二八五	一	三、五、五
全六號	四、二七	六、一八	三、一〇〇	一、八	五、五七〇	四、五八〇	五、〇七五	三	三、三、五
白麥(標準)	四、二八	六、一四	三、九〇	二、〇	五、〇〇〇	四、三五〇	四、六七五	六	三、四、〇、五
全六號	四、二八	六、一四	三、九五	二、四	五、〇〇〇	四、三三〇	四、六六五	七	三、四、〇、五

四、白麥、惣社麥、穗揃

三、竹 林(大麥)

區別	出穗期	成熟期	稈長	芒長	反當收量		收量順位	一升重	
					大正六年	大正七年			
全一〇號	四、二八	六、一四	四、一〇	三、三	五、二六〇	四、二九五	四、七七八	四	三、六、五
全五九號	四、二八	六、一四	四、三三	二、五	四、九〇〇	四、二四〇	四、五七〇	九	三、四、〇
全一九號	四、二九	六、一四	四、一三	二、九	五、〇九〇	四、三三〇	四、七一〇	五	三、三、五
全南五號	四、二五	六、一四	四、〇〇	一、三	五、二六五	四、七六五	五、〇一五	一	三、四、五
惣社麥二六號	四、二六	六、一四	三、九〇	二、二	四、八〇〇	四、八六〇	四、八三〇	二	三、六、五
全三號	四、二九	六、一四	四、三〇	二、八	四、六六〇	四、五七〇	四、六一五	八	三、三、五
全二七號	四、二九	六、一四	三、八五	二、七	四、五六〇	五、〇一〇	四、七八五	三	三、五、〇
穗揃神七號	四、二八	六、一四	四、〇五	二、二	四、六六〇	四、六七〇	四、六六五	七	三、一、五
五、虎ノ尾									
虎ノ尾(標準)	四、三〇	六、一八	四、一五	一、五	四、二二五	四、八六〇	四、五三六	三	三、五、五
全二二號	四、三〇	六、一三	三、八〇	一、二	四、四五〇	四、四五五	四、四五三	四	三、二、五
全四二號	四、二八	六、一三	三、七二	一、二	四、五九〇	四、五一〇	四、五五〇	二	三、七、五
全四四號	四、三〇	六、一八	四、一〇	一、二	四、六九〇	四、五七〇	四、六三〇	一	三、九、〇

六、備前早生、名古屋備前、新田備前早生(大麥)

區別	出穗期	成熟期	稈長	芒長	反當收量		收量順位	一升重
					大正六年	大正七年		
備前早生(標準)	四月五日	六月二日	四、二〇	一、〇	二、六三〇	四、八七五	三、七五三	三、四、五
全五號	四月六日	六月三日	四、一〇	一、二	三、三三〇	四、四一五	三、八七三	三、二、五
全新三五號	四月五日	六月三日	三、九〇	一、二	二、九七〇	四、四四〇	三、七二五	三、二、五
名古屋備前 四八號	四月三日	六月一日	四、〇五	一、四	三、二二〇	四、五四〇	三、八七五	三、三、五
七、半芒、五畝四石、結城 (大麥)								
半芒(標準)	四月二日	六月一日	三、八五	一、五	三、六五〇	四、五七〇	四、一〇	三、八、〇
全八號	四月二日	六月〇日	三、八三	二、〇	三、九七〇	四、八七五	四、四三	三、八、〇
結城四九號	四月三〇日	六月九日	四、一五	一、九	三、五五〇	四、七五五	四、一五三	三、〇、〇
五畝四石(標準)	五月一日	六月八日	四、〇三	二、八	二、七八〇	四、一七〇	三、四七五	三、三、〇
全一五號	五月一日	六月八日	四、〇〇	二、六	三、三三〇	四、四五五	三、八九三	三、九、五
八、白坊主、赤坊主 (小麥)								
赤坊主標準	五月六日	六月六日	三、九〇	〇、三	二、八四〇	三、六一五	三、一六〇	三、七、八
全高三四號	五月九日	六月八日	三、七〇	〇、三	二、七四〇	二、五二五	二、六三三	三、七、一
全神三四號	五月八日	六月七	三、八〇	〇、〇	二、七三〇	二、九五五	二、八四三	三、八、〇
全神一〇號	五月七日	六月七	四、三五	〇、二	二、五九〇	二、八六〇	二、七五五	三、七、五
全高三二號	五月一〇日	六月八	三、五〇	〇、〇	二、五七〇	三、八二〇	三、一九五	三、七、三
全高三〇號	五月一〇日	六月八	四、一〇	〇、四	二、四三〇	三、〇三五	二、七三三	三、七、〇
全高一號	五月八日	六月七	三、七〇	〇、二	二、四三〇	三、七六五	三、四五三	三、七、〇
白坊主美八號	五月一〇日	六月九	四、二〇	〇、五	三、一四〇	三、六八五	三、二九三	三、七、〇
全美二二號	五月九日	六月三〇	三、九〇	〇、三	二、九〇〇	三、六八五	三、二九三	三、七、〇
全美三七號	五月二日	六月三〇	四、一三	〇、三	三、四二〇	三、七〇五	三、五六三	六、三、五
全美四一號	五月二日	六月三〇	四、〇〇	〇、三	三、四五〇	三、九〇五	三、六七八	三、六、〇
全美五〇號	五月二日	六月三〇	三、八〇	〇、五	三、一八〇	三、〇〇〇	三、〇九〇	三、六、〇
全美五九號	五月二日	六月三〇	三、八〇	〇、三	三、二八〇	三、四三五	三、三五八	三、六、〇
全美五四號	五月二日	六月三〇	四、四五	〇、二	二、九九〇	三、二六五	三、二一八	三、七、一

九、大小麥純系淘汰試驗 (其二)

品種比較試驗ノ結果優良ト認メタル左記品種ニ就キ純系淘汰第二年ヲ施行セリ

(一) 大麥關取

區別	出穗期	成熟期	稈長	芒長	反當收量		收量順位	一升重
					大正六年	大正七年		
赤坊主標準	五月六日	六月六日	三、九〇	〇、三	二、八四〇	三、六一五	三、一六〇	三、七、八
全高三四號	五月九日	六月八日	三、七〇	〇、三	二、七四〇	二、五二五	二、六三三	三、七、一
全神三四號	五月八日	六月七	三、八〇	〇、〇	二、七三〇	二、九五五	二、八四三	三、八、〇
全神一〇號	五月七日	六月七	四、三五	〇、二	二、五九〇	二、八六〇	二、七五五	三、七、五
全高三二號	五月一〇日	六月八	三、五〇	〇、〇	二、五七〇	三、八二〇	三、一九五	三、七、三
全高三〇號	五月一〇日	六月八	四、一〇	〇、四	二、四三〇	三、〇三五	二、七三三	三、七、〇
全高一號	五月八日	六月七	三、七〇	〇、二	二、四三〇	三、七六五	三、四五三	三、七、〇
白坊主美八號	五月一〇日	六月九	四、二〇	〇、五	三、一四〇	三、六八五	三、二九三	三、七、〇
全美二二號	五月九日	六月三〇	三、九〇	〇、三	二、九〇〇	三、六八五	三、二九三	三、七、〇
全美三七號	五月二日	六月三〇	四、一三	〇、三	三、四二〇	三、七〇五	三、五六三	六、三、五
全美四一號	五月二日	六月三〇	四、〇〇	〇、三	三、四五〇	三、九〇五	三、六七八	三、六、〇
全美五〇號	五月二日	六月三〇	三、八〇	〇、五	三、一八〇	三、〇〇〇	三、〇九〇	三、六、〇
全美五九號	五月二日	六月三〇	三、八〇	〇、三	三、二八〇	三、四三五	三、三五八	三、六、〇
全美五四號	五月二日	六月三〇	四、四五	〇、二	二、九九〇	三、二六五	三、二一八	三、七、一

全	六九號	二五九六六	〇九八	〇〇九七	二四三三〇	一七一九	〇一五六	九二六六	三四三四	〇三四	一八八三〇	七三九〇	〇五四七
全	七〇號	二四九〇七	二六〇四	〇二八八	二四七六〇	一五九四	〇一六八	一五三四	五四九四	〇五七四	二五七八〇	二七四〇	〇二七四
全	七一號	二六三六四	一九九五	〇二二二	二四六九〇	一四三二	〇一四四	九八五九	四一四二	〇四〇八	二〇八二〇	八二九六	〇八三八
全	七二號	二五二五七	二七〇〇	〇二六七	二四六六〇	一八七七	〇一六九	一四四四	五〇六	〇五五	二四二二	一一七〇	〇八九〇
全	七三號	二七七九五	一七八一	〇二七三	二四七四〇	一九九〇	〇一九九	一〇四四	四九二八	〇五三	一九五八〇	八二一七	〇八三三
全	七四號	二五九〇五	二二〇七	〇二五二	二五六四〇	一二九九	〇二三八	一四四九〇	六〇〇四	〇六三	三五三七〇	一三九九〇	一五四九
全	七五號	二九三二八	一九八七	〇二二二	二三八〇	一四八	〇二六〇	一〇三六	四一六〇	〇四七	二七八一〇	一三〇〇〇	一四四二
全	七六號	二七二五〇	二五七〇	〇二七三	二三八六〇	一三三八	〇二六二	二二六六	三五〇六	〇四二	二二六五〇	一〇一〇〇	一三二
全	七七號	二六〇四一	二四三九	〇二四六	二四〇五〇	一五五三	〇一六七	一一六五八	五二七二	〇五六	二七六七四	一八五七	一四六三
全	七八號	二八六六二	一〇六四	〇二二二	二四一四〇	一八四九	〇一九九	九七四四	三七五八	〇四〇	一〇〇〇〇	一〇七八〇	一一〇〇
全	七九號	二四五六〇	一八四四	〇二八二	二三八三〇	一八八一	〇一八二	一三三四六	五七六一	〇五四八	三四七二〇	一五三〇	一四六八
全	八〇號	二四五六〇	一八四四	〇二八二	二三八三〇	一八八一	〇一八二	一三三四六	五七六一	〇五四八	三四七二〇	一五三〇	一四六八
全	八二號	二五〇八二	三三四四	〇三三八	二四〇二〇	一三六八	〇二四二	一六五三三	四九〇四	〇四〇三	三八〇九〇	一四七三〇	一五一八
全	八三號	一三三二六	二一九八	〇二二六	二二〇五〇	一九一四	〇二三五	八八三四	二六六六	〇三三	二二五〇〇	九七四七	一〇一五
全	八四號	二六四〇六	二四四三	〇二七六	二四二二〇	一五六六	〇一〇六	三三〇〇	五八三四	〇六五	三〇二四〇	一三二七〇	一三三
全	八七號	二五八七九	二八六九	〇二八二	二二一六〇	〇九七一	〇一〇〇	九三六八	三六八四	〇四三	一八六八〇	八〇〇四	〇九二〇
全	八八號	二五〇四九	二二五三	〇二七六	二五二〇五	一七一七	〇一六一	六二二〇	三六九〇	〇七九〇	三三六〇〇	一三六〇〇	一三〇〇
全	九一號	二五〇〇〇	二二四〇	〇三〇〇	二二六〇〇	一六二二	〇一〇七	三三六二	五六八四	〇五三	三三六〇〇	一一七〇〇	一一七〇
全	九二號	二九〇〇〇	二二六八	〇二四八	二二六九〇	一四七五	〇一六四	八一五〇	四七六四	〇五三	三三六〇〇	一一七〇〇	一一七〇
全	九三號	二六二六五	二二七六	〇二七七	二二二二〇	一三二二	〇一三五	一三二八	六二三四	〇六三	二七八七〇	二二四〇〇	一一二八
全	九四號	二六二六五	二二七六	〇二七七	二二二二〇	一三二二	〇一三五	一三二八	六二三四	〇六三	二七八七〇	二二四〇〇	一一二八

全	四五號	二五四九〇	二八五三	〇三二二	二五三三〇	一七九二	〇一三〇	一三二八六	四二三四	〇四六一	二六六七〇	一〇一六〇	一一一〇
全	四六號	二七〇八八	一八六八	〇二二六	二五四六〇	一三三六	〇一三五	二二二二	四九二二	〇四二	二四六三〇	八五六四	〇八二六
全	四七號	二四二二八	二〇八九	〇二二五	二四六九〇	一二二六	〇二三五	一三七七八	五七七八	〇六三八	二六〇〇〇	一一三五〇	一一七九
全	四八號	二六八九八	一八二二	〇二八四	二四七三〇	一六二八	〇一五〇	二二六六	五五四四	〇五四三	二四四二〇	一〇九九〇	一〇七七
全	五〇號	二五三七七	二二八八	〇二二二	二六三三〇	一〇二四	〇一〇五	一七九〇〇	六八四四	〇六七六	四〇二二七	一五八〇〇	一六四五
全	五二號	二八六七五	三二四九	〇三五一	二二六八〇	一九八四	〇一九六	一三六六六	九九九二	一〇二〇	—	—	—
全	五四號	二九六六三	三〇三三	〇三八二	二三八五〇	一三三三	〇一五〇	一四四五〇	六四〇六	〇七二六	二九七五〇	一五七二〇	一七五六
全	五五號	一三三五	二四一三	〇二六七	二二七八〇	一二二九	〇二二四	一三〇五六	五〇六六	〇五九六	二二六一〇	九七六一	一一四八
全	五六號	三〇一〇〇	二九一三	〇三七六	二二六八〇	一七九二	〇二二〇	一四四四四	六九二〇	〇八二四	三三三三〇	一五七九〇	一八三五
全	五七號	一〇一九	二八四五	〇二七九	二二一五〇	一四一四	〇一四五	一三八七四	六〇八八	〇六二七	二四〇五〇	一〇九二〇	一一九三
全	五八號	二五五六九	二二六九	〇二二五	二四四四〇	一二八六	〇二四二	一八七五六	六五四〇	〇七三	三五三七〇	一五一六〇	一六七五
全	六〇號	二六〇四七	三〇〇四	〇三三三	二三五九〇	一二二四	〇一三七	一〇七三〇	六五四〇	〇六七〇	二七七五〇	一五二二〇	一七〇〇
全	六一號	二八八八六	一九九五	〇二二二	二二三七〇	一四四五	〇一六一	一三〇〇〇	五八六八	〇七八	三二二九〇	一七二五〇	二〇五四
全	六二號	二四六四四	二一四四	〇二二七	二四三八〇	一三〇四	〇二二五	一四〇二〇	六五〇四	〇七七	二二七五〇	一五二二〇	一七〇〇
全	六三號	二九〇〇九	二〇五五	〇二二二	二四六七〇	一四六〇	〇一六二	一四四四四	六二八〇	一〇六三	二九五六〇	一四七九〇	一四四
全	六四號	二四九五九	二四九八	〇二五二	二四六七〇	一四六〇	〇一六二	一四四四四	六二八〇	一〇六三	二九五六〇	一四七九〇	一四四
全	六五號	二九〇四一	二二二八	〇二五二	二四六七〇	一四六〇	〇一六二	一四四四四	六二八〇	一〇六三	二九五六〇	一四七九〇	一四四
全	六六號	二四八三三	二四六九	〇二五二	二四六七〇	一四六〇	〇一六二	一四四四四	六二八〇	一〇六三	二九五六〇	一四七九〇	一四四
全	六七號	二七〇一八	一四三五	〇二二七	二四四二〇	一三二〇	〇一三七	五二七六	二七二〇	〇二六九	二四二三〇	一一七八〇	一一七五
全	六八號	二四〇七八	一五五八	〇一五四	二四六九〇	一六五三	〇一七二	九八二八	四二九二	〇四五六	三〇〇〇〇	一六二六〇	一六六三

調査不能

全 標準 二四、五六四 二、二八五 〇、二五八 二五、三〇〇 二、四〇〇 〇、二五〇 一八、一五六 五、三九八 〇、五六四 三六、九六〇 二、一九四〇 一、二四三

前表ノ成績ニ據リ一、二、三、五、九、一一、一四、一五、一七、二二、二三、二五、二六、三四、三五、四一、四六、四七、五四、七五、八〇、ノ二十區ヲ選抜シテ明年度ノ試験ニ供スル事トセリ

(二) 小麥關取

區別	出穂月日		草丈		莖		數		穗		重		備考
	平均價	標準	平均價	標準	平均價	標準	平均價	標準	平均價	標準	平均價	標準	
全 一八號	四、九〇七	一、一〇三	〇、一〇七	二、三六〇	一、六九八	〇、一七二	二、五、四三	七、一五〇	〇、七二〇	二、一〇六	八、三一九	〇、八五八	
全 一七號	四、八七九	〇、六六七	〇、〇六二	二、四六八	一、三三三	〇、一三六	二、五、九六〇	八、六七一	〇、八九四	二、一四八	八、五〇〇	〇、八七六	
全 一六號	四、九三六	〇、九一四	〇、〇九四	二、三〇三	一、九五二	〇、一三七	二、七、五七〇	六、七四五	〇、七八四	二、五、四四五	八、八八〇	一、〇三三	
全 一四號	五、四三〇	一、一七九	〇、一五七	二、三、六二〇	一、一八八	〇、一五二	三、五、三〇〇	二、三三〇	一、五八九	三、七、三三三	一、五七五	二、〇七七	
全 一二號	五、二四三	一、一五九	〇、一四六	二、三、九五〇	一、〇〇〇	〇、一〇六	二、五、三四一	八、九一〇	〇、九四五	二、七、六九	九、四六五	一、〇三四	
全 一一號	四、七八九	一、〇六四	〇、一〇四	二、四、六八〇	一、三九八	〇、一三六	二、六、七九〇	七、九二五	〇、七七七	二、六、〇七八	一、五五四	一、一四五	
全 一八號	四、三七三	〇、七五八	〇、〇七五	二、三、六三〇	一、三九一	〇、一三三	三、七、七八〇	七、五五五	〇、七二六	一、九、四〇〇	七、五九二	〇、七五九	
全 七號	四、四四二	〇、六五一	〇、〇七八	二、三、八一〇	一、三〇〇	〇、一六二	三、三、五六〇	一、〇七〇	一、二五八	三、五、〇〇〇	二、七三三	一、八四二	
全 五號	五、七二九	一、四五五	〇、一四八	二、八、三〇〇	一、五八	〇、一六九	二、五、二五〇	九、二六	一、〇三三	二、四、八七八	九、九〇九	一、〇九五	
全 三號	四、五六七	〇、九九〇	〇、一三七	二、三、二七〇	一、〇九二	〇、一四一	二、九、九三六	九、四四〇	一、一〇五	二、八、〇六五	八、五八二	一、〇八六	
全 二號	四、三三五	〇、八九七	〇、一〇〇	二、三、六〇〇	一、二八一	〇、一四三	三、〇、二五〇	一、一九〇〇	一、三三九	三、二、八二二	一、三三六	一、三九九	
全 一號	五、六七六	一、五三三	〇、一七六	二、三、〇八三	一、〇八三	〇、一三二	二、七、二三〇	九、八九三	一、一六三	三、三、〇九九	八、二六四	一、〇〇二	

全 二二三號	五、二〇八	一、一七二	〇、一四四	二、三、〇六〇	一、五九〇	〇、一六四	二、七、四五〇	七、五七〇	〇、七八〇	二、五、九五七	一〇、二八八	一、〇六一	
全 二二五號	四、五〇〇	〇、六〇一	一、〇七〇	二、三、五四三	一、三八二	〇、一六五	三、〇、二七〇	九、五五七	一、一四四	二、六、二八六	九、八八三	一、一八四	
全 二二八號	四、九〇六	〇、九一四	一、〇八一	二、五、二四〇	一、四七三	〇、一三六	三、〇、三五〇	一、三、一三〇	一、二二七	三、三、五〇九	一、六〇三	一、〇八四	
全 二二一號	四、六六八	〇、八五四	〇、一〇八	二、四、一九〇	一、三〇九	〇、一六三	二、九、六九〇	二、七四〇	一、五九〇	三、七、五七六	一、六六九七	一、九七五	
全 二二二號	四、〇八二	〇、三九九	〇、〇九九	二、四、一九〇	一、五二四	〇、一八九	二、八、四四〇	一、三〇〇	一、六八	三、一、二五〇	一、五、五七〇	一、九四六	
全 二二三號	五、五二六	一、五四三	〇、一九五	二、八、一一〇	二、二七一	〇、一〇九	二、四、七四一	六、七〇〇	〇、六四五	二、〇、七八四	七、六二九	〇、七五五	
全 二三四號	四、四二二	〇、六五三	〇、〇九四	二、六、八三〇	一、六九七	〇、一四九	一、八、四六五	七、四八五	〇、六五七	一、七、二二二	七、五四〇	〇、六五六	
全 二三五號	五、一七九	一、〇一九	〇、〇九六	二、七、一五〇	二、二四八	〇、一〇三	一、九、一七〇	六、九〇〇	〇、六三〇	二、〇、八〇六	九、五五四	〇、八五七	
全 二三六號	四、四二四	〇、七二〇	〇、〇九五	二、三、三〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	調査不能
全 二三七號	四、六四〇	〇、八八八	〇、〇八二	二、五、三二〇	二、〇二八	〇、一九五	二、五、二七〇	六、二八八	〇、五九八	二、一、八八七	七、五三六	〇、七三二	
全 二三九號	四、一三八	〇、五〇七	〇、〇二六	二、四、四七〇	一、三九四	〇、一八	二、九、四四一	九、二五五	〇、八五〇	一、八、一六七	八、三八四	〇、七六六	
全 四〇號	四、四〇〇	〇、八〇〇	〇、〇七三	二、七、二〇〇	二、二二八	〇、一三三	二、五、一六一	七、八九〇	〇、七四五	二、〇、九二六	九、六七四	〇、九四八	
全 四四號	四、八二四	〇、九六四	〇、〇九五	二、三、九一〇	二、二三四	〇、一三七	二、六、一四〇	八、五五六	〇、九一〇	一、六、七四四	五、九九六	〇、六四五	
全 四六號	五、三三三	一、五〇一	〇、一三三	二、四、〇八〇	一、七〇六	〇、一六七	二、八、〇八〇	七、六〇三	〇、七四五	三、二、八三〇	二、五四七	一、二一九	
全 五一號	四、五五一	〇、七三六	〇、〇〇八	二、三、七二〇	一、二七八	〇、一三〇	二、三、〇〇〇	八、一八〇	〇、七七九	二、六、六六七	七、〇〇五	〇、六九四	
全 五三號	五、三三三	一、一七二	〇、一〇〇	二、二、八八〇	一、一〇〇	〇、一〇二	二、四、八五〇	九、二五一	一、二七三	二、六、五七二	〇、四二二	一、二六二	
全 五五號	四、三九〇	〇、六八一	〇、〇八六	二、三、八八〇	一、三九九	〇、一八九	二、七、七八〇	一〇、六四〇	一、〇八五	二、一、〇六四	九、五〇六	〇、九八〇	
全 五六號	五、八四六	一、六五一	〇、一六一	二、四、九〇〇	一、八七五	〇、一三〇	二、五、二二〇	九、一〇五	一、一〇五	二、一、八七五	九、八二二	一、二三八	
全 五七號	四、五六二	一、〇二三	〇、一〇二	二、七、八二〇	一、八六七	〇、一三〇	二、五、二六五	九、二〇五	〇、六九九	二、二、八七五	九、四七八	〇、九七六	
全 五九號	四、九三三	〇、九一七	〇、〇九〇	二、七、一四〇	一、五二九	〇、一五七	一、九、四九九	六、一〇六	〇、六九九	二、六、八〇九	九、四七八	〇、九七六	

全	六一號	四、九五六	〇、七三九	〇、〇八一	二、四〇四	一、四二四	〇、二三八	二、四七〇	七、六七〇	〇、七四五	二、九三三	九、六二六	〇、八三三
全	六四號	五、〇〇〇	一、一三八	〇、一〇二	二、四〇八	一、三二二	〇、二三〇	二、九三三	七、五八一	〇、七五一	二、〇二〇	八、六〇一	〇、八六〇
全	六八號	四、九四七	一、三二九	〇、一五二	二、二五〇	一、一九	〇、四〇	三、三六〇	一、六八九	一、三七五	四、一六八	一、三九四	一、三五三
全	七〇號	四、九四六	一、二五	〇、一〇	二、四五一	一、五七六	〇、一五六	二、五、〇〇	八、九三八	〇、八七六	三、七六五	一、〇七八	一、三五三
全	七一號	四、六七六	一、二七九	〇、一四八	二、三六二	一、四八〇	〇、一七四	二、九七〇	九、七二二	一、一四二	二、八九九	一、〇七八	一、五九四
全	七二號	四、五〇九	〇、九二二	〇、〇八七	二、四二八	一、七四三	〇、一六三	二、五、六六〇	九、二〇一	〇、八六〇	二、八一〇	一、五、五四六	一、四四三
全	七五號	五、四一三	一、九二五	〇、一三三	二、三三九	一、八五	〇、二二三	二、九七二	一〇、九五〇	一、二八八	二、四、一六七	一、三、三九一	一、三五六
全	七七號	五、〇七七	一、三三三	〇、一四八	二、三三〇	一、四八九	〇、一八九	二、九七四	一〇、九二〇	一、三三三	三、五八五	一、三、〇四三	一、三三七
全	七九號	四、六五五	〇、九二七	〇、一〇二	二、二七九	一、三四六	〇、一七九	二、八五七	八、七五	一、六六六	三、〇、三五七	一、四、〇九七	一、八八〇
全	八五號	四、四〇五	〇、七九	〇、〇七七	二、五、一九〇	一、四五二	〇、一五六	二、六、六七〇	八、九二一	〇、九七三	一、八七八	一、四、八八八	〇、九八三
全	八七號	四、三〇八	〇、七一一	〇、〇八〇	二、三、一四〇	一、四一〇	〇、一五六	二、七、〇七〇	九、一七二	一、〇三三	二、〇、〇〇〇	八、〇六六	〇、九〇一
全	八九號	五、三五一	一、四三六	〇、一六七	二、三、一六〇	一、七四四	〇、二三三	二、九七〇	一〇、四三〇	一、二六四	二、一、七六	二、〇、八〇	一、四六〇
全	九二號	五、一四〇	一、三三五	〇、一〇二	二、三、三九	一、四九六	〇、二三〇	三、三、六一〇	一〇、五三〇	一、五四八	三、一、七四	一、三、一七七	一、九三八
全	九五號	四、八六八	〇、八五七	〇、一三二	二、三、八〇〇	一、四七〇	〇、一六四	三、五、九五一	一〇、六五五	一、一七五	三、一、〇〇〇	二、二、〇〇〇	一、三、三九
全	九〇號	四、四三三	〇、八五	〇、〇八九	二、三、四九〇	一、三三三	〇、一三三	二、九、四〇〇	九、八八二	〇、九八八	二、五、六六	一、三、〇、九四	一、二、九八
全	六一號	四、四四九	〇、八二〇	〇、〇八九	二、四、一八	一、六九六	〇、一八〇	三、〇、四九〇	八、二四六	〇、八七七	二、四、二八六	七、六〇一	〇、八四一
全	七三號	四、九四	〇、九八八	〇、〇九二	二、五、七四〇	一、三六七	〇、一三三	二、四、二〇〇	六、二六六	〇、五六二	二、二、六六七	五、七二	〇、五二
全	九三號	四、二二六	〇、四八五	〇、〇六一	二、三、〇九	一、八一九	〇、一三〇	三、一、九〇〇	一、三、〇〇〇	一、四四二	二、二、五、六三	一、一、三三	一、四〇三
全	九三號	四、三三六	〇、九四	〇、一三二	二、四、二〇〇	一、七七八	〇、二二九	三、〇、一〇三	一、一、九五	一、五四二	二、九、六五五	一、一、八六七	一、五六一
全	八〇號	四、五〇〇	〇、九四九	〇、〇九二	二、三、五八	一、六三四	〇、一六〇	二、三、四、六〇	八、九六三	〇、八七九	三、三、三八	一、〇、三二〇	一、〇一一

全	九〇號	四、八七	一、〇五	〇、一八	二、三、六〇	一、三五八	〇、一四〇	二、四、八三〇	六、五四五	〇、六七五	二、二、〇八三	七、三四九	〇、七五八
全	一五號	四、五三	〇、六二六	〇、〇六四	二、三、一九〇	二、三三〇	〇、一四二	二、九、九二九	九、七八五	一、〇二五	二、三、三六	九、六一六	一、〇、三四
全	三八號	四、八八	一、二一五	〇、一三七	二、三、一九〇	一、八三五	〇、一三九	二、五、五五九	一〇、〇一四	一、一五	二、二、二五〇	八、九二七	一、一、二六
全	標準	五、〇〇〇	一、三三〇	〇、一三七	二、三、六〇〇	一、五七〇	〇、一六九	二、六、二八〇	九、一五七	〇、九八三	二、〇、二四四	七、一五三	〇、七九〇

前表ノ成績ニ據リ其内ヨリ二、五、八、一一、一二、一六、一七、二八、三七、三九、五六、六〇、六一、六四、七一、七三、八〇、九〇、九一、ノ一九區ヲ選抜シ更ニ明年度ノ試験ニ供スル事トセリ

(三) 小麥スネキリ

小麥スネキリ	區別	出穂月日	草丈	莖數	穗重	備考							
全	二號	五月廿八日	平均價	平均價	平均價								
全	三號	四、七二八	〇、八〇二	〇、〇七四	二、五、四三〇	一、六三五	〇、一五四	二、三、七五〇	七、九二二	〇、七四七	二、〇、一八〇	八、三四〇	〇、七六六
全	四號	六、〇六七	一、七五一	〇、二二五	二、六、六四〇	一、六九五	〇、二二六	二、九、二八六	八、四三〇	一、二、四	三、三、五四〇	二、二、三〇	一、六四三
全	五號	六、三二七	二、〇七六	〇、二二二	二、九、三三〇	二、五五六	〇、四九九	二、三、六七〇	六、七九五	一、二、三五	二、〇、六七〇	九、九八三	一、八四四
全	一〇號	七、一八七	一、〇〇九	〇、一七一	二、六、七二〇	一、七五七	〇、二七〇	二、六、一〇〇	一〇、四五〇	一、〇六七	三、七、一五〇	二、九三〇	一、九八九
全	一五號	七、二〇〇	一、四三四	〇、二五〇	二、三、〇〇〇	二、八三六	〇、六三〇	三、五、四五〇	一三、〇四〇	二、七七四	三、四、〇〇〇	一、四、九七〇	三、三三六
全	二〇號	六、二一一	〇、八九三	〇、三九四	二、三、五六〇	一、二九八	〇、一六二	三、三、一一〇	七、〇四〇	〇、八八〇	二、五、九四〇	八、四六三	一、〇、五八
全	二一號	六、五二一	一、二二三	〇、一三四	二、七、七三〇	一、二八四	〇、一七三	四、〇、〇〇〇	一四、四五六	〇、九四八	三、六、三三〇	六、四三三	一、三、六六
全	二六號	八、一五〇	一、六三二	〇、二五七	二、三、四二二	一、三七五	〇、二三七	三、二、七六〇	九、八四四	一、六九七	三、四、七二〇	一、三、七八〇	二、三、七五

全	二七號	七、九一七	一四三三	〇、一四八	二四、一六〇	一、五三六	〇、二六九	二、九七〇	八、七九三	二、五六〇	二、五六九〇	六、〇三五	一、〇五九
全	二九號	六、三九九	一四九九	〇、一六四	二〇、〇〇〇	一、六〇〇	〇、二二五	二、八〇〇	一〇、二〇〇	一、四三七	二、九六〇〇	二、一九六〇	一、八二五
全	三一號	六、四三二	一、九五九	〇、二〇八	二二、九〇〇	一、〇九七	〇、二四〇	二、八〇〇	八、五八〇	一、〇八六	二、七五〇〇	九、〇一四	一、二二六
全	三二號	六、〇八三	一、六七〇	〇、一九六	二四、〇〇〇	一、三〇五	〇、一五九	二、三三三	六、八〇七	〇、八二五	二、三二四〇	一、一〇四〇	一、三三八
全	三六號	七、三三七	二、五六六	〇、二八三	二二、五〇〇	一、五三三	〇、二四三	三、〇〇〇	一〇、九五〇	一、七三八	一、七五〇〇	九、四二二	一、四九五
全	四四號	七、〇〇〇	一、五三七	〇、二二六	二五、八三〇	一、四〇四	〇、二〇三	三、〇八〇	二、一九〇〇	一、七三四	三、〇〇〇〇	一四、四四〇	二、〇九二
全	四五號	五、一九七	一、七一九	〇、一五八	二四、四三〇	二、二四〇	二、二四四	二、六一九〇	七、八五六	〇、八五八	二、五〇〇〇	九、三三二	一、〇二八
全	四七號	五、九八一	一、二四九	〇、二二二	二二、四四〇	一、五二七	〇、一五四	三、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、二九〇	二、二〇〇〇	七、八九三	一、〇一八
全	四八號	七、二五〇	一、六六四	〇、二四一	二五、九四〇	三、七六六	〇、六四九	三、四二〇	一〇、〇三〇	一、七二九	二、六四七〇	八、三五七	一、四四〇
全	五一號	六、〇五一	一、四四四	〇、一三三	二五、一一〇	一、九四三	〇、二三八	二、二三〇	六、八三五	〇、七八五	一、八六八〇	八、三三八	〇、九三〇
全	五九號	七、〇五一	一、二二〇	〇、二二八	二二、八九〇	一、五七三	〇、一八五	二、七七八〇	九、四七〇	一、二二四	二、七三〇	二、七八〇	一、一八六
全	六二號	七、〇三二	一、四四九	〇、一六四	二五、九二〇	一、二八七	〇、一八六	二、七五〇〇	一〇、二〇〇	一、四六四	二、九六六七	八、九七八	一、三〇一
全	六三號	七、七八一	一、五五五	〇、一八九	二二、九七〇	二、六八五	〇、三三六	三、八三〇	一、一〇九〇	一、七〇六	二、七六二〇	一、一〇九〇	一、七〇六
全	六八號	七、五〇〇	二、〇四八	〇、二四七	二五、七三〇	一、九五八	〇、四一七	三、〇〇〇	八、五三六	一、七四九	二、三六四〇	六、四三三	一、三六六
全	七四號	七、二〇九	一、四七三	〇、一五三	二四、二八〇	一、五四四	〇、二〇五	二、九六九〇	九、八七四	一、三二六	二、三六九〇	一〇、四八〇	一、三九九
全	標準	七、一八六	一、二七九	〇、一三七	二七、三二〇	二、〇五〇	〇、二八四	二、九二七〇	一四、五九〇	二、〇二六	二、五七〇〇	六、三二〇	〇、八八三

前表ノ成績ニ據リ二、三、四、一五、二一、二九、三一、三三、三六、四四、四五、四七、四八、五一、五九、六二、六三、六八、七四、ノ一九區ヲ選シ更ニ明年度ノ試験ニ供スル事トナセリ

一〇、燕麥品種試験

前年來ノ繼續ニシテ十品種ニ就キテ其性状、收量、品質等ノ優劣ヲ比較シ以テ良種ヲ選定セントスルモノニシテ肥料ハ反當堆肥百貫、強過燐酸石灰五貫ヲ元肥トシテ給スルノミニシテ十二月一日播種シ三月下旬迄ニ二回ノ中耕及ヒ踏壓ヲ行ヘリ其成績左ノ如シ

品 種 名	出穂期	成熟期	稈 長	反 當		收 量		一升重量
				大正七年	前年平均	最近三ヶ年	平均	
ネーケツドオード	六、三	七、一五	六、三〇	三、八二〇	八	一、八六一	二、八三一	二、〇八
クライデスデル	六、三	七、一五	六、二〇	三、二七五	九	三、四四四	三、四二七	二、〇六
オレゾ	六、三	七、一五	六、〇〇	三、〇七五	八	三、三四八	三、三二八	二、〇三
ダニツシアイランド	六、四	七、一五	六、六〇	四、二五〇	八	三、三六八	三、四六六	一、八四
カリホルニア	六、五	七、一六	六、五五	三、四五〇	九	三、六六四	三、六九五	二、四〇
ヴァージニアウキンター	六、四	七、一五	五、八〇	三、八〇〇	八	三、七三四	三、九八〇	一、八一〇
ゴールデン	六、四	七、一五	六、二〇	三、七〇〇	九	三、八七七	三、八五九	一、八六〇
ホワイトチャンピオン	六、五	七、一五	六、二〇	三、七五〇	九	三、六二〇	三、七六八	一、九一五
ビクトリヤプライス	六、三	七、一五	六、一五	四、〇五〇	九	三、八四四	四、〇〇〇	一、七九五
アメリカンビューティー	六、四	七、一五	六、三〇	四、四七〇	九	四、〇三二	四、二九〇	一、九五五

備考 ネーケツトオードハ裸ナリ

前表ニ據レハ「アメリカンビューティー」最モ優リ之ニ次クハ「ビクトリヤプライス」及「ゴールデン」ニシテオ

第六、依託試験

一、蘭草栽培試験

邑樂郡農會ニ依託セシ蘭草栽培試験成績左ノ如シ

一、位置、反別、擔當人

位置	反別	擔當人	位置	反別	擔當人
館林町	三〇	石川九五郎	赤羽村	三〇	渡邊利平
全町	三〇	館野駒吉	大島村	三〇	新井善太郎
全町	三〇	小林卯之松	山本榮四郎	三〇	山本榮四郎
赤羽村	三〇	恩田一郎	高島孝三郎	三〇	高島孝三郎
全村	三〇	篠原久一郎	瀬山安太郎	三〇	瀬山安太郎
全村	三〇	岩崎福次	瀬山次郎	三〇	瀬山次郎
六郷村	三〇	千江田	荒井	三〇	荒井
全村	三〇	全	新井	三〇	新井
全村	三〇	全	森田清吉	三〇	森田清吉

一、耕種方法 其ノ一

整地	植付	灌漑	排水	除草	刈取	染土	收量
石川九五郎 稻刈取後直ニ耕起 シ原肥ヲ施シ丁寧 ニ整地ス	十一月二十九日株 間五寸畦間五寸一 株五本ヲ植付	植付ヨリ彼岸迄行 フ	彼岸後五六日毎 行フ	彼岸後降雨ノ日ヲ 選ミ二回行フ	七月十五日	粘土ヲ細末ニシテ刈 取 草ヲ清水ニテ濕セル 草ヲ撒布シ染メ乾ス	二十貫
館野駒吉 全上	十月二十八日株間 五寸畦間五寸一株 五本ニ植付	全上	全上	全上	全上	全上	二十五貫
小林卯之松 全上	十二月一日株間五 寸畦間五寸一株七 本ニ植付	全上	全上	全上	七月十四日	全上	十貫
恩田一郎 全上	全上	全上	全上	全上	七月一日	全上	七貫
篠原久一郎 全上	十二月十五日株間 五寸畦間五寸一株 七八本ニ植付	全上	全上	全上	七月二十日	粘土ヲ水ニ溶シ其 中ニ蘭草ヲ浸漬シ 乾燥ス	三十貫

收量	染土	刈取	除草	排水	灌溉	植付	整地	
二十七貫	粘土ヲ水ニ溶解シ之ニ浸漬シ乾燥ス	七月十五日	五月二十七日、六月二十日ノ二回行フ	彼岸迄淺水トシ乾ス	植付當初ヨリ彼岸深水	十一月二十五日株間五寸畦間五寸一株三四本植付	十一月二十五日耕起シ原肥ヲ施シ整地ス	瀨山格次郎
二十三貫	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	瀨山安太郎
十二貫	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	瀨山丹次郎
十三貫	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	石川波吉
十三貫	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	瀨山清作

其ノ三

排水	灌溉	植付	整地		木過人大堆	肥料	販賣先
春彼岸迄淺水トシ乾燥ツトム	植付當初ヨリ彼岸迄深水トナス	十二月十日株間五寸畦間五寸一株三四本植付	十二月二十日人耕ニテ土壤ヲ粉碎シ整地ス	高島孝三郎	豆粕地	元肥 第一回補肥 第二回補肥 第三回補肥	土地ニ販賣ス
全上	全上	十一月二十七日株間五寸畦間五寸一株三四本植付	十一月二十五日耕起シ原肥ヲ施シ整地ス	荒井彪	灰酸尿	元肥 第一回補肥 第二回補肥 第三回補肥	全上
全上	全上	十一月二十三日株間五寸畦間五寸一株三四本植付	十一月二十日耕起シ原肥ヲ施シ整地ス	新井金二	磷	元肥 第一回補肥 第二回補肥 第三回補肥	全上
全上	全上	十一月二十三日株間五寸畦間五寸一株三四本植付	十一月二十日耕起シ原肥ヲ施シ整地ス	森田清吉	磷	元肥 第一回補肥 第二回補肥 第三回補肥	全上
全上	全上	十一月二十三日株間五寸畦間五寸一株三四本植付	十一月二十一日耕起シ原肥ヲ施シ整地ス	岩崎福次	磷	元肥 第一回補肥 第二回補肥 第三回補肥	全上

其ノ四

除草	刈取	染土	收量	主賣先	加工賣	肥料	堆肥	大豆	人糞	過人	木燐灰
六月二十五日一回	七月十一日	粘土ヲ粉末トシ撒	十二貫	朽木縣下都賀郡	十二貫	元肥 第一回補肥 第二回補肥 第三回補肥	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000
五月二十五日、六月二十日ノ二回行	七月五日	全上	二十八貫	土地ニ販賣ス	二十八貫	元肥 第一回補肥 第二回補肥 第三回補肥	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000
全上	七月四日	全上	三十二貫	全上	三十二貫	元肥 第一回補肥 第二回補肥 第三回補肥	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000
全上	全上	全上	三十貫	—	三十貫	元肥 第一回補肥 第二回補肥 第三回補肥	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000
五月二十七日、六月二十日ノ二回行	七月十三日	全上	十三貫	—	十三貫	元肥 第一回補肥 第二回補肥 第三回補肥	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000	1000 1000 1000

蘭草栽培跡作成績

擔當人	面積	整地	植付	肥料	收穫期	收穫量	品質	植付後	植付迄ノ	處理法
石川九五郎	三十坪	普通整地	六月十五日	反當十三圓	十月十日	反當二石	良	三回	苗代ヨリ直ニ植付	接ス
館野駒吉	三十坪	普通整地	七月十八日	無肥料	十月廿五日	反當一石六斗	否	一回	六月十五日苗ヲ密植ニ假植トシテ取后直ニ植付	密植ニ假植トシテ取后直ニ植付
鹽田爲藏	十五坪	普通整地	六月十日	反當十圓	十一月十日	反當二石	良	二回	—	—
鹽田吉郎次	三十坪	普通整地	七月十日	無肥料	十一月十日	反當一石二斗	稍不良	二回	—	—

二、杞柳栽培試験

農業ヲ經營セントスルモノハ土地ヲ有利ニ利用シ、勞力ヲ適當ニ分配シ、少費多收ニシテ且資本ノ回收早キ經營法ヲナサ、ルヘカラス、此杞柳栽培ハ荒廢地ヲ有利ニ利用シ、冬期農閑ノ際ヲ利用シテ作業ヲナシ且少資ニシテ資本ノ回收早キヲ以テ農家ニ最モ適當ナル副業ナリト認ム

斯ル副業ハ水害ノ爲メ荒廢セル土地及ヒ未開墾地等ノ少カラサル地方ニ於テハ最モ適當ト認メ、大正六年本場ニテハ一反歩植付苗木九千本ヲ岐阜縣本巢郡生津村ヨリ購入シ、開墾地利用ノ爲メ吾妻郡原町ニ三畝歩、水害地利用ノ爲メ邑樂郡海老瀬村ニ七畝歩ノ委託試驗地ヲ設置シ、荒廢地利用ノ有利ナルヲ實地ニ示シ又一方試驗地ヨリ收穫ノ杞柳ハ希望者ニ配布ヲナシ、益々栽培反別ヲ擴張シ、近キ將來ニ於テ本縣ノ一產物トナスヘキ方針ニテ委託試驗ヲ行ヘリ、

三、水稻純系淘汰試驗

利根、吾妻郡ノ如キ山間地方ニ於テハ氣温低ク、稻ノ生育期間短キ故普通平坦地方ニ栽培スル水稻ヲ栽培スルトキハ十分ニ登熟セサル虞レアルモノナリ、從テ當場ノ如キ平坦部ノ試驗地ニテ山間地方ニ適スル良品種ヲ選擇スルハ困難ナルヲ以テ、特ニ利根郡立農事講習所ニ委託シ、水稻純系淘汰試驗ヲ行ヒ、山間地方ニ適スル良品種ヲ選擇セントス、其ノ耕種梗概ハ大略本場ニ準セリ、其ノ成績左ノ如シ

一、播種期 五月上旬

一、插秧期 六月中旬

(一) 純系淘汰第二年
一、早生愛國

區別	出穂月日		總平均價		草		莖		穗	
	平均價	標準差	平均價	標準差	平均價	標準差	平均價	標準差	平均價	標準差
二九號	八、七	四、九三〇	一〇、七四	〇、七五七	三、八六七	一、〇三四	九、二二九	一、七五二	〇、一三二	六、〇七五
二三號	八、一〇	五、〇〇〇	〇、六二〇	〇、六二七	三、九〇三	一、二九六	九、五九四	二、七三三	〇、一六五	七、三二〇
二二號	八、七	五、〇一〇	〇、七二五	〇、七二五	三、八七二	一、二七七	八、七九八	二、二一五	〇、一六三	六、七〇五
二一號	八、七	五、〇〇〇	〇、八九〇	〇、八九〇	三、九一七	一、三三四	九、五三五	二、五二六	〇、一八九	八、四八〇
二〇號	八、九	五、三九五〇	一、〇一六	一、〇一六	三、九六二	〇、九六七	九、六九六	二、二二八	〇、一八一	八、〇一五
一八號	八、七	四、七五〇	一、〇五二	一、〇五二	三、九三二	一、三七〇	八、七六八	二、二七八	〇、一九四	八、五三七
一六號	八、八	四、七三〇	〇、五〇六	〇、五〇六	三、八八八	一、一四二	九、二二八	一、六八三	〇、二一八	五、三三〇
一五號	八、七	四、六九五〇	〇、六三三	〇、六三三	三、八四四	一、〇〇一	九、〇〇〇	一、九二四	〇、一三五	七、五七〇
一四號	八、七	四、七六七四	一、〇三三	一、〇三三	三、九三三	一、四六〇	九、三三七	二、三二六	〇、一八三	七、七三三
一二號	八、八	三、三三四〇	一、一九二	一、一九二	三、八八六	一、〇九五	九、一四三	二、二七二	〇、一五七	八、二五五
一一號	八、六	四、九五〇	〇、六五二	〇、六五二	三、八三〇	一、一九四	八、八六一	一、八八三	〇、二二八	七、五六〇
九號	八、七	四、六四五二	一、二二八	一、二二八	三、九〇五	一、二二八	九、〇七九	一、二六六	〇、一三三	一〇、一八〇
七號	八、七	五、〇四〇	〇、七三三	〇、七三三	三、八七五	〇、九八五	八、九七〇	一、七三四	〇、二二八	六、〇一五
三號	八、七	四、七二〇〇	〇、六二〇	〇、六二〇	三、九九〇	一、四二二	一〇、二八四	一、七五二	〇、二一九	七、七二二
二號	八、五	四、九〇三〇	〇、七四	〇、七四	三、八四一	一、二五九	八、六五九	一、九一五	〇、一四七	六、六六八

區別	出穂	平均價	標準	誤差	平均價	標準	誤差	平均價	標準	誤差	平均價	標準	誤差
二〇號	八二	三九,一六〇	一一,二〇六	〇,八六四	三,一〇一	一,七七六	〇,一三七	七,七三四	一,八六三	〇,一三六	一九,七〇〇	七,二九五	〇,五六一
三三號	八四	三八,九六〇	一〇,二七一	〇,六九五	三,八二八	一,四八七	〇,一〇二	七,七二四	一,八六六	〇,一三六	二二,二八五	八,二八五	〇,五七一
六六號	八六	三三,一四〇	七,五四〇	〇,五二七	四,一五二	一,三八五	〇,〇九七	一〇,二〇五	四,四五〇	〇,三一一	一四,八八五	四,七一九	〇,三三〇
七七號	八五	四九,八五〇	二,七三九	一,二二七	三,八九二	一,一五四	〇,一〇一	九,〇一五	二,一七一	〇,一〇九	三,七三五	八,四〇〇	〇,七四三
八八號	八四	三三,二八〇	七,九八二	〇,五五三	三,三二五	一,五三一	〇,一〇七	一〇,五五九	二,三三〇	〇,一六一	一七,一〇五	五,九五〇	〇,四二六
九九號	八三	三七,八三〇	一一,一〇三	〇,七四九	三,二〇八	一,二六六	〇,〇八五	一〇,二二七	二,〇五八	〇,一三七	一三,九五五	五,三三三	〇,三九九
一一〇號	八三	三三,七〇〇	七,三六三	〇,五五五	三,一六九	一,三九六	〇,〇九八	一〇,〇〇〇	一,七二〇	〇,一三三	一二,八九〇	六,〇七五	〇,四二五
一一一號	八三	三三,〇三〇	八,四五二	〇,五三八	三,一七四	一,四四八	〇,一〇〇	一〇,〇〇〇	二,二六二	〇,一四八	一八,三五五	七,〇八五	〇,四八七
一一二號	八六	三三,八一〇	九,五六〇	〇,六二八	三,一九三	一,二五四	〇,〇五八	九,七三四	一,八二二	〇,一四九	一四,九六〇	六,二六〇	〇,三九九
一一七號	八四	三六,〇三三	八,九四四	〇,五七四	三,一八三	一,七六九	〇,一〇四	一〇,五九六	二,八七一	〇,一八四	一四,九六〇	六,二六〇	〇,四〇二
一一八號	八五	四一,〇一〇	九,二八三	〇,六二九	三,二八三	一,二三三	〇,〇八三	一〇,四〇九	二,二二五	〇,一五〇	二二,一五五	六,四七五	〇,四三八
一一九號	八五	三九,六八〇	一〇,四一五	〇,七五五	三,三五四	一,九一〇	〇,一四五	六,八九九	一,八八一	〇,一三九	二四,〇五五	六,三二〇	〇,四三七
一二〇號	八四	三六,七〇〇	二,九二七	〇,九〇〇	三,七一九	二,四四一	〇,一七一	六,八九四	二,〇四六	〇,一三九	二二,一九五	八,二二五	〇,五七二
一二一號	八四	四一,〇〇〇	一〇,〇〇〇	〇,八四七	三,八五四	二,二九五	〇,一九八	六,四九九	一,四八九	〇,一五六	二六,〇一五	五,四四七	〇,四六六
一二二號	八五	三八,一〇〇	八,八〇二	〇,六〇四	三,三三〇	一,五九九	〇,一〇八	九,五七五	一,九六七	〇,一三五	一九,八九六	五,六四〇	〇,三八六
一二三號	八三	三五,六〇〇	六,七三三	〇,四二〇	三,五五九	一,七七七	〇,一〇七	七,二一七	一,八九二	〇,一三七	一九,六三〇	五,三九五	〇,三七〇
一二四號	八五	三五,五〇〇	七,七四三	〇,四九七	三,三三一	一,四四九	〇,〇九三	九,六九四	一,九五九	〇,一四一	一五,五九八	五,三九五	〇,四〇〇
一二五號	八三	三〇,八三〇	七,八九九	〇,五三五	四,一三二	一,六七七	〇,一〇〇	九,五〇五	二,〇七九	〇,一四二	一三,〇六五	三,一八七	〇,四三二
一二六號	八四	三二,七六〇	六,九一〇	〇,四七九	三,〇九九	一,四六二	〇,一〇一	二,七二四	二,二七二	〇,一六〇	一三,三五五	四,六三六	〇,三二二
一二七號	八三	三〇,八三〇	七,八九九	〇,五三五	四,一三二	一,六七七	〇,一〇〇	九,五〇五	二,〇七九	〇,一四二	一三,〇六五	三,一八七	〇,四三二
一二八號	八四	三二,七六〇	六,九一〇	〇,四七九	三,〇九九	一,四六二	〇,一〇一	二,七二四	二,二七二	〇,一六〇	一三,三五五	四,六三六	〇,三二二
一二九號	八三	三〇,八三〇	七,八九九	〇,五三五	四,一三二	一,六七七	〇,一〇〇	九,五〇五	二,〇七九	〇,一四二	一三,〇六五	三,一八七	〇,四三二
一三〇號	八二	三九,一六〇	一一,二〇六	〇,八六四	三,一〇一	一,七七六	〇,一三七	七,七三四	一,八六三	〇,一三六	一九,七〇〇	七,二九五	〇,五六一

區別	出穂	平均價	標準	誤差	平均價	標準	誤差	平均價	標準	誤差	平均價	標準	誤差
三〇號	八五	四八,四六〇	八,二五四	〇,六一四	三,八七三	一,一五〇	〇,〇八五	九,二八六	一,六六五	〇,一三三	二六,八九五	六,〇八九	〇,四五五
三一號	八六	四八,一三〇	二,七三五	〇,九二八	三,八三九	一,二五七	〇,一〇二	九,三二二	二,〇八三	〇,一六七	二六,七三三	八,二五一	〇,六六〇
三二號	八二	四七,二一〇	八,二二五	〇,七三五	三,一九七	一,〇〇七	〇,〇九	一〇,七二〇	二,一六〇	〇,一三三	二三,八八一	五,三九五	〇,四八〇
三三號	八四	四〇,七三〇	八,四五四	〇,六九〇	三,二三四	一,二一〇	〇,〇九一	一〇,八五一	二,二五八	〇,一六六	三〇,二九〇	五,六九〇	〇,四五三
三四號	八七	三九,三五一	二,六四七	〇,九三九	三,八九九	一,五三三	〇,一三五	九,八二二	二,二二二	〇,一九七	三〇,五二〇	八,三五七	〇,六七四
三五號	八七	四九,三六〇	一〇,四二五	〇,八三四	三,八八三	一,一八二	〇,〇九五	九,五七〇	一,九二五	〇,一五三	二八,八二二	七,四三五	〇,五八九
三六號	八八	五〇,六三〇	二,一九五	〇,九〇三	三,九〇七	〇,九九一	〇,〇七七	九,四六八	一,三三九	〇,一〇五	二九,八六五	六,六二五	〇,五四八
三七號	八八	五〇,〇〇〇	二,一八〇	〇,九六九	三,九一四	一,一八六	〇,〇九一	九,四三六	二,〇七四	〇,一五九	二九,七六〇	六,六二五	〇,五四八
三八號	八八	五三,七三〇	二,一八〇	一,三〇〇	三,九四四	一,一四九	〇,〇八九	九,五九九	二,三三三	〇,二七八	二八,八九五	九,七七五	〇,七八八
三九號	八八	五三,三三〇	一,三四三	一,〇〇〇	三,九二七	一,〇四四	〇,〇七七	九,一七四	一,九八一	〇,一四一	二八,八五〇	七,一八五	〇,五三七
四〇號	八八	五三,三三〇	一,三四三	一,〇〇〇	三,九二七	一,〇四四	〇,〇七七	九,一七四	一,九八一	〇,一四一	二八,八五〇	七,一八五	〇,五三七
四一號	八八	五三,三三〇	一,三四三	一,〇〇〇	三,九二七	一,〇四四	〇,〇七七	九,一七四	一,九八一	〇,一四一	二八,八五〇	七,一八五	〇,五三七
四二號	八八	五三,三三〇	一,三四三	一,〇〇〇	三,九二七	一,〇四四	〇,〇七七	九,一七四	一,九八一	〇,一四一	二八,八五〇	七,一八五	〇,五三七
四三號	八八	五三,三三〇	一,三四三	一,〇〇〇	三,九二七	一,〇四四	〇,〇七七	九,一七四	一,九八一	〇,一四一	二八,八五〇	七,一八五	〇,五三七
四四號	八八	五三,三三〇	一,三四三	一,〇〇〇	三,九二七	一,〇四四	〇,〇七七	九,一七四	一,九八一	〇,一四一	二八,八五〇	七,一八五	〇,五三七
四五號	八八	五三,三三〇	一,三四三	一,〇〇〇	三,九二七	一,〇四四	〇,〇七七	九,一七四	一,九八一	〇,一四一	二八,八五〇	七,一八五	〇,五三七
四六號	八八	五三,三三〇	一,三四三	一,〇〇〇	三,九二七	一,〇四四	〇,〇七七	九,一七四	一,九八一	〇,一四一	二八,八五〇	七,一八五	〇,五三七
四七號	八八	五三,三三〇	一,三四三	一,〇〇〇	三,九二七	一,〇四四	〇,〇七七	九,一七四	一,九八一	〇,一四一	二八,八五〇	七,一八五	〇,五三七
四八號	八八	五三,三三〇	一,三四三	一,〇〇〇	三,九二七	一,〇四四	〇,〇七七	九,一七四	一,九八一	〇,一四一	二八,八五〇	七,一八五	〇,五三七
四九號	八八	五三,三三〇	一,三四三	一,〇〇〇	三,九二七	一,〇四四	〇,〇七七	九,一七四	一,九八一	〇,一四一	二八,八五〇	七,一八五	〇,五三七
五〇號	八八	五三,三三〇	一,三四三	一,〇〇〇	三,九二七	一,〇四四	〇,〇七七	九,一七四	一,九八一	〇,一四一	二八,八五〇	七,一八五	〇,五三七

前表ニヨリ比較の固定種ト認メウヘキ一號、一四號、一五號、一二號、二九號、三〇號、三四號、三七號
 三九號、四五號、四七號、十一系統ヲ選抜セリ

二、苗代 稻

四四號	八六	三六一三〇	七四五〇	〇、五〇九	三、二七四	一、二二八	〇、〇八三	一〇、〇五三	一、八五八	〇、二二八	一七六一〇	四七三三	〇、三三三
四五號	八五	三八六三〇	一〇、一〇一	〇、七〇六	三、一八五	一、四三三	〇、一〇〇	九、九〇三	二、二六二	〇、二二五	二〇、〇〇〇	五、八五八	〇、四一〇
四六號	八五	三八六五〇	八、四三二	〇、六九三	三、三三三	一、五九二	〇、一三五	一〇、二二六	二、三八〇	〇、一九六	九、四六五	四、六七七	〇、三八二
四七號	八四	四一〇三〇	八、一五七	〇、七〇〇	四、二二六	一、三五二	〇、一六六	一一、五〇〇	二、〇四八	〇、一七六	二、一〇〇	五、六六〇	〇、四八六
四八號	八四	三七九七〇	七、八一五	〇、六六五	三、三四四	一、三三二	〇、一三二	九、三三八	二、二七一	〇、一九三	二、二四五	五、四九三	〇、四六七
四九號	八四	四二一七〇	一〇、三四四	〇、八八〇	三、三〇四	一、三三三	〇、一〇五	九、五九四	二、二六〇	〇、一九二	二、四七五	五、七四五	〇、四八九
五〇號	八五	四二〇〇〇	八、二二〇	〇、六九四	三、六四二	一、三五二	〇、一三三	九、六六八	一、七九二	〇、一五二	二、三八五	五、九二〇	〇、四九七
五一號	八三	三九八七〇	八、八七〇	〇、七三三	三、三九九	一、七〇七	〇、一三九	八、六三三	一、五五三	〇、一四五	二、三〇五	六、二二〇	〇、五〇七
五三號	八七	四二、四三〇	一〇、二五五	〇、八六四	三、二九四	一、四〇三	〇、一八八	一〇、三三四	二、一九四	〇、一八五	二、六四五	八、一四〇	〇、六八六
標準	八三												

前表ニ據リ比較の固定種ト認ムヘキ七號、九號、二一號、二二號、二四號、二六號、三五號、四八號、五〇號、四九號ノ十一系統ヲ選抜セリ

第七、桑 樹

一、春秋兩用種類試驗
 本試驗ハ春秋兩蠶期兼用桑樹ヲ仕立ツルニ如何ナル品種カ最モ適當ナルヤヲ知ラントスル目的ヲ以テ行ヒタルモノニシテ明治四十五年ノ各地生産ノ桑樹二十二種ヲ栽植シ大正三年ヨリ試驗ニ着手セリ、本年及五ヶ年平均ノ成績ヲ示セハ左ノ如シ

(一) 春蠶期成績

品 種 名	早 晚	發 芽 期	開 葉 期	總 量	新 植 付 葉 量	葉 量	古 條 量
露 國 野 桑	中	四、一八	四、二〇	六、五、六〇〇	三〇八、四一六	一、五二、九〇一	三〇七、一八四
清 國 野 桑	中	四、一八	四、二〇	四、五、九〇〇	一七五、七九七	九一、四一四	二六、六三〇
甘 樂 桑	中	四、一九	四、二二	四、〇、二〇〇	二二、一六一	一八二、四五八	二〇七、九五九
荆 桑	中	四、一九	四、二二	四、九、八四〇	一九三、四二八	一三五、四〇〇	二二六、四二二
伊 達 赤	中	四、二〇	四、二五	三、五、一〇八〇	一八二、三七七	一四五、九六二	一六五、四七八
榮 沼 治 木	早	四、二〇	四、二三	三、七、一、五二〇	一七九、四四四	一三六、一七二	一九二、三三八
長 葉 沼	中	四、二二	四、二三	四、六、二、四〇〇	二〇四、三三〇	一六七、五三四	二四二、六七六
讓 東 葉	晚	四、二三	四、二四	三、八、七、七〇〇	一七六、八四八	一六二、八七六	一八九、二〇七
坂 助 東	晚	四、二三	四、二五	三、九、七、四〇〇	一七六、八四八	一五二、〇二二	二二〇、六四三
高 助 東	晚	四、二二	四、二三	三、〇、八、八八〇	一四五、一七四	二〇、四九四	一五六、九一一
丸 葉 和	晚	四、二四	四、二六	三、二、一、〇一〇	一三六、三五五	一、六、一九三	一五、一〇〇
大 葉 和	早	四、二三	四、二五	二、六、一、五二〇	一六八、五三八	一四三、二五七	九三、九八二
奧 州 大	晚	四、二〇	四、二三	四、六、三、三〇〇	二三八、六三三	二二一、七七三	二〇五、〇七〇
柳 田 切	中	四、二〇	四、二三	四、五、六、八四〇	一九二、七八六	一四四、五九〇	二六一、三二二
大 切 達	中	四、二〇	四、二三	四、四、六、七〇〇	二〇五、四九二	一五二、〇六三	二二三、三三〇
布 切 達	晚	四、二三	四、二五	三、四、八、〇〇〇	一五八、〇三六	二六、九三九	一七〇、七四八
落 井 中	中	四、二五	四、二八	三、五、一、六〇〇	一九二、四七三	一七三、二三五	一五八、九二二

金 芭 蕉 中 四、二 四、三 三三、四八〇 二四、三二 九四、四五七 九四、五五四

本年春蠶期ニ於ケル成績ハ總量ニ於テ最モ多キハ露國野桑ニシテ長沼、清國野桑、柳田等之ニ順次シ金芭蕉最モ少ナク葉量ニ於テモ露國野桑首位ヲ占メ奥州大葉、甘樂桑、長沼之ニ次キ金芭蕉最モ下位ニアリ

(二) 春蠶期收穫五ヶ年平均

品 種 名	總 量				葉 量			
	前四ヶ年平均	大正七年	平 均	前四ヶ年平均	大正七年	平 均	前四ヶ年平均	大正七年
露國野桑	五〇二、二〇〇	六二五、六〇〇	五二四、八八〇	一七七、〇一七	二五二、九〇一	一九二、一九四	一九二、一九四	一九二、一九四
清國野桑	三九〇、四二〇	四九〇、〇〇〇	四〇四、一三六	九五、八五五	九一、四四四	九四、九六七	九四、九六七	九四、九六七
甘 樂 桑	三七四、四九〇	四二〇、二〇〇	三八三、六二六	一五二、〇三六	一八二、四九八	一五八、一二二	一五八、一二二	一五八、一二二
荆 桑	四六三、八五五	四二九、八四〇	四五七、〇五二	一四八、八七一	一三五、四〇〇	一四六、一七七	一四六、一七七	一四六、一七七
伊 達 赤 木	三八二、八七〇	三五、〇八〇	三七六、七二六	一四六、五六六	一四九、九六二	一四六、四六一	一四六、四六一	一四六、四六一
榮 沼 治	四七〇、八八〇	三七、五〇〇	四五一、〇〇八	一六六、七五七	一三八、一七一	一六一、〇四〇	一六一、〇四〇	一六一、〇四〇
長 沼	四三九、八三〇	四六二、二四〇	四四四、三二二	一九三、五一一	一六七、五三四	一八八、三六	一八八、三六	一八八、三六
讓 東 葉	三六四、七七〇	三七七、七二〇	三六九、三六〇	一二三、七五五	一六二、八七六	一三三、一七九	一三三、一七九	一三三、一七九
坂 助	四五六、四四〇	三九七、四四〇	三五六、六二六	一三四、〇四九	一五二、〇一一	一三七、六四三	一三七、六四三	一三七、六四三
高 東	四二五、一四〇	三八、八八〇	四〇一、八八八	一六一、一三〇	一一〇、四九四	一五三、〇〇三	一五三、〇〇三	一五三、〇〇三
丸 助	三八三、四〇〇	三二、〇一〇	三五、一二四	一二七、五六五	一一六、一九三	一二五、二九一	一二五、二九一	一二五、二九一
大 和 葉	三九、四〇〇	二六、五〇〇	三六、〇四四	一三七、二八八	一四三、二五七	一三六、四八二	一三六、四八二	一三六、四八二

五ヶ年平均ニ據レハ總量ノ最モ多キハ大達ニシテ、露國野桑、柳田、荆桑、榮沼之ニ順次シ葉量ニアリテモ露國野桑最モ多ク長沼、金芭蕉、奥州大葉、榮沼等之ニ次キ大和最モ少シ

(三) 秋蠶期收穫五ヶ年平均成績

品 種 名	總 量			葉 量		
	前四ヶ年平均	大正七年	平 均	前四ヶ年平均	大正七年	平 均
奥州大葉	四一九、〇四〇	四三六、三〇〇	四三二、四九六	一六四、二七八	二二二、七七三	一七五、七七七
大 達	五九八、四六〇	四四六、七二〇	五六八、一一三	一四五、〇六八	一四四、五九〇	一四四、九七二
柳 田	四七一、九六〇	四五六、八四〇	四六八、九三六	一六一、〇九三	一五二、〇六三	一五八、四八七
布 切	二五八、六六〇	三三四、八〇〇	二七三、八八八	一三四、九七八	一一六、九三九	一三二、三七〇
落 井	三三七、三二〇	三五三、一六〇	三三八、四〇八	一四六、二六〇	一七三、二二五	一六一、六五三
金 芭 蕉	四六七、一〇〇	二二三、四八〇	四八、一七六	一九八、八三二	九九、四五七	一七八、九五七
露國野桑	二〇七、七二〇	二六二、六五六	二六二、六五六	一一一、二四〇	一一一、二四〇	一一一、二四〇
清國野桑	一三五、五八五	二〇六、〇〇〇	二〇六、〇〇〇	一四九、〇四〇	一四九、〇四〇	一四九、〇四〇
甘 樂 桑	一八四、八六〇	一三六、〇八〇	一三六、〇八〇	一三六、〇八〇	一三六、〇八〇	一三六、〇八〇
荆 桑	一七六、一七五	一九九、〇八〇	一九九、〇八〇	一九九、〇八〇	一九九、〇八〇	一九九、〇八〇
伊 達 赤 木	八三、九〇〇	二九、六〇〇	二九、六〇〇	二九、六〇〇	二九、六〇〇	二九、六〇〇
榮 沼 治	一五九、六二五	一三五、二八〇	一三五、二八〇	一三五、二八〇	一三五、二八〇	一三五、二八〇
長 沼	一三六、六六五	一一六、六四〇	一一六、六四〇	一一六、六四〇	一一六、六四〇	一一六、六四〇
讓 東 葉	九八、二三五	一一六、六四〇	一一六、六四〇	一一六、六四〇	一一六、六四〇	一一六、六四〇

品 種 名	五ヶ年平均春秋期兩蠶期收葉量成績		
	春 蠶 期 收 葉 量	秋 蠶 期 收 葉 量	
東助	八、三五	一九二、二四〇	一九九、一六
大丸	九五、三〇	三三、二八〇	一二三、九〇四
奧州	二七、三七五	一一、三三〇	一六、三六四
大葉	九六、四八〇	一六、〇〇〇	一〇九、五八四
達葉	一一、五四七	一四九、〇四〇	二七、〇四六
柳田	一一六、六四〇	二〇三、〇四〇	一三三、九二〇
布切	一〇五、三四五	一一五、五六〇	一〇七、三八八
落井	七、六四〇	一五一、二〇〇	八七、五五二
芭蕉	一一八、三九五	一三九、三〇〇	一一、五八〇
金	一一五、九二八	二六七、八四〇	一五四、三二〇
計			四二〇、九〇一

秋蠶期ニ於ケル收葉量ハ本年ニアリテハ金芭蕉最モ多クシテ露國野桑、高助、甘樂桑、大達等之ニ次キ清國野桑最モ少ク五ヶ年平均成績ニアリテハ露國野桑首位ニシテ甘樂桑、荆桑、金芭蕉之ニ順次シ布切最下位ニアリ

(四) 自大正三年至大正七年五ヶ年平均春秋期兩蠶期收葉量成績

品 種 名	五ヶ年平均春秋期兩蠶期收葉量成績		
	春 蠶 期 收 葉 量	秋 蠶 期 收 葉 量	
東助	一四六、一七七	一七〇、七四八	三二六、九二五
大丸	一四六、四六一	九四、三六	二四〇、七九七
奧州	一六一、〇四〇	一五三、六二	三二四、六五二
大葉	一八八、三三六	一三四、三八八	三三二、七四
達葉	一三三、一七九	一〇一、八六八	二三五、〇四七
和葉	一三七、六四三	一〇九、一六	二四六、七五九
柳田	一五三、〇〇三	一三三、九〇四	二七五、九〇七
布切	一二五、二九一	一一六、三六四	二四一、六五五
落井	一三六、四八二	一〇九、五八四	二四八、〇六六
芭蕉	一七五、七七七	二七、〇四六	三〇二、八三
金	一四四、四八七	一三三、九〇〇	二七八、四〇七
計	一五八、四八七	一〇七、三八八	二六五、八七五
	一三三、三七〇	八七、五五二	二二八、九三二
	一六一、六五三	一一三、五八〇	二八四、二三三
	一七八、九五七	一五四、三〇〇	三三三、二六七

試驗着手以來五ヶ年ニ於ケル春秋兩蠶期ノ收葉量ノ合計成績ヲ見ルニ露國野桑優位ヲ占メ甘樂桑、金芭蕉、長沼、荆桑、榮治、奥州大葉之ニ順次シ布切最モ劣レリ

第八、氣象 觀 測

農作物ト氣候トノ關係調査ノ資ニ供センカ爲メ本場試驗田地ノ中央部ニ觀測所ヲ設ケ毎日午前八時午後二時
 全八時ノ三回ニ觀測ヲ行ヘリ大正七年中ノ氣象概要左ノ如シ

大正七年中ノ氣象概要左ノ如シ 其ノ一

月次	一 月			二 月			三 月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
溫度	二、二	三、一	一、七	三、一	五、四	五、七	四、七	四、八	八、二
最高	五、九	五、七	七、九	七、九	一七、五	一七、六	一七、五	一四、五	一四、六
最低	(-) 六、四	(-) 五、七	(-) 六、〇	(-) 六、〇	(-) 三、六	(-) 三、六	(-) 七、二	(-) 三、八	(-) 三、八
濕度	六三、〇	六三、〇	五六、〇	六〇、三	五〇、九	五五、四	五二、二	六三、六	六五、五
降水量	—	—	—	〇、四	—	—	六、三	—	—
蒸發量	二、一	二、七	三、三	三、三	三、〇	三、三	三、二	三、一	三、一
快晴	三	四	三	—	—	—	—	—	—
晴	—	—	—	—	—	—	—	—	—
曇	—	—	—	—	—	—	—	—	—
雨又雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—
風向	北	北	北	北	北	北	北	北	北
最多	—	—	—	—	—	—	—	—	—
以強	—	—	—	—	—	—	—	—	—
上風	—	—	—	—	—	—	—	—	—

月次	四 月			五 月			六 月			七 月			八 月	
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
溫度	二、七	三、三	三、〇	二、八	一、六	一、八	二、〇	二、三	二、三	二、五	二、六	二、七	二、七	二、九
最高	二二、〇	二二、二	一九、〇	二〇、八	二七、〇	二六、一	二七、〇	二九、〇	三〇、〇	三〇、〇	三〇、二	三二、五	三二、二	三三、三
最低	〇、三	一、七	〇、五	二、五	二、八	七、五	三、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、〇	二、〇	一、七
濕度	六八、四	七五、一	七一、三	七九、〇	七三、〇	七八、〇	七六、七	八三、四	八二、〇	八三、四	八二、六	八七、五	八七、五	八三、三
降水量	—	—	—	〇、九	〇、七	一、一	二、八	—	—	—	—	八、五	八、七	二〇、五
蒸發量	四、八	三、九	四、四	四、二	四、三	五、四	四、六	—	—	—	—	—	—	—
快晴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
晴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
曇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
雨又雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
風向	北	北	北	北	南	南	南	南	南	南	南	東	東	東
最多	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
以強	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
上風	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

大正七年氣象表 其ノ二

月次	一 月			二 月			三 月			四 月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
土壤溫度	一、五	一、七	二、二	三、一	三、一	四、一	三、五	三、三	二、三	一、三	一、六	一、五
最低	七、九	六、五	七、五	六、四	六、四	五、三	四、九	二、八	二、六	二、七	二、九	五、七
表面	一、四	一、九	三、三	二、四	二、四	三、七	七、一	一、一	九、七	一、一	一、四	一、三
田 地	三、九	三、一	三、五	二、七	二、七	三、一	四、九	一、五	六、四	九、一	一、一	二、七
中	六、二	六、六	六、八	二、八	三、四	三、五	五、四	五、九	五、七	七、一	九、五	二、三
一尺	九、七	一〇、五	一〇、九	三、六	四、四	四、三	六、九	八、二	七、三	八、五	一〇、八	二、四
二尺	一、九	一、七	一、八	五、八	六、一	五、九	六、六	七、四	七、八	八、五	一〇、九	一〇、九
三尺	二、七	二、三	二、六	七、九	七、八	七、七	七、八	八、四	八、九	九、四	九、九	一一、二
用水												
田 水												

月次	九 月			十 月			十一 月			十二 月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
土壤溫度	二、四	二、一	二、一	二、七	二、三	一、八	七、八	七、八	七、七	四、四	四、四	四、三
最低	三、五	二、八	二、七	二、五	二、五	二、七	一、〇	一、〇	一、七	一、四	一、七	一、七
表面	一、五	一、五	一、五	九、九	八、九	四、六	〇、二	〇、一	一、四	一、四	一、七	一、五
田 地	九、五	九、四	九、二	八、一	八、二	八、四	六、七	六、七	五、七	五、四	五、三	五、七
中	三、二	三、二	三、二	二、九	二、三	二、五	七、一	三、五	二、五	二、三	二、三	三、三
一尺	七、三	七、一	七、一	二、一	二、一	二、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
二尺	一、二	一、三	一、三	五、四	三、二	二、六	四、四	五、四	五、五	五、五	五、五	七、七
三尺	一、四	一、二	一、二	六、一	三、一	三、一	二、五	二、二	二、二	二、二	二、二	三、三
用水												
田 水												

備考 用水並ヒニ田水温度ハ五月上旬ヨリ九月上旬迄ノ外ハ観測ヲ行ハス	十二月				十一月				十月				九月		
	平	下	中	上	平	下	中	上	平	下	中	上	平	下	中
	九、八	七、六	一八、四	一三、七	一四、五	一四、六	一四、八	一四、三	一九、二	一五、五	二二、三	二二、一	二七、〇	二三、〇	二八、五
	(-)	(-)	(-)	(-)											
	七、一	七、八	三、四	二、五	二、八	二、六	二、三	三、六	六、九	四、七	一〇、三	六、〇	一一、〇	一一、七	一五、二
	三、九	三、九	二、九	五、五	一〇、二	九、三	八、二	一一、八	一六、四	一三、九	一七、五	一八、三	二二、二	一九、四	二三、八
	七、五	三、四	三、八	一五、九	一八、〇	一八、四	一八、一	一七、三	一八、五	一八、二	一八、一	一九、二	二二、〇	一九、九	二三、〇
	四、七	四、二	三、三	六、七	一〇、九	一〇、二	一一、〇	一一、五	一七、五	一四、九	一八、七	一九、三	二二、〇	二〇、六	二三、六
	五、六	四、九	五、二	六、八	一一、一	一〇、七	一一、九	一二、七	一八、七	一五、三	一八、七	一九、六	二二、四	二〇、八	二三、六
	八、七	六、九	八、〇	九、九	一三、一	一二、一	一二、八	一四、五	一八、八	一七、〇	一九、二	二〇、一	二二、〇	二一、五	二二、六
	一一、五	一〇、二	一一、九	一二、四	一五、六	一六、二	一四、一	一六、三	一九、三	一八、九	一九、四	二〇、二	二二、七	二二、四	二二、〇

備考	八月				七月				六月				五月			
	上	平	下	中	上	平	下	中	上	平	下	中	上	平	下	中
	二九、〇	三三、九	三三、〇	三四、一	三三、八	三三、四	三三、六	三三、二	二九、三	二五、八	二七、二	二七、一	二〇、八	二四、二	二〇、二	一八、一
	四二、四	二〇、四	二〇、七	二四、二	一八、九	二三、九	二〇、三	二〇、二	一一、七	一三、四	一一、二	一一、七	六、七	八、八	六、二	五、二
	二四、二	二七、一	二九、二	二六、三	二七、九	三〇、八	二七、一	二七、二	二二、八	二四、一	二二、七	二二、八	一七、四	一八、六	一七、六	一六、一
	二六、一	二五、五	二六、八	二五、二	二六、二	二九、八	二六、二	二四、八	一九、〇	二〇、六	二〇、六	一九、〇	一六、一	一七、二	一六、二	一四、九
	二五、八	二五、九	二六、四	二五、三	三五、六	二八、〇	二四、四	二五、一	一八、九	一九、六	一九、四	一七、八	一五、二	一六、二	一五、五	一四、一
	二三、六	二五、二	二六、三	二五、五	二四、八	二七、一	二四、一	二三、七	一八、三	一九、〇	一八、六	一七、二	一四、九	一五、九	一四、八	一三、九
	二三、〇	二四、二	二三、三	二三、五	二四、二	二九、七	二二、六	二〇、四	一五、九	一七、九	一七、二	一五、六	一三、七	一四、七	一三、七	一二、七
	二三、六	二三、七	二三、一	二三、五	一九、八	二二、一	二〇、四	一七、六	一五、一	一五、九	一五、一	一四、一	一二、九	一三、三	一二、五	一五、四
	二三、四	二三、八	一八、八	二三、七	二四、六	二六、一	二三、七	二二、五	一七、八	二〇、三	一五、八	一三、四	一三、四	一三、八	一三、七	一三、一
	二五、九	二五、八	二五、七	二四、一	三三、九	三三、〇	三〇、四	二八、七	二四、一	二七、九	二三、九	二〇、五	一八、三	二〇、六	一五、八	一
	一、〇	一、二	一、二	一、〇	一、五	一、四	一、五	一、一	〇、九	一、二	〇、八	〇、七	〇、八	〇、七	〇、八	一

◎園藝部
第一、蔬菜

一、馬鈴薯品種試驗
アールローズ、薄赤(アールローズト全ジ)スノーフレック、紅赤、白ノ五種ヲ蒐集栽培シ其特性、收量、品質等ノ良否ヲ比較シ以テ當地方ニ適スル良種ヲ選定セムトス

耕種梗概
一、畦幅 二尺
一、株間 一尺
一、肥料 (反當)

肥料名	元肥	追肥			窒素	磷	成酸	加分
		第一回	第二回	第三回				
堆肥	100,000				1,360	1,080	1,000	
精過磷	10,000				0,265	1,924	0,075	
油粕	5,000				0,214	0,114	0,075	
木灰	25,000				2,875	0,635	2,000	
人糞	100,000	75,000	75,000	4,510	4,510	0,550	0,875	

計

四、五〇〇

四、二九三

三、九五〇

一、除 藥 三本立トセリ
一、植付及發芽

種類名	植付月日	發芽月日
薄赤	四、二四	五、二
白	四、二四	五、四
紅赤	四、二四	五、七
アールローズ	四、二四	四、二八
スノーフレック	四、二四	六、六

一、中耕及追肥

第一回 五月十日

第二回 五月三十日

一、收 穫 七月十七日

試驗成績 (反當)

品 種 名	收 量	一個重量	形 狀	色 澤	品 質	芽ノ深淺
薄赤	六三〇,〇〇〇	中大 三九〇	長楕圓扁	淡紅	中	中

白	七二、五〇〇	中大	三六〇〇	楕圓	黃	白	上	中
紅	八五、〇〇〇	中大	三八〇〇	圓	紅	下	甚	深
アールローズ	八一〇、〇〇〇	中大	三九五〇	長楕圓扁	淡	中	中	
スノーフレーク	七五、〇〇〇	中大	三六〇〇	卵圓扁	淡	上	淺	

以上品種中「アールローズ」種ハ收量多ク品質亦不良ナラサルヲ以テ栽培上有利ナル品種ナリ紅赤種ハ收量最モ多キモ品質不良ナリ

二、甘藍品種試験

サクセツション、札幌甘藍、オールヘットアール、パンダゴノ四種ヲ蒐集栽培シ其特性、收量、品質等ノ良否ヲ比較シ以テ當地方ニ適スル良種ヲ選定セムトス

耕種梗概

- 一、播種月日 九月二十三日
- 一、發芽月日 バンダゴノハ九月二十九日其ノ他ハ九月二十八日ニ發芽セリ
- 一、移植月日 第一回 十月二十四日 第二回 十一月二十日
- 一、定植月日 三月二十日
- 一、畦 巾 二尺五寸

肥料名	元肥	追肥			窒素	磷	酸	加分
		第一回	第二回	第三回				
堆肥	二〇、〇〇〇				一、三八〇	一、〇八〇	一、〇〇〇	
大豆粕	二〇、〇〇〇				一、四六八	〇、三二四	〇、五〇〇	
精過磷	六、〇〇〇					一、一五四		
木灰	二〇、〇〇〇					〇、五〇〇	一、六〇〇	
人糞	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	四、六〇〇	〇、八八〇	一、二〇〇	
計					七、四六八	三、九二八	四、三〇〇	

一、中耕及追肥月日 第一回 四月二日 第二回 四月十五日 第三回 五月三日

試験成績 (反當)

品種名	最初收穫月日	收穫盛月日	最終收穫月日	收量	結球歩合	一顆平均球量
サクセション	六月四日	七月二日	七月十日	一、七八一、二三	九六%	六、六
オールヘットアール	六月四日	七月十日	七月十五日	一、八二二、三〇〇	九〇%	七、七
札幌甘藍	七月十日	七月八日	七月九日	一、七二〇、二五〇	八六%	六、八〇

バンダゴ 七、九 七、五 八、五 一、二八三、二六〇 九 五、三

右成績ニ據レハ「サクセツション」種ハ早生ニシテ結球歩合多ク而モ收量尠カラサルヲ以テ最モ良好ナル品種ナル「オールヘットアーリー」種ハ收量最多ク結球モ稍良好ナルヲ以テ「サクセツション」種ニ次ク良品種ナリ

三、薯蕷品種試験
 一年薯、大和薯、銀杏薯、伊勢薯ノ四種ヲ蒐集栽培シ其特性、收量、品質等ノ良否ヲ比較シ以テ當地方ニ適スル良種ヲ選定セントス

- 耕種便概
- 一、植付 四月十九日
 - 一、畦幅 二尺五寸
 - 一、株間 一尺五寸
 - 一、肥料 (反當)

堆肥	肥料名	元肥	追肥			三素	成	酸	加	分	里
			第一回	第二回	窒						
100,000			1	1	1	1,380	1,080			1,000	

計	油		精		過		磷		灰		糞	
	粕	酸	灰	糞	糞	灰	糞	灰	糞	糞	灰	糞
	25,000	10,000	10,000	10,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	1,333	0,568	1,924	0,500	0,440	0,440	0,440	0,440	0,440	0,440	0,440	0,440
	0,375	1,000	0,400	0,400	0,400	0,400	0,400	0,400	0,400	0,400	0,400	0,400
	3,675											

品種名	一、發芽及支柱立		發芽	支柱立	第一回	第二回	收穫
	第一回	第二回					
伊勢薯	5,200	6,200	5,200	6,200	6月5日	7月15日	10月28日
大和薯	5,160	6,200	5,160	6,200	6月5日	7月15日	10月28日
銀杏薯	5,190	6,200	5,190	6,200	6月5日	7月15日	10月28日
一年薯	5,130	6,200	5,130	6,200	6月5日	7月15日	10月28日
中耕及追肥							
第一回					6月5日	7月15日	10月28日
第二回					6月5日	7月15日	10月28日
收穫					6月5日	7月15日	10月28日
試驗成績 (反當)							

品種名	收量	一個最大重量	形状	色澤	品質
伊勢薯	六四,〇〇〇	二七〇 ^g	塊狀不整	淡	極上
大和薯	六九四,〇〇〇	三〇〇	塊狀圓	黑	上
銀杏薯	八一六,〇〇〇	二四〇	扇狀	淡	中
一年薯	九三六,〇〇〇	二五〇	細長	黑	下

右成踏ニ據レハ一年薯收量最多ク伊勢薯品質最良好ナリ銀杏薯ハ收量多ク品質亦不良ナラサレトモ凹凸多ク調理上不用部ヲ生スルコト大ナリ

四、薑品種試驗

早生、近江、金時ノ三種ノ特性、收量、品質等ノ良否ヲ比較センカ爲大正二年以降繼續試驗ヲ施行セリ

耕種梗概

- 一、畦幅 二尺
- 一、株間 一尺
- 一、植付及發芽

品種名	植付月日	發芽月日
早生	四 ^月 一六 ^日	六 ^月 一七 ^日
近江	全	六、一九

金時全

六、一九

肥料名	元肥	追肥		窒素	磷	酸	加分
		第一回	第二回				
堆肥	100,000			1,380		1,080	1,000
精過磷酸	10,000			1,940		0,615	2,000
木灰	25,000			0,515		0,370	0,150
油粕	10,000			2,300		0,440	0,700
人糞	1	100,000	100,000	2,100		0,440	0,700
計				4,220		4,296	3,850

一、肥料 (反當) 六、一九

一、種 薑 一株十五匁内外ニシテ二三芽ヲ附シタルモノヲ用ヒタリ

一、中耕及追肥 第一回 六月二十七日 第二回 八月一日

一、收穫 十一月二日

試驗成績 (反當收量)

品種名	大正七年	大正六年	大正五年	大正三年	大正二年	平均
早生	六六〇,〇〇〇	六三〇,〇〇〇	六六〇,〇〇〇	四七四,〇〇〇	七九〇,〇〇〇	六三〇,〇〇〇

近江	六〇〇,〇〇〇	五八五,〇〇〇	六九〇,〇〇〇	四七四,〇〇〇	四八三,〇〇〇	五六一,七五〇
金時	五五五,〇〇〇	一	四二,五〇〇	四六,〇〇〇	六〇七,七五〇	五五,〇五〇

右成績ニ據レハ早生薑ハ收量最多ク品質亦不良ナラサルヲ以テ良好ナル品種ト認ム

五、里芋品種試験
唐ノ芋、八ッ頭、土垂、赤柄ノ四種ヲ蒐集栽培シ其ノ特性、收量、品質等ノ良否ヲ比較シ以テ當地方ニ適スル良種ヲ選定セントス

耕種梗概

- 一、畦幅、二尺
- 一、株間、一尺五寸
- 一、植付及發芽

品種名	植付月日	發芽月日
唐ノ芋	四月二二日	五月二八日
八ッ頭	全	全
土垂	全	全
赤柄	全	全

一、肥料

肥料名	元肥	追肥		窒素	燐	酸	加分
		第一回	第二回				
堆肥	二〇〇,〇〇〇			一三六〇		一,〇八〇	一,〇〇〇
大豆粕	一五,〇〇〇			一,一〇一		〇,三六	〇,三三五
精過磷	一〇,〇〇〇					一,九二四	
木灰	一〇,〇〇〇					〇,五〇〇	一,六〇〇
人糞	一〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	二,三三〇		〇,四四〇	〇,七〇〇
計				四,七六一		四,一八	三,六七五

- 一、中耕及追肥 第一回 六月十五日 第二回 七月十三日 土寄 八月二日
- 一、收穫 十一月二十七日

試驗成績 (反當收量)

品種名	親芋收量	子芋收量	合計收量	品質	備考
唐ノ芋	三五四,〇〇〇	三五〇,〇〇	七〇四,〇〇〇	親芋上	親芋用
八ッ頭	六二五,〇〇〇	三三七,五〇〇	九六二,五〇〇	親芋極上	全親芋用
土垂	三五四,〇〇〇	一三二,〇〇〇	四八六,〇〇〇	中親芋	子芋用

赤 柄 二七〇,〇〇〇 四三五,〇〇〇 一七五,〇〇〇 中 全

右成蹟ニ據レハ土垂種ハ收量最多キ品種ナリハツ頭種ハ品質良好ニシテ收量モ比較的多シ

六、葱頭品種試験

當場採種黃葱頭(エローグロブダンバース)ト他ヨリ購入シタル品種トヲ比較栽培シ何レカ優レルカヲ試験シタルモノナリ

耕種梗概

- 一、畦幅 一尺
- 一、株間 四寸乃至五寸
- 一、肥料

肥料名	元肥	追肥				三素成成分			
		一回	二回	三回	四回	窒素	磷	酸	加里
堆肥	二五〇,〇〇〇					一,七五〇	一,三五〇		一,二五〇
油粕	六,〇〇〇					〇,三七〇	〇,二五〇		〇,九〇〇
精過磷	六,〇〇〇						一,一五〇		〇,九〇〇
木灰	一〇,〇〇〇							〇,一五〇	〇,八〇〇
人糞	一〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	四,一四〇		〇,六九〇	一,二六〇

計 六,一八二 三,五九二 三,四〇〇

一、播種月日 九月二十日

一、播種法 一尺ノ距離ニ繩ニテ線ヲ作り之ヲ中心トシテ鋤ニテ壓シ少シク低クシ反當種子二升五合ノ割合ニテ作線ノ兩側(鋤ノ及幅)ニ條播シ種子ノ見エサル程度ニ被土シ後麥稈ノ覆ヲナセリ

一、追肥 第一回十二月二十日 第二回二月一日 第三回三月四日 第四回四月十二日

一、間引 二月二十四日麥稈ヲ除キ間引セリ

一、收穫 六月二十四日

試験成蹟 (反當收量)

品名	收量	一個最大重量	一個中重量	一個小重量	備考
當場(エローグロブダンバース)	一,七五二,〇〇〇	六五	二七	二七	三種共ニ品質色澤
札幌黄葱頭	一,三〇五,〇〇〇	六四	三五	二八	形狀著シキ差ナシ
エローグロブダンバース	一,一〇〇,〇〇〇	五二	三〇	二三	

右成蹟ニ據レハ當場採種收量最モ多キヲ以テ種子ハ當地ニ於テ採種ニ注意シタルモノヲ播種スルヲ得策トス

七、白菜品種試験

芝罘、金州、直隸、開城、京城ノ五種ヲ蒐集栽培シ其特性、收量、品質等ノ良否ヲ比較シ以テ當地方ニ適ス

ル良種ヲ選定セントス

耕種梗概

- 一、畦幅 二尺五寸 開城、京城ハ二尺
- 一、株間 二尺 開城、京城ハ一尺
- 一、播種月日 八月十四日
- 一、肥料

肥料名	元肥	追肥				三素			成酸	加分
		一回	二回	三回	四回	窒	素	磷		
堆肥	三〇,〇〇〇	!	!	!	!	二〇七〇	一、六〇〇	一、五〇〇		
大豆粕	二〇,〇〇〇	!	!	!	!	一、四六八	〇、三三四	〇、五〇〇		
精過磷	五,〇〇〇	!	!	!	!	!	〇、九六二	!		
木灰	一五,〇〇〇	!	!	!	!	!	〇、三七五	!		
人糞	一〇〇,〇〇〇	!	!	!	!	七、一三〇	一、三六四	二、一七〇		
計		一〇〇,〇〇〇	二二〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇	二〇,六六八	四、六三五	五、三七〇		
一、中耕及追肥	第一回八月三十日	第二回九月九日	第三回九月十八日	第四回十月一日						
一、收穫	十一月十九日									

試験成績 (反當收量)

品種名	收量	結球性	一球ノ重量	品質	備考
芝罘白菜	一、四七六、〇〇〇	易	一、三四〇	上	
金州白菜	一、三四四、〇〇〇	易	一、二〇〇	上	
直隸白菜	一、〇五六、〇〇〇	中	一、一〇〇	中	
開城白菜	七四、〇〇〇	稍結球ノ傾向	五〇〇	中	極メテ軟弱病害ニ罹リ易シ
京城白菜	六七、〇〇〇	全	四〇〇	中	

右成績ニ據レハ芝罘白菜、金州白菜ハ收量多ク而モ品質良好ナリ京城白菜ハ收量少ク加フルニ性極メテ軟弱病害ニ罹リ易キヲ以テ栽培上極メテ不利ナリ

八、夏大根、時無大根比較試験

春播大根中夏大根ト時無大根トハ何レカ良好ナルヤヲ試験セルモノナリ

耕種梗概

- 一、畦幅 二尺
- 一、株間 八寸
- 一、播種月日 四月二十日

一、肥料 (反當)

肥料名	元肥	追肥		窒素	磷	成酸	加分	里
		一回	二回					
油粕	15,000			0,794		0,341		0,235
精過磷酸	6,000					1,154		
木灰	5,000					0,125		0,400
人糞	100,000	100,000	100,000	3,450		0,660		1,050
計				4,244		2,280		1,675

一、中耕及追肥 第一回 五月十一日 第二回 五月二十八日

一、收穫 六月二十二日

試驗成績 (反當收量)

品名	種類	收穫量	一本平均重量	品質
夏大根	根	1,950,000	500	中
時無大根	根	2,500,000	634	上

右成績ニ據リ春播大根ハ時無大根ヲ栽培スルヲ得策トス

第二、果 樹

一、葡萄品種試驗

明治四十四年三月十三日品種ヲ蒐集シ各區十八本トシ畦幅六尺株間五尺(反當三百六十本)ニ植付シ整枝法ハ桓根作トナシ其ノ特性、收量、品質等ノ良否ヲ比較シ以テ當地方ニ適スル良種ヲ選定セントス

試驗成績 (反當收量)

品種名	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年	大正三年	平均	品質
アイヲナ	357,600	540,000	433,200	296,000	334,800	386,300	極上
ブライトン	532,200	540,000	797,800	755,600	621,000	626,580	全
ゼビール	426,300	457,200	666,000	554,400	480,200	524,000	中
ガバナロツス	233,200	431,000	431,000	605,800	378,000	421,100	上
アジロンダツク	336,400					336,400	中
ピツクエキストラ	332,200					332,200	中
レテールシントン	698,800	988,000	777,600	968,000	703,400	801,550	上
ペールコン	533,600	547,200	777,600	1,334,000	1,334,000	893,280	中
ミール	808,670	756,000	460,800	862,200	766,800	732,890	上
チャンピオン		448,400	702,000	673,200	540,000	472,300	中
カールマン	476,600	338,400	554,400	646,500	532,000	495,790	中

ハーバート	四〇六、八〇〇	一九八、〇〇〇	七二、〇〇〇	七二、八〇〇	六二、四〇〇	五三、八、二〇〇	中
ナイヤガラ	四三五、六〇〇	五五八、〇〇〇	—	—	—	四九六、八〇〇	中

備考 肩數字ハ樹卷ヲ示ス、チャンピオンハ芒腐病ニ罹リ收穫ノ調査ヲ行フコト能サリキ
右成績ニ據レハ「ペーコン」ハ品質良好ナラサレトモ收量最多ク外觀良好ナル品種ナリ「レデーワシントン」ハ
收量多ク且品質良好ナルヲ以テ有望品種ナリ「ブライトン」ハ品質優良ニシテ而モ收量少ナラサレトモ皮部
薄ク破損シ易ク又樹勢弱キヲ以テ栽培困難ナリ「ミルス」ハ收量多ク品質良好ナルヲ以テ「レデーワシントン」
ニ次ク有望品種ナリ

二、和梨品種試験

大正元年三月十三日品種ヲ蒐集シ各區五本トシ畦幅二間株間二間(反當七十五本)ニ植付シ整枝法ハ棚造トナ
シ其特性、收量、品質等ノ良否ヲ比較シ以テ當地方ニ適スル良種ヲ選定セントス

試験成績 (反當收量)

品種名	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年	平均	一個平均量
早生赤	七、三五〇	一八、九〇〇	七、八〇〇	一三、五〇〇	一一、八八八	四三
明月	五、四二五	一八、三二〇	三、三七四	一八、七五〇	一一、四四四	八二
晩着	七、二二五	一五、三七五	八、七二五	一四、四七五	一一、四二五	七九
巾着	七、二七五	一一、三二五	二、八九〇	一五、三七五	九、二〇六	六一

品種名	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年	平均	一個平均量
長太郎	一五、一〇〇	一七、〇二五	一一、二〇〇	二二、一五〇	一六、二二	四六
太逸	七、五七一	三、一〇〇	九、六〇〇	一七、九二五	一四、五四九	四四
獨逸	一八、四五〇	三、六〇〇	七、三四〇	六、四五〇	一、二二〇	三八
今秋	一、九〇〇	—	八、七〇〇	—	四、九八五	七〇
二世	六、三七五	一〇、八七五	—	—	八、六二五	四八
世界	一、五五〇	三、五二五	六、〇〇〇	—	三、六九二	五一
二十世紀	三、一〇〇	三、四五〇	—	—	三、二七五	五四
今日	五、二七五	一、三二〇	—	—	二、〇六三	二五
今村	五、〇〇〇	—	—	—	五、〇〇〇	五〇

備考 肩書ノ數字ハ樹齡ヲ示ス

右成績ニ據レハ太白ハ收量多ク品質亦良好ニシテ且樹勢強ケレハ中生種中有望ノ品種トス然レトモ皮部薄ク
相傷シ易シ長太郎ハ收量最モ多ク中生種中ノ良品種ナレトモ自花受精歩合不良ナルヲ以テ他品種ノ混植ヲ要
ス

三、桃品種試験

明治四十四年三月十三日品種ヲ蒐集シ各區十本トシ畦幅二間株間二間(反當七十五本)ニ植付シ整枝法ハ盃狀形
トナシ其ノ特性、收量、品質等ノ良否ヲ比較シ以テ當地方ニ適スル良種ヲ選定セムトス

成績試験 (反當收量)

品 種 名	大正七年		大正六年		大正五年		大正四年		平 均	
	收量	平均重量	收量	平均重量	收量	平均重量	收量	平均重量	收量	平均重量
土用水蜜桃	四、三七五	二七	一四、〇二五	二六、四七五	一三、七二五	二四、六五〇	一四、六五〇	二七	二七	二七
金 桃	二、七七五	四五	四、八七五	二五、八七五	九、三七五	一三、二二五	一三、二二五	四五	四五	四五
銀 桃	一五、七七五	四四	二二、八七五	二二、二〇〇	一三、七二五	一八、六四四	一八、六四四	四四	四四	四四
アムステルダム桃	—	—	四、一二五	一一、六二五	六、四五〇	七、四〇〇	七、四〇〇	—	—	—
蟠 桃	—	—	—	九、三二五	八、五二〇	八、八七三	八、八七三	—	—	—
上海水蜜桃	一四、一七五	三〇	八、六二五	一一、七九〇	九、三四〇	一一、九七三	一一、九七三	三〇	三〇	三〇
アフリカアメリカン	一〇、七〇〇	二二	二、七〇〇	二、四〇〇	三、三七五	四、七九四	四、七九四	二二	二二	二二
アフリカヨーロッパ	六、六五〇	三三	五、七〇〇	一、八七五	九、三五	三、七九〇	三、七九〇	三三	三三	三三
天津水蜜桃	二、六二五	二六	六、三七五	一三、五〇〇	二、七五〇	六、二二五	六、二二五	二六	二六	二六
アフリカヨーロッパ	六、七二五	四〇	六、三七五	二、三二五	九、〇七五	六、二二五	六、二二五	四〇	四〇	四〇
離核水蜜桃	一七、八〇〇	二二	一五、〇〇〇	一九、三三八	一五、三七五	一九、三三八	一九、三三八	二二	二二	二二
トライアンブ	四、三二五	三五	五、一〇〇	四、七二五	—	四、七二五	四、七二五	三五	三五	三五
ブリッダスメ	四、六五〇	二	—	—	—	—	—	二	二	二

右成績ニ據レハ離核水蜜桃ハ品質優良ニシテ收量最多ク且樹勢強健ナルヲ以テ中生種中ノ有望品種ナリトス之ニ次クハ銀桃、土用水蜜桃ニシテ品質良好收量亦多シ、上海水蜜桃ハ品質優良收量多ク晩生種中ノ有望品種ナリ「アムステルダム」「ブリッダスメ」ハ收量品質ニ於テ右品種ニ劣ルト雖モ早生種中ノ良品種ニシテ桃園經營上肝要ナル品種ナリ

四、柿品種試験

明治四十四年三月十二品種ヲ植付シ品種試験ニ着手シタレトモ收量極メテ尠ク未タ充分ナル成績ヲ見ル能ハス

五、苹果品種試験

明治四十四年四月九品種ヲ蒐集シ各區十五本トシ畦幅二間株間二間(反當七十五本)ニ植付シ整枝法ハ盃狀形トシ其ノ特性、收量、品質等ノ良否ヲ比較シ以テ當地方ニ適スル良種ヲ選定セントス

試験成績 (反當收量)

品 種 名	大正七年		大正六年		大正五年		平 均	
	收量	平均重量	收量	平均重量	收量	平均重量	收量	平均重量
日 本	五、七七五	四〇	六、三七五	二、一七五	—	四、七七五	四〇	四〇
祝 錦	八、二五〇	三三	一、五〇〇	一、五七五	—	三、七五〇	三三	三三
倭 綾	五、九二五	四一	—	一、五七五	—	三、七五〇	四一	四一
紅 玉	六、五五〇	三五	二、四七五	一、三二〇	—	三、四三八	三五	三五
紅 玉	一三、六五〇	三三	三、一五〇	二、七〇〇	—	六、五〇〇	三三	三三
クーパーズアーリー	五、五二五	三三	—	四、一〇〇	—	四、八六三	三三	三三
紅 魁	五、一五〇	四四	五、四〇〇	—	—	五、二七五	四四	四四
中 畑	三、八七五	二四	一、五七五	—	—	二、七二五	二四	二四

以上品種中紅魁ハ熟期七月上旬ニシテ收量多ク而モ綿蟲ノ害極メテ尠キヲ以テ本縣苹果栽培上最モ有利ナル品種ナリ之ニ次クハ紅紋ニシテ熟度八月收量多シ、祝ハ八月上旬ニ熟スレトモ綿蟲ノ害頗ル多シ

六、洋梨品種試験

明治四十三年四月十品種ヲ蒐集シ各區六本トシ畦幅二間株間二間(反當七十五本)ニ植付シ整枝法ハ「ピラミッド」形トナシ最特性、收量、品質ノ良否ヲ比較シ以テ當方ニ適スル良種ヲ選定セムトス

試驗成績 (反當收量)

品 種 名	大正七年	大正六年	大正五年	平 均	一個平均重量
パツスタラツサン	七〇〇	一、八〇〇	二、三三五	一、五二三	一三〇
ラ フ ラ ン ス	四、〇〇〇	一、二七五	二、三三五	二、七〇八	三三
ヲ ノ シ ン ダ ガ	七二五	一、二七五	一、二二五	一、〇四二	三六
ルイスボンヌドゥエルシー	二、二五〇	二、一〇〇	四、五七五	二、九七五	二二
ウキンターネリス	二、〇七五	四、三三五	三、〇〇〇	三、一〇〇	四〇
バートレット	二、二二五	一、八七五	九〇〇	一、六三三	四〇
ポーレアーヂー	五、〇〇〇	四、〇五〇	三、三七五	四、一四二	二五
ホワイトドアイアンヌ	一、一五五	二、一〇〇	六、三七五	六、七〇〇	三五
ポーレヂュビユイソン	九〇〇	二、八五〇	一、九五〇	一、九〇〇	四二

七、櫻桃品種試験

明治四十四年三月那翁、養老、大紫、黄玉ノ四種ヲ各區五本宛植付シ品種試験ニ着手セシニ養老ハ豊産結果良好ナリ

八、見、本 栽 培

斯業改良ニ資セムカ爲左記各品種果樹ヲ見本トシテ栽植セリ

- (1) 李 類
 - 寺田李、鹿兒島米桃、萬左衛門、市成李、西田李、大統巴丹杏
- (2) 梅
 - 豊後、養老
- (3) 栗
 - 銀寄、長兵衛、又兵衛
- (4) 枇 杷
 - 田中枇杷
- (5) 柑 橘

◎農藝化學部

第一、試驗事項

一、ポット試驗耕種梗概

常部ニ於テ施行セル栽培試驗ハ大部分ポットヲ使用シ其耕種法ハ特殊ノモノヲ除クノ外總テ次ノ方法ニ據リ栽培セリ

(イ) 作付及管理手入 其概要次表ノ如シ

事項	五千分ノ一反(素焼バラ)	八千分ノ一反(粘樂引)	二萬分ノ一反(磁製及)
地	表底土各一尺宛備過塊充畑ハ秋、田ハ春秋八寸耕起	全上	下底二寸河砂以上六寸表土、畑ハ秋田ハ春秋五寸耕起
試驗種類	奉効率査定試驗(田及畑)	三要素及三要素適量試驗(田及畑)	肥効、不良土改良、施用法、硫黃肥効等ノ各試驗
播種(又ハ挿秧)	水稻ハ三本宛四株、其他ハ七粒四株トシ	水稻ハ三本宛三株、其他ハ七粒宛三株	水稻ハ二本宛三株、其他ハ一株ニシテ十五粒時
手入	除草二回間引ハ麥ニ行ヒ一株五本トシ沈壓二回	全上	除草二回歩ハ一株十本立トス沈壓二回

(ロ) 供試作物及品種 水稻ハ國富種大麥ハ竹林種陸稻金光坊種ニシテ水田ハ夏作水稻、冬作大麥畑ハ冬作大麥、夏作陸稻又ハ稗トス

試驗種類	試驗肥料	補助肥料(反當)			石灰(肥料)	備考
		窒素	磷	酸加里		
奏効率査定試驗	窒素一貫五百匁(反當)宛各種肥料ニテ施用	一貫五百匁	三貫五百匁	三貫五百匁	三貫	本年度ヨリ窒素サ一貫五百匁ニ減セリ
三要素適量試驗及	各要素ニ就キ所定量ヲ硫安、過磷酸、炭酸加里ニテ施用	四貫五百匁	四貫五百匁	四貫五百匁	四貫	全
不良土改良試驗	有機質區ハ堆肥五〇貫ヲ用ヒ又多量區ハ標準ノ三倍ヲ用ウ	三貫五百匁	三貫五百匁	三貫五百匁	三貫	有機質區ノ硫安ハ堆肥中窒素ノ殘リ與フ
肥料肥効試驗(窒素質、磷酸質)	窒素肥効ハ一貫五百匁ヲ、磷酸質効ハ一貫各肥料ニテ施用	二貫五百匁	二貫五百匁	二貫五百匁	二貫	施用法、地方維持
其他ノ試驗	窒素二貫各供試肥料	二貫五百匁	二貫五百匁	二貫五百匁	二貫	硫黃肥効試驗等

(ハ) 區 數 各區ニ對シ甲乙ノ二個宛ノポットヲ使用シ其結果ヲ平均ス

(ニ) 蕃種播秧及刈取 水稻ハ七月上旬陸稻ハ六月中旬移植(蕃種ハ六月初旬)稗ハ七月中旬蕃種シ何レモ十月中旬刈取り麥ハ十一月中旬蕃種六月中旬刈取ル

(ホ) 施肥方法 特別ノモノヲ除ク外左表ニ從ヒ施肥ス、其内硫安及速効性窒素肥料ハ其半量ヲ元肥ニ半量ヲ夏作ニ七月下旬冬作ハ三月中旬追肥シ石灰ハ蕃種又ハ挿秧ノ一週間前ニ施用土壤ト混合シ置ケリ、肥料中水ニ溶解スルモノハ全部液肥トシテ施シタリ

省略セリ

二、窒素質肥料奏効率査定試験 (繼續水田及畑)

本試験ハ縣下ニ於テ普通ニ使用セラル、窒素質肥料ニ就キ所含窒素分ノ作物ニ吸收利用セラル、歩合ヲ査定シ奏効率ヲ求メ施肥量及肥料眞價等ノ算定ニ便セン爲表裏兩作ニ於テ施行セルモノニシテ供試肥料十種ヲ選ミ反當窒素一貫五百匁相當量ト外ニ補助肥料ヲ施シ普通法ニテ栽培シ收穫物ヲ分析シテ土中ヨリ吸收セル窒素量ヲ求メ次ノ事項ヲ査定シタリ

- (イ) 肥効率 各區子實收量ヨリ無窒素區收量ヲ減シ大豆粕區ニ對スル他區ノ增收歩合ニ求メタルモノ
- (ロ) 吸收率 各區地上部窒素含量ヨリ無窒素區收穫物窒素含量ヲ減シ之レト肥料ニテ施シタル窒素トノ比ヲ求メ吸收率トシタリ (但シ根株ハ分析セス跡作肥料トセリ)

(甲) 水田ニ於ケル窒素奏効率査定試験

(イ) 水 稻 (第五作目)

一、生育概況及收量比 (甲乙二區平均)

試驗區名	生育		收量		量		收量歩合 (豆粕標準)	肥効率	三年平均歩合	
	草丈	穗數	粗重	葉重	玄米重	收量			肥効率	
無窒素區	二、四〇	四七	九三、五	一〇三	七四	七一	—	—	—	—
硫酸アンモニア區	二、六〇	七〇	一三〇、〇	一四三	一〇五	一〇三	一一	一一	一一	一一
大豆粕區	二、六〇	七三	二八、八	一四五	一〇三	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一一	一一

試驗區名	生育		收量		量		收量歩合 (豆粕標準)	肥効率	三年平均歩合	
	草丈	穗數	粗重	葉重	玄米重	收量			肥効率	
菜種粕區	二、六〇	六六	一一、〇	一三五	九	九七	九〇	—	—	—
餅粕區	二、六〇	七六	一四、四	一五四	一一三	一一一	一四〇	—	—	—
蛹糞區	二、五〇	六三	一三、〇	一六〇	一一〇	一〇八	一一	—	—	—
人糞區	二、五〇	六六	一七、五	一四四	一〇八	一〇五	一一	—	—	—
蠶糞區	二、五〇	六五	二四、八	一三〇	九九	九七	九〇	—	—	—
堆肥區	二、五〇	六〇	二〇、七	一二六	九九	九三	七五	—	—	—
綠肥區	二、六〇	六六	二七、三	一三五	一〇〇	九八	九三	—	—	—
石灰窒素區	二、六〇	七〇	一四、〇	一四八	一一三	一一〇	一三	—	—	—

二、收穫物中ノ窒素量及吸收率

試驗區名	收穫物中ノ窒素量		肥料中ヨリ 吸收セル窒素	窒素吸收率	三年平均 吸收率
	子實	其他			
無窒素區	一、一〇	〇、九三	—	—	—
硫酸アンモニア區	一、五三	一、二四〇	〇、七四三	—	—
大豆粕區	一、四九	一、二七三	〇、七三三	—	—
菜種粕區	一、四四	一、一九二	〇、六〇七	—	—
餅粕區	一、六五〇	一、三四五	〇、九六五	—	—
蛹糞區	一、六〇六	一、三六一	〇、九八七	—	—
人糞區	一、五七七	一、二六八	〇、八一五	—	—

試驗區名	草丈	穗數	子實	實程	量	收量歩合 (豆粕標準)	肥効率	收量	肥効率
蠶糞區	一、四八五	四三	四九	二五	六三	一〇〇	一	五三	一
堆肥區	一、四四五	四四	五五	二五	六三	一〇〇	一	四六	一
綠肥區	一、五〇〇	四四	五五	二五	六三	一〇〇	一	五三	一
石灰窒素區	一、六三五	四六	五五	二五	六三	一〇〇	一	八二	一

右試驗成績ニ據レハ肥料中ニ含マル、窒素ノ内作物ニ吸收利用セラル、有効窒素分ハ動物性ナル魚粕、蛹粕及下肥、石灰窒素ニアリテハ約八割、綠肥、硫安、豆粕等ニアリテハ約七割、蠶糞、油粕、堆肥等ハ約四割ナルヲ知ル尙繼續試驗シ正確ヲ期セムトス

(ロ) 裏作 大麥 (水田第四作目)
一、收量及肥効率 (甲、乙二區平均)

試驗區名	草丈	穗數	子實	實程	量	收量歩合 (豆粕標準)	肥効率	收量	肥効率
無窒素區	一、九	四三	四九	二五	六三	一〇〇	一	五三	一
硫酸アンモニア區	二、二	四四	五五	二五	六三	一〇〇	一	四六	一
大豆粕區	二、三	四四	五五	二五	六三	一〇〇	一	五三	一
菜種粕區	二、二	四四	五五	二五	六三	一〇〇	一	四六	一
鯖粕區	二、二	四四	五五	二五	六三	一〇〇	一	五三	一
蠶糞區	二、二	四四	五五	二五	六三	一〇〇	一	四六	一
堆肥區	二、二	四四	五五	二五	六三	一〇〇	一	五三	一
綠肥區	二、二	四四	五五	二五	六三	一〇〇	一	四六	一
石灰窒素區	二、〇	四六	五五	二五	六三	一〇〇	一	八二	一

二、收穫物中ノ窒素量及吸收率

試驗區名	收穫物中窒素計		肥料ヨリ吸收セル窒素	窒素吸收率	二ヶ年平均	
	子實	其他			吸收率	吸收率
無窒素區	〇、七五	〇、四二	〇、九二	一〇〇	一〇〇	一〇〇
硫酸アンモニア區	一、二六	〇、四一	一、六八	一〇〇	一〇〇	一〇〇
大豆粕區	一、一五	〇、三五	一、五〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
菜種粕區	〇、八九	〇、二九	一、一八	一〇〇	一〇〇	一〇〇
鯖粕區	一、二八	〇、三六	一、六四	一〇〇	一〇〇	一〇〇
蠶糞區	一、二六	〇、三七	一、六三	一〇〇	一〇〇	一〇〇
堆肥區	一、二五	〇、三五	一、六〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
綠肥區	一、二六	〇、三四	一、六〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
石灰窒素區	一、二四	〇、三五	一、五九	一〇〇	一〇〇	一〇〇

右試驗成績ニ據レハ裏作大麥ニ對スル窒素ノ被吸收率ハ水稻ニ比シ遙ニ少ク石灰窒素、硫安、鱈粕ニ於テ六七割、蛹粕、下肥等ニ於テ五割内外、蠶糞、豆粕、堆肥ニ於テ約四割ナルヲ見ル而シテ菜種粕ノ吸收率ノ過少ナルハ如何ナル原因ニ據ルカ明ナラス尙ホ試驗ヲ繼續シテ之レカ原因ヲ究メムトス

(乙) 畑ニ於ケル窒素奏効率査定試驗

(イ) 大麥 (第三作目)

一、收量及肥効率 (甲、乙二區平均)

試驗區名	生育		收穫		子量	收量歩合 (豆粕標準)	肥効率	二ヶ年平均歩合	
	草丈	穗數	稈重	子實				收量	肥効率
無窒素區	二、三	五〇	三三	五八	一、二	一	六九	一、二	一、八
硫酸アムモニア區	二、四	七二	六二	九八	一、三	一	一四	一、三	一、〇
智利硝石區	二、五	七七	七〇	一〇〇	一、四	一	一〇	一、三	一、〇
大豆粕區	二、二	六七	五〇	九七	一、〇	一	一〇	一、〇	一、〇
菜種粕區	二、一	六六	四四	八七	一、〇	一	一〇	一、〇	一、〇
鱈粕區	二、一	六五	三三	八〇	一、〇	一	一〇	一、〇	一、〇
人糞尿區	二、二	六六	三三	七二	一、〇	一	一〇	一、〇	一、〇
蠶糞區	二、二	六六	三三	七二	一、〇	一	一〇	一、〇	一、〇
堆肥區	二、二	六六	三三	七二	一、〇	一	一〇	一、〇	一、〇
石灰窒素區	二、三	六六	三三	七二	一、〇	一	一〇	一、〇	一、〇

二、收穫物ノ窒素量及吸收率

試驗區名	收穫物		窒素計	肥料ヨリ吸 收セル窒素	窒素吸收率	二ヶ年平均 吸收率
	子實	其他				
無窒素區	〇、九二八	〇、三三五	一、二六三	〇、七二三	一	六五
硫酸アムモニア區	一、七四〇	〇、五〇六	一、九七六	〇、七二三	一	六五
智利硝石區	一、四五五	〇、五五七	二、〇二二	〇、七四九	一	六五
大豆粕區	一、三〇五	〇、四一六	一、七二二	〇、四五六	二七	四九
菜種粕區	一、二〇〇	〇、三九七	一、五五七	〇、二九四	二七	四九
鱈粕區	〇、九〇〇	〇、二二五	一、一七八	〇、〇六五	生育不良	六八
蛹粕區	一、〇〇五	〇、二五三	一、三三八	〇、〇六五	生育不良	六八
人糞尿區	一、〇六五	〇、二二七	一、三六六	〇、一〇三	生育不良	四四
蠶糞區	〇、八二六	〇、一七五	一、〇四八	〇、一〇三	生育不良	四四
堆肥區	〇、七八四	〇、二二四	一、〇五二	〇、一〇三	生育不良	四四
石灰窒素區	一、二三〇	〇、三三八	一、六三四	〇、三七二	二九	三三

右試驗成績ニ據レハ畑作大麥窒素吸收率ハ水田裏作ノモノト大差ナキモ唯蠶糞區ノ收量甚タ少ク無窒素區ニ

劣ルカ如キ成蹟ヲ示セルハ蠶糞ノ有毒作用ニ據リ生育ノ障害セラレタルモノナルヘシ、一般ニ本試験ハ病蟲害ノ爲生育不良ニシテ不正確タルヲ免レス、窒素ノ吸收率ハ蛹粕及智利硝石八割、鯀粕、石灰窒素及硫安ハ約六割ナリ、下肥ノ吸收率少キハ本年ニ於ケル生育障害ニヨルモノニシテ常態ト認メ難シ

(ロ) 夏作種 (第四作目)

生育狀況及收量比 (甲、乙二區平均)

試驗區名	生育		收量		前二ヶ年平均比
	草丈	穗數	種子量	收量比	
無窒素區	一八	三三	四三	九	一〇〇
硫酸アンモニア區	一九	三七	四四	九	一〇〇
智利硝石區	二二	四〇	五三	九七	一〇〇
大豆粕區	二二	三五	五五	一〇〇	一〇〇
菜種粕區	一九	三五	五五	一〇〇	一〇〇
鯀粕區	一三	四二	四九	八二	一〇〇
蛹搾粕區	一八	四二	四九	八二	一〇〇
人糞尿區	一四	四〇	四七	八二	一〇〇
堆肥區	二二	四二	四九	八二	一〇〇
蠶糞區	一七	三五	四二	七五	一〇〇
石灰窒素區	一八	四三	四九	八二	一〇〇

右試験ハ蟲害ノ爲メニ生育均一ヲ缺キ判然タル成蹟ヲ表ハサス依テ肥効率ノミヲ求メタリ即チ硫安、智利硝石、豆粕等ハ肥効率最モ高ク下肥、石灰窒素之ニ亞キ蠶糞、堆肥、菜種粕等ハ奏効最モ少シ而シテ蛹粕區、鯀粕區等ハ螟蟲ノ食害甚タシク肥効率ヲ求ムル能ハス

(丙) 窒素奏効率査定試験摘要

前記水田及畑ニ於ケル表裏兩作試験成蹟ヲ摘録スレハ次ノ如シ

試驗區名	肥効			率			吸收		
	水稻	裏大麥	畑大麥	平均	水稻	裏大麥	畑大麥	平均	
無窒素區	一〇〇	一四八	二八	一〇〇	七	六	五	六	
硫酸アンモニア區	一〇〇	一四八	二八	一〇〇	七	六	五	六	
智利硝石區	一〇〇	一四八	二八	一〇〇	七	六	五	六	
大豆粕區	一〇〇	一四八	二八	一〇〇	七	六	五	六	
菜種粕區	一〇〇	一四八	二八	一〇〇	七	六	五	六	
鯀粕區	一〇〇	一四八	二八	一〇〇	七	六	五	六	
蛹搾粕區	一〇〇	一四八	二八	一〇〇	七	六	五	六	
人糞尿區	一〇〇	一四八	二八	一〇〇	七	六	五	六	
堆肥區	一〇〇	一四八	二八	一〇〇	七	六	五	六	
蠶糞區	一〇〇	一四八	二八	一〇〇	七	六	五	六	
綠肥區	一〇〇	一四八	二八	一〇〇	七	六	五	六	

石灰窒素區

二九	一九	一三	五	二八	六	七	六	七
----	----	----	---	----	---	---	---	---

以上成績ヲ概論スレハ肥料中ノ窒素カ作物ニ吸收セラル、率ハ肥料ノ種類ニ依リ異ルモ含有窒素ノ四乃至八割ナリ、一般吸收率ハ水田ニ高ク畑ニ低シ而シテ其差ハ無機肥料及動物肥料ニ於テ二割減、植物肥料ニテ四割減ニシテ堆肥、糞糞等ハ其差大ナラス、水田及畑ヲ平均シ含有窒素ニ對スル有効窒素ハ無機及動物肥料ニテ七割、豆粕、綠肥、下肥ニ於テ五割五分、糞糞、堆肥、油粕ニ於テ四割内外ナルカ如シ尙繼續試驗シテ正確ヲ期セムトス

三、三要素適量試驗 (繼續水田及畑)

本試驗ハ主要作物ニ對スル三要素ノ施用適量ヲ查定シ併セテ本試驗ト土壤中可吸体養分量並ニ三要素試驗トノ關係ヲ調査セム爲施行シツ、アルモノニシテ一般法ニ據リ栽培シ其成績ヨリ適量ヲ算出シタリ、今其算定ニ關シ備考ヲ列記センニ

- (イ) 收量ハ總テ甲、乙二區ノ平均ニヨリ求メタリ從テ各區間ノ收量ハ一割以上ノ差(試驗誤差ノ範圍)アルニ非スムハ優劣比較ノ根據確實ナラス
- (ロ) ポットニテ得タル收量ヲ直チニ反當量ニ換算スルハ不合理ノ嫌アルヲ以テ圃場試驗ニ於ケル密植ニ對スル普通植ノ減收率(稻二割五分麥ハ其儘)ヲ差引キテ反當量ヲ算出セルモ尙不完全タルヲ免レス
- (ハ) 肥料代及穀價ハ時價ノ變動甚タシク標準ヲ採ルニ困難ナレトモ假リニ玄米一石四〇圓、大麥一石十七

圓、窒素一貫匁六圓五十錢、磷酸一貫匁一圓二十錢、加里一貫匁一圓トシテ收益ヲ計算シタリ
 (ニ) 増收益ナル頃ハ増收穀價ヨリ増加肥料代ヲ減シタル差額ニシテ大ナルモノ程收益多キヲ示ス
 (甲) 水田ニ於ケル三要素適量試驗
 (イ) 水 稻 (第五作目)

試驗區別	生育		收量		平均收量	全反當換算收量	増收量	増收益(肥料代差引)
	草丈	穗數	稈重	籾重				
窒素	一貫匁區	二、四六	四〇	九六	五、四	二、四七八	一貫匁區ニ對スル増收量	對一貫匁區
	二貫匁區	二、五九	四四	一〇〇	五、八	三、〇三八	〇、五六〇	一九、一五
	三貫匁區	二、五九	四三	一〇七	七、三	三、一八三	〇、七〇五	二、七〇
	四貫匁區	二、六八	四七	一七五	八、〇	三、四八六	一、〇〇八	三〇、五七
	五貫匁區	二、六八	四七	一五五	六、三〇	三、七二三	一、二三五	三六、四〇
	六貫匁區	二、六八	四七	一五五	七、九〇	三、九九四	一、四七六	四二、七九
	七貫匁區	二、六八	四七	一五五	八、一五	三、九四〇	一、四六二	三八、九八
	八貫匁區	二、六八	四七	一五五	八、一五	三、九四〇	一、四六二	三八、九八
	九貫匁區	二、六八	四七	一五五	八、一五	三、九四〇	一、四六二	三八、九八
	一〇貫匁區	二、六八	四七	一五五	八、一五	三、九四〇	一、四六二	三八、九八
磷酸	一貫匁區	二、七〇	四〇	一三五	九、七、〇	四、〇五二	〇、二二七	八、二八
	二貫匁區	二、七〇	四〇	一三五	九、七、〇	四、〇五二	〇、二二七	八、二八
	三貫匁區	二、七〇	四〇	一三五	九、七、〇	四、〇五二	〇、二二七	八、二八
	四貫匁區	二、七〇	四〇	一三五	九、七、〇	四、〇五二	〇、二二七	八、二八
	五貫匁區	二、七〇	四〇	一三五	九、七、〇	四、〇五二	〇、二二七	八、二八
	六貫匁區	二、七〇	四〇	一三五	九、七、〇	四、〇五二	〇、二二七	八、二八
	七貫匁區	二、七〇	四〇	一三五	九、七、〇	四、〇五二	〇、二二七	八、二八
	八貫匁區	二、七〇	四〇	一三五	九、七、〇	四、〇五二	〇、二二七	八、二八
	九貫匁區	二、七〇	四〇	一三五	九、七、〇	四、〇五二	〇、二二七	八、二八
	一〇貫匁區	二、七〇	四〇	一三五	九、七、〇	四、〇五二	〇、二二七	八、二八

里加	一貫五 二貫五	二、七 二、七	六 五九	一六三 一八四	九 一〇六	八七、〇 八三、〇	一〇一、七 八九、二	四、二五七 三、六九八	〇、四四〇 一貫五區ニ對スル増收量	一四、六〇 對一貫五區
里加	二貫五	二、七	六	一六三	九	八七、〇	一〇一、七	四、二五七	〇、四四〇	一四、六〇

右成蹟ハ小面積ナルポットノ收穫ヲ反當ニ換算セルモノナルヲ以テ收量異常ニ多ク從テ經濟的限度ヲ決定スルヲ得サレトモ有利ナル適量ハ之ヲ求ムルニ難カラス即チ各區間收量增加ノ傾向ヨリ考察シ窒素ハ三貫五百勿磷酸ハ三貫勿加里二貫勿ヲ其適量ト推定スルヲ得ヘク之ヲ前年度成蹟ニ比スルニ稍々一致セルヲ認ム

(ロ) 水田裏作大麥 (第四作目)

試驗區別	生	育	收	子	量	平均收量	全反當換算收量	增收量	增收益(肥料代差引)
一貫五區	一、七	三三	三三	三三	五〇	六八、七	四、六七	一貫五區ニ對スル反當增收量	對一貫五區
一貫五區	二、三	三五	三六	三六	五五	七三、五	四、九三	〇、三六	一、一七
二貫五區	二、二	四三	三九	三九	五六	八〇、三	五、四六	〇、七九	六、九三
二貫五區	二、三	三七	四七	四七	五六	八六、二	五、八六	一、一九	一〇、四八
三貫五區	二、四	四八	五三	五三	六二	九八、九	六、七二	二、〇五	二二、八五
三貫五區	二、四	四四	四七	四七	七五	九八、九	七、〇〇	二、三三	二二、三六
四貫五區	二、五	五四	六〇	六〇	八〇	一一五、二	七、八三	三、一六	三四、二三
五貫五區	二、三	四六	五三	五三	九六	七二、〇	四、九〇	五、〇〇	對五百勿區
一貫五區	二、五	三五	四三	四三	六〇	七二、〇	四、九〇	五、〇〇	對五百勿區

磷 酸

里加	一貫五 二貫五	二、六 二、五	六 六二	六 六〇	九 九九	一〇一、七 一〇五、四	六、九一 七、一七	二、〇一 二、二七	三、八〇 三、六九
里加	二貫五	二、五	六	六〇	九	一〇一、七	六、九一	二、〇一	三、八〇

本表モ前述ノ如ク其數字ヲ以テ直チニ圃場ニ適用スルハ不合理ナレトモ有利ナル適量ハ窒素四貫五、磷酸二貫五百勿、加里一貫五ナリト推定セサル可カラス但シ窒素ノ四貫五ハポットノ如キ管理ノ状態ニテ始メテ適量トスルヲ得ルモノニシテ圃場ニ於テハ寧ロ三貫五百勿位ヲ適量トセンカ之ヲ前年度ニ比スルニ窒素ニ於テ適量一貫五ヲ増セリ蓋シ肥料價ニ對シ穀價ノ騰貴率高キニ因ル、尙繼續試驗セントス

(乙) 畑ニ於ケル三要素適量試驗
(イ) 大 麥 (第三作目)

試驗區別	生	育	收	子	量	平均收量	全反當換算收量	增收量	增收益(肥料代差引)
一貫五區	二、一	五三	三九	三九	五九	八〇、五	五、四七	一貫五區ニ對スル反當增收量	對一貫五區
一貫五區	二、二	八三	三七	三七	七五	九五、八	六、五二	一、〇四	四、四三
二貫五區	二、二	五六	三六	三六	七二	八九、三	六、〇七	〇、六〇	三、七〇

試驗區別	素			磷			加		
	二貫五百	三貫	四貫	一貫	二貫	三貫	二貫	一貫	二貫
草丈	二、三	二、二	二、三	二、四	二、三	二、四	二、三	二、四	二、五
穗數	五二	五〇	五五	六〇	五五	六〇	五五	六〇	五五
稈重	四三	四〇	四六	五〇	四六	五〇	四六	五〇	四三
子量	七二	七四	七四	八〇	七五	八〇	七五	八〇	七四
實量	九七、三	九四、七	一〇四	一一三	一〇四	一一三	一〇四	一一三	九七、三
ポット 米量	九七、三	九四、七	一〇四	一一三	一〇四	一一三	一〇四	一一三	九七、三
反算當量	六、六二	六、四四	六、六二	七、〇八	六、六二	七、〇八	六、六二	七、〇八	六、六二
增收量	一、一五	〇、九七	一、一五	〇、四四	〇、五九	一、一五	〇、四四	〇、五九	一、一五
增收益(肥料代差引)	九、八〇	三、四九	九、八〇	〇、〇八	八、六六	九、八〇	〇、〇八	八、六六	九、八〇

右成蹟ニ據レハ畑作大麥ニ於ケル肥料ノ有利ナル適量ハ窒素三貫五百、磷酸二貫、加里一貫、加里一貫、加里一貫ナルカ如シ、之ノ數字ハポット收量ヲ反當ニ換算セルモノナルカ故ニ肥料ノ經濟的限度ヲ決定スルコト困難ナリ

(ロ) 夏作陸稻 (第四作目)

前年度ニ於テハ稗作ナリシモ今年度ヨリ陸稻ニ改メタリ其成蹟ヲ求ムレハ次ノ如シ

試驗區別	素			磷			加		
	二貫五百	三貫	四貫	一貫	二貫	三貫	二貫	一貫	二貫
草丈	二、三	二、二	二、三	二、四	二、三	二、四	二、三	二、四	二、五
穗數	五二	五〇	五五	六〇	五五	六〇	五五	六〇	五五
稈重	四三	四〇	四六	五〇	四六	五〇	四六	五〇	四三
子量	七二	七四	七四	八〇	七五	八〇	七五	八〇	七四
實量	九七、三	九四、七	一〇四	一一三	一〇四	一一三	一〇四	一一三	九七、三
ポット 米量	九七、三	九四、七	一〇四	一一三	一〇四	一一三	一〇四	一一三	九七、三
反算當量	六、六二	六、四四	六、六二	七、〇八	六、六二	七、〇八	六、六二	七、〇八	六、六二
增收量	一、一五	〇、九七	一、一五	〇、四四	〇、五九	一、一五	〇、四四	〇、五九	一、一五
增收益(肥料代差引)	九、八〇	三、四九	九、八〇	〇、〇八	八、六六	九、八〇	〇、〇八	八、六六	九、八〇

試驗區別	素			磷			加		
	二貫五百	三貫	四貫	一貫	二貫	三貫	二貫	一貫	二貫
草丈	二、三	二、二	二、三	二、四	二、三	二、四	二、三	二、四	二、五
穗數	五二	五〇	五五	六〇	五五	六〇	五五	六〇	五五
稈重	四三	四〇	四六	五〇	四六	五〇	四六	五〇	四三
子量	七二	七四	七四	八〇	七五	八〇	七五	八〇	七四
實量	九七、三	九四、七	一〇四	一一三	一〇四	一一三	一〇四	一一三	九七、三
ポット 米量	九七、三	九四、七	一〇四	一一三	一〇四	一一三	一〇四	一一三	九七、三
反算當量	六、六二	六、四四	六、六二	七、〇八	六、六二	七、〇八	六、六二	七、〇八	六、六二
增收量	一、一五	〇、九七	一、一五	〇、四四	〇、五九	一、一五	〇、四四	〇、五九	一、一五
增收益(肥料代差引)	九、八〇	三、四九	九、八〇	〇、〇八	八、六六	九、八〇	〇、〇八	八、六六	九、八〇

右成蹟ハ病蟲害等ノ爲メニ判然タラサレトモ要スルニ窒素ハ四貫、磷酸ハ三貫、加里一貫ヲ以テ適量トナスカ如シ但シ之ハポットニテ得タル數字ナル故其適量ハ實地圃場ニ適用スル場合ニハ高キニ過クルノ嫌ナキニ非ス尙繼續試験セントス

四、三要素試験 (繼續、水田及畑)

本試験ニ主要作物ヲ栽培スルニ必要ナル三要素ノ分量ヲ簡單ニ知ラムカ爲メニ施行シツ、アルモノニシテ併セテ土中有効成分量ヲ知り尙此試験成績ト三要素適量試験及ヒ可吸態養分量トノ關係ヲ調査セントス、栽培法ハ一般法ニ據リ其成績ヨリ三要素要求比並ニ天然供給ヲ算定スルコト次ノ如シ

(甲) 水田ニ於ケル三要素試験
(イ) 水 稻 (第五作目、甲乙兩區平均)

試験區名	生育		收穫		量		三ヶ年		完全區ニ對スル		對無窒素	
	草丈	穗數	稈重	子實	米	玄米	平均量	平均量	收量比	減收比	收量比	收量比
無肥料區	二、四〇	三	五八	四七	三三	三五	五三、〇	三七	四	四	五九	—
無窒素區	二、三五	二八	五八	四九	三九	四〇	五六、五	四〇	四	四	五九	—
無磷酸區	二、五八	五〇	一〇〇	八九	七三	七五	九四、五	七五	八三	四	五九	—
無加里區	二、七五	五八	一三〇	一〇〇	六六	七五	一二、〇	七六	八三	四	五九	—
完全區	二、六七	五九	一三一	一〇三	八〇	八二	一三、六	九二	九二	一〇〇	—	—

以上成績ニ據レハ三要素ノ要求割合ハ窒素ニ對シ磷酸〇、三加里〇、二ニシテ最モ多量ニ窒素ヲ必要トシ磷酸及加里ハ約其三分ノ一量ヲ以テ足レルカ如シ而シテ之ヲ前記三要素適量試験表ニ於テ同量ノ收穫ヲ得ルニ要スル三要素ノ施用量ヲ逆ニ檢索シテ求メタル數字ト比較スルニ大体ニ於テ等シキ傾向ヲ表スヲ見ル

(ロ) 裏作大麥 (第四作目 甲乙兩區平均)

試験區名	生育		收穫		量		二ヶ年平均		完全區ニ對スル		對無窒素	
	草丈	穗數	稈重	子實	米	玄米	平均量	平均量	收量比	減收比	收量比	收量比
無肥料區	一、六〇	一九	一〇	一八	二五	二五	二五、三	二四	—	—	—	—
無窒素區	二、〇〇	二三	二〇	二九	二五	二五	二五、五	二四	—	—	—	—
無磷酸區	一、六〇	二〇	九	一七	二七	二七	二七、三	二七	—	—	—	—
無加里區	二、二〇	五〇	四三	八三	五二	五二	五二、〇	九四	—	—	—	—
完全區	二、二五	五八	六九	八八	七〇	七〇	七〇、〇	一〇〇	—	—	—	—

右成績ニ據レハ三要素ノ要求割合ハ窒素ト同量ノ磷酸ヲ必要トシ加里ハ約其一割ニテ足レルカ如シ之ヲ畑作大麥ニ比スルニ磷酸ノ要求量甚タ大ナルヲ示ス三要素適量試験ニ於テモ亦之ノ傾向ヲ表セリ

(乙) 畑ニ於ケル三要素試験
(イ) 大 麥 (第三作目 甲乙兩區平均)

試験區名	生育		收穫		量		二ヶ年平均		完全區ニ對スル		對無窒素	
	草丈	穗數	稈重	子實	米	玄米	平均量	平均量	收量比	減收比	收量比	收量比
無肥料區	二、〇〇	三三	三三	三五	三三	三三	三三	四九	—	—	—	—
無窒素區	二、一〇	三三	二四	三五	三三	三三	三三	四九	—	—	—	—

完全區	無加里區	無磷區	無酸區
二、四〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇
八五	五九	六二	六二
六三	六八	六二	六二
六六	九三	八〇	八〇
六七	五五	四九	四九
九二	八五	七三	七三
一〇〇	八六	七三	七三
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

右成績ニ據レハ三要素要求割合ハ窒素一、磷酸〇、六加里〇、三ニシテ窒素ヲ最モ必要トシ磷酸ハ約其六割加里ハ更ニ其半量ヲ要求シ之ヲ三要素適量試驗表ヨリ求メタル率(約同量ノ收穫ヲ得ルニ要スル三要素施用量ヲ逆ニ檢索シテ求メタル窒素ニ對スル他要素ノ比)ト比較スルニ大体ニ於テ一致スルヲ認ム

(ロ) 夏作陸稻 (第四作目 甲乙兩區平均)

試驗區別	生育		收穫		量		完全區ニ對スル收量比	全減收比	對無窒素區收量比
	草丈	穗數	稈	粒	米	米			
無肥料區	二、〇五	二七	三三	四七	三五	五	一〇〇	一〇〇	一〇〇
無窒素區	一、九二	三七	四二	四七	三三	五	一〇〇	一〇〇	一〇〇
無磷酸區	二、三三	六三	八九	四七	八〇	九七	一〇〇	一〇〇	一〇〇
無加里區	二、三三	六三	一〇四	四七	八〇	九七	一〇〇	一〇〇	一〇〇
完全區	二、四〇	六二	八五	四七	八五	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

右成績ハ完全區蟲害ノ爲メニ判然セル結果ヲ表サス要スルニ窒素ヲ最モ多量ニ要求シ磷酸及加里ノ必要度甚タ少キカ如シ

(丙) 養分天然供給量査定

上記記載セル成績ニ據リ其收穫物中ニ含有セラルル三要素ノ分量ヲ求メ養分ノ天然供給量ヲ試ニ算出スレハ次表ノ如シ

養分天然供給量算定表

成分	ポット中ノ天然供給量			全上反當換算量			全上反當普通植ニ改算量		
	稻	麥	畑麥	稻	麥	畑麥	稻	裏麥	畑麥
窒素	一、〇一〇	〇、八五〇	一、一九〇	二、一七三	一、八二二	二、五三三	一、七三六	一、四四九	二、〇二八
磷酸	〇、六〇〇	〇、一八〇	〇、五二〇	一、二七八	〇、五九六	一、一〇八	一、〇三三	〇、四七七	〇、八八一
加里	一、三五〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二、八七五	二、一四四	二、三三〇	二、一〇〇	一、七五五	一、七〇四

右表ニ據リ養分天然供給量ハ水稻ニ對シテハ窒素一貫七百匁磷酸一貫匁及加里二貫四百匁ニシテ前年ノモノニ大差ナク、裏作大麥ニ對シテハ窒素一貫四百匁磷酸五百匁加里一貫七百匁、畑作大麥ニ於テハ窒素二貫匁磷酸九百匁加里一貫七百匁ナルヲ知ル

以上ヲ概言スレハ三要素中加里分ハ天然ニ供給セラル、量最モ多ク殊ニ水田ニ於テ多量ニシテ從テ之カ施用ノ必要度小ナリ、磷酸ハ水稻及畑作大麥ニ對スル天然供給量ハ一貫匁内外ヲ示セルモ裏作大麥ニテハ其半ニ過キス從テ其施用量多キヲ要スヘシ、窒素ハ一貫五百匁乃至二貫匁ノ天然供給量アレトモ作物ノ吸収スル量

多キカ故ニ前二者ニ比シ多量ニ施スノ要アリ、以上天然供給量ハポットニテノ査定ナレハ實際ニ於ケルモノヨリモ其量大ニ過クルノ傾向アリ

無肥料區ニ對スル完全區ノ增收割合ヲ求ムルニ水稻ニ於テ十五割、裏作大麥ニ於テ三十五割、畑大麥ニ於テ十一割、陸稻ニ於テ八割ニシテ肥料効果ノ顯著ナルヲ示セリ

五、肥料効能比較試驗 (繼續水田)

本試驗ハ各種販賣肥料ノ窒素及磷酸ノ効能ヲ比較センカ爲施行シツ、アルモノニシテ水田狀態ポットニ於テ表裏兩作ニテ試驗セリ栽培ハ普通法ニ據リ其收穫物ニ就テ調査セル結果次ノ如シ

(甲) 窒素質肥料効能比較試驗

(イ) 水稻 (第三作目 甲乙兩區平均)

區名	肥料施用量 (ポット)	生育		收穫量		二ヶ年 平均粗米 (豆粕標準)	肥効率
		草丈	穗數	稈重	米重		
無窒素	一	一九三	一九	二七	二七	三三	一
リバー豆粕	四〇	二一五	二七	二八	二七	三〇	九七
椰子粕	八四	二一〇	三三	二五	二八	三〇	八六
蛹	三二	二一一	二七	二七	二七	三〇	九七
白大豆	四一	二二三	二六	二五	二七	三三	九七

試驗區名	施用 量 (ポット)	生育		收穫量		收量歩合 (豆粕標準)	肥効率
		草丈	穗數	稈重	子實量		
落花生粕	三、七	二、一〇	二四	二五	二五	二九	八六
絹絲紡績屑	二、六	二、〇〇	二五	二四	二五	三三	一八
大豆粕	三、八	二、一〇	二五	二四	二五	三三	一〇〇

右試驗成績ニ據レハ絹絲屑ノ肥効最大ニシテ豆粕ニ比シ約壹割以上肥効高クリバー豆粕漂白大豆蛹粕等其肥効畧大豆粕ニ等シク落花生粕及椰子粕ハ約一割豆粕ヨリモ肥効劣ルカ如シ尙試驗ヲ繼續施行セン

(ロ) 裏作大麥 (第二作目 甲乙兩區平均)

試驗區名	施用 量 (ポット)	生育		收穫量		收量歩合 (豆粕標準)	肥効率
		草丈	穗數	稈重	子實量		
無窒素	一	一、五〇	二二	二五	二五	七九	一
リバー豆粕	四〇	一、六〇	二四	二八	二八	一〇五	一三三
椰子粕	八四	一、八〇	二四	二八	二八	一〇五	七六
蛹	三、三	一、八〇	二三	二九	二九	一〇〇	一〇〇
漂白大豆	四、一	一、九〇	二四	二九	二九	一〇五	一〇〇
落花生粕	三、七	一、九〇	二三	二九	二九	九五	七六
絹絲紡績屑	二、六	一、七〇	二四	二七	二七	一〇〇	一〇〇
大豆粕	四、二	一、七〇	二三	二七	二七	一〇〇	一〇〇

大麥ニ對スル窒素ノ肥効ハリバー豆粕及漂白大豆ノ如キ脱脂十分ナルモノ、肥効最大ニシテ落花生粕及椰子

粕等ハ肥効大ニ劣ル其他ノモノハ豆粕ト同様ナル肥効ヲ現セリ尙繼續試驗セントス

(乙) 磷酸質肥料効能比較試驗

(イ) 水 稻 (第三作目 甲乙兩區平均)

試驗區名	肥料施用量 (ポット)	生育				量		二ヶ年 平均收量 過燐酸標準)	肥効率
		草丈	穗數	稈重	米重	米	平均收量		
無 磷 酸	0.98	2.05	2.0	2.5	1.7	8.5	1.9	100	
可溶磷酸(強過磷酸)	0.98	2.27	2.6	3.5	3.7	2.0	3.3	100	
動物性磷酸(蒸骨粉)	0.98	2.30	2.6	3.3	3.4	2.7	3.7	100	
植物質磷酸(米糠)	0.98	2.30	2.6	3.4	3.4	2.9	3.4	100	
不溶磷酸(木灰)	0.55	2.30	2.4	3.4	3.4	2.5	2.9	100	

右成蹟ニ據レハ可溶磷酸ノ肥効最大ニシテ動植物性ノモノハ其約六七割ノ肥効ヲ呈スルニ過キス木灰ノモノハ更ニ劣リ五割内外ノ肥効ヲ現ス尙繼續試驗セントス

六、刺戟肥料肥効試驗 (繼續)

刺戟肥料トシテラジウム礦肥及硫黃ノ肥効程度ヲ知り其經濟的關係ヲ試驗センカ爲施行セルモノニシテ普通法ニ據リ栽培シ之レニ刺戟肥料ヲ施用シ收量ノ増減ヲ試驗セルモノニシテ其成蹟次ノ如シ

(甲) ラジウム礦肥効能試驗 (畑表裏二作 甲乙兩區平均)

區別區名	施用 法	草丈	稈重	子實重	二ヶ年 平均收量	増收 歩合	表裏兩作 ラジウム 區増收歩合
冬作大麥	標準區 ラジウム加用區	2.2	5.5	2.8	1.8	100	130(歩合)
夏作 稗	標準區 ラジウム加用區	2.2	1.5	0.7	1.1	100	130(歩合)

右成蹟ニヨレハラジオゲンシユラム千瓦(二百六十六瓦)ヲ一反歩ニ加用シタル爲メニ得ラル、増收ハ表裏兩作ヲ平均シ約三割ニ及フ尙試驗ヲ繼續シ正確ヲ期セムトス

(乙) 硫黃肥効試驗 (水田表裏兩作)

大麥及水稻ニ對シ硫黃反當六貫ヲ施用セシモノハ枯死シテ收穫ヲ見ス、硫黃反當三貫尙區ハ標準區ヨリモ稍減收ナリキ之レポットノ小ニ過キタルト亞鉛製ナルニ基因セシカ、依テ設計ヲ變更シ反當施用量ヲ減シテ試驗セントス、要スルニ本場ノ如キ土塊ニ於テハ硫黃ヲ六貫尙使用スルハ水稻ニモ大麥ニモ害アリテ益ナキカ如シ

七、肥料施用方法試驗 (水田表裏兩作)

肥料ノ有利ナル施用方法ヲ驗知センカ爲二三ノ普通肥料ニ就テ試驗セルモノナリ

(甲) 大豆粕粉碎程度肥効試驗 (甲乙兩區平均)

大豆粕粉砕度ノ精粗ハ農家ノ勞力ニ關スル處至大ナルヲ以テ其肥効ノ減却セサル範圍ニ於テ可及的勞力ノ節約ヲ圖ルノ必要上細粉(直徑〇.五ミリ)トセルモノ及食指大(一〇耗)ノ直徑ヲ有スルモノ、二様ニ粉砕シタルモノヲ施用シテ稻及麥ニ對スル肥効ヲ試驗セリ其成績次ノ如シ

試驗區名	水		裏作		平均增減率
	重	子實重	重	子實重	
豆粕〇、五耗區	五.五	三.九	八.五	八.五	平均增五分
豆粕拾耗區	六.六	四.三	六.八	七.五	
		對〇、五耗區 增減率		對〇、五耗區 增減率	
		增七分		減一割二分	

右試驗成績ニヨレハ水稻ニ於テハ粉細シタルモノ、効果ハ反テ粗碎セルモノニ及ハス之レ生育ノ初期ニ於テ分解速ニ從テ流亡セシモノナラムカ、畑ニ於テハ粉碎セルモノハ粗碎セルモノニ比シ一割一分ノ增收アリ尙試驗ヲ繼續シテ眞偽ヲ確メムトス

(乙) 蠶糞施用法試驗 (水田裏兩作)

蠶糞ヲ乾燥ノ儘施用スルト之ニ水ヲ加ヘ溜トシ醱酵セシメテ施用スルト其肥効ニ幾何ノ差異アルヤヲ稻及麥ニ就テ試驗セルモノニシテ調査結果次ノ如シ

試驗區別	水		稻		大		平均對乾燥區 增收
	重	子實重	對乾燥區增減	重	子實重	對乾燥區增減	
乾燥蠶糞區	三.三	二.七	減三分	一.〇	四.四	六.四	增二割四分
醱酵蠶糞區	三.三	二.七	減三分	一.〇	四.四	六.四	增五割

右試驗ハ虫害ノ爲成績判然タラサルモ大体ニ於テ水稻ニ於テハ蠶糞ヲ其儘施用スルモ其肥効醱酵後施用セルモノニ劣ラス然ルニ畑ニ於テ之ヲ醱酵シテ施用スルヲ遙ニ利アリトシ乾燥施用區ニ比シ五割ノ増加ヲ得タリ尙試驗ヲ繼續シテ正確ヲ期セムトス

八、地力維持試驗 (水田裏兩作)

有機質及無機質ノ各種肥料作物ノ生育ニ及ホス反應ノ影響及其連用ニヨル障害ノ有無程度並ニ改良方法ヲ試驗研究センカ爲施行セルモノニシテ栽培ハ普通法ニヨリ肥料ノミ次ノ數區ニ分チテ與ヘタリ但シ施用要素量ハ窒素二貫五百匁、磷酸二貫匁、加里一貫七百匁ナリ

試驗區名	大		水		稻		平均
	收	子實量	收	子實量	收	子實量	
一、無機質肥料區	九.〇	八.五	六.四	三.七	—	—	—
		對標準區石 灰區收量比		對標準區 石灰區收量比		對標準區 石灰區收量比	
		對無機肥料 區收量比		對無機肥料 區收量比		對無機肥料 區收量比	

二、全石灰區	八〇	一、〇	增三割	增三割	六	元	增〇、五割	增〇、五割	增一、七割
三、有機質肥料區	六〇	九、五	增一、二割	增一、二割	五	元	減〇、三割	增〇、五割	增〇、五割
四、全石灰加用區	六〇	一〇、〇	增〇、五割	增一、七割	三	元	增〇、三割	增〇、五割	增一割
五、混用肥料區	六〇	二、五	增四、六割	增四、六割	三	元	增〇、三割	增〇、五割	增二、五割
六、全石灰加用區	七、五	一三、五	增〇、六割	增五、八割	四	元	減一、八割	減一、五割	減〇、八割

右成蹟ニヨレハ水稻、大麥ノ結果ヲ平均シ無機肥料ノ酸性ヲ石灰ニテ中和スレハ約二割酸性有機質ノ酸性ヲ石灰ニテ中和スレハ約一割ノ增收ヲ得而シテ混用肥料ニ石灰ヲ加ヘタルモノハ增收前者ノ如ク著シカラス又無機肥料ニ對スル他區ノ收量歩合ヲ見ルニ有機肥料區ハ〇、五割混用肥料區ハ二割五分ノ增收ヲ示セリ之ヲ要スルニ施用肥料ノ酸性ハ石灰ニテ中和スルヲ可トシ特ニ無機酸ノモノニ之ノ必要大ナルヲ見ル而シテ無機肥料ヨリモ有機肥料ヲ用ウル場合ニ常ニ收量大ナリ之等ノ傾向ハ大麥ニ於テ特ニ著シ

九、蠶糞貯藏試驗 (完結)

本試驗ハ蠶糞ノ貯藏中ニ於ケル窒素ノ損失ヲ簡易ニ防止シ得ヘキ方法ヲ驗知センカ爲前年來繼續施行セルモノニシテ五齡期ニ於テ日々産出スル新鮮蠶糞(練沙ヲ混セス)中ノ窒素量ヲ求メ置キ之ヲ種々ナル方法ニ據リ逐次貯藏シ七十日間ヲ經過セル後分析シテ窒素損失量ヲ求メ其多少ヲ比較セル試驗ニシテ春蠶糞及秋蠶糞ニ就テ施行セリ其成蹟次ノ如シ

(甲) 春蠶糞ノ部 (蠶糞百貫々七十日間貯藏)

區號	處理方法摘要	貯藏後處含窒素量	貯藏ニヨル損失窒素量	全價格見積	三ヶ年平均損失量	全上損失窒素歩合
一	標準(新鮮原蠶糞) 産出ノ儘堆積	二二九	一	(原蠶糞) 五三九	(原蠶糞) 一三三	四割
二	日乾	五五三	六四	二九〇	四九六	三、〇
三	過磷酸ト混合堆積	八〇〇	三七八	一七〇	三三九	二、五
四	土壤ト混合堆積	八八五	三三二	一、四五	二八五	三、二
五	水及過磷酸ト混合溜	七〇三	四九五	二、二三	三六一	一、九
六	堆積	九七	二七〇	一、一〇	二二六	〇、九
七	堆積	一、〇六	一三三	〇、五九	一五	

備考 窒素一貫々ヲ四圓五十錢(豆粕窒素ノ七割)トシテ計算セリ

右成蹟ニヨレハ蠶糞ハ其儘堆積スレハ原蠶糞窒素ノ約半量ヲ損失ス然ルニ之ヲ適當ノ處理法ノ下ニ於テハ損失窒素ヲ一割ニ減スルヲ得ヘク而シテ最モ損失量少キ貯藏法ハ糞ト堆積セルモノナリ

(乙) 秋蠶糞ノ部 (蠶糞百貫々七十日貯藏)

區號	處理方法摘要	貯藏後處含窒素量	貯藏ニヨル損失窒素量	全價格見積	二ヶ年平均損失量	損失窒素歩合
一	標準(新鮮原蠶糞) 産出ノ儘堆積	(九一六)	一	(原蠶糞) 四、一三	(原蠶糞) 一、四〇	六割
二	堆積	三〇四	六二	二七五	七九	

三	日 乾	四九九	四二六	一、八七	四九七	四、〇
四	過 磷 酸 堆 積	六九三	三三	一、〇〇	三三	二、六
五	土 壤 混 合 堆 積	一八二	七四	三、三〇	七三	五、八
六	水 及 過 磷 酸 混 合 溜	八四九	七	三	一九九	一、六
七	糞 堆 積	八五四	六二	二八	三九	〇、三

右成績ヲ見ルニ其傾向略春蠶ニ於ケルモノニ等シケレトモ氣温高キカ爲其儘堆積シ又ハ日乾セルモノハ減損窒素量多シ

(丙) 成績摘要 (春秋蠶糞平均)

區 號	貯 藏 處 理 方 法 摘 要	貯藏ニヨル 損失窒素	全上價格見積	損失窒素歩合	損失順位
二	生産セルモノヲ其儘堆積ス(原品ハ發熱シ微ヲ生ス)	六二七	二八二	五、六	六
三	生産セルモノヲ直チニ日光ニテ乾燥ス(僅カニ白粉ヲ生ス)	三九七	一、七六	三、六	四
四	蠶糞量ノ五%ニ相當スル過磷酸ヲ加ヘ日々生産セルモノヲ堆積ス	二六七	一、一〇	二、四	三
五	二倍ノ水ト過磷酸三%相當量ヲ混加シ溜中ニテ醗酵セシム	一七〇	〇、七六	一、五	二
六	蠶糞ハ直チニ土壤ニ倍量ヲ混シ日々生産スルモノヲ層狀ニ堆積ス	六四	二、七六	五、五	五
七	蠶糞ト全量ノ糞ヲ混シ注水シ日々生産スルモノヲ層狀ニ堆積シ後切返ス	九六	〇、四三	〇、九	一

一	標準原蠶糞 (新鮮蠶糞ヲ硫酸中ニ貯ヘ後分析ス)	原蠶糞窒素 二八二	全上價格 五、三二		
---	-------------------------	-----------	-----------	--	--

結 論

- 一、蠶糞ハ生産セルモノヲ其儘堆積放置スルトキハ醗酵發熱シ窒素分ヲ揮發損失ス而シテ其量ハ原蠶糞ニ含有セラル、窒素分ノ約六割ニ及フ
- 二、蠶糞ハ生産セルモノヲ直チニ日乾スルトキハ窒素分ヲ損失ス而シテ其量原蠶糞含有窒素ノ四割ニ及フ尙此ノ損失量ハ五齡盛食期以後ノモノニ於テ著シ
- 三、蠶糞ハ土壤ト混合堆積スルトキハ窒素ヲ損失スル量比較的大ニシテ其儘堆積セルモノハ大差ナシ
- 四、蠶糞ノ貯藏中ニ於ケル窒素ノ損失量ヲ可及的僅少ナラシムルニハ之ヲ糞又ハ塵芥ト堆積シ十分灌水シ後切返シテ堆肥トスヘシ此法ニヨレハ窒素ノ損失量ヲ一割以内ニ留メ得、次ニ有利ナルハ過磷酸及水ヲ加ヘテ溜トスル法ニシテ窒素ノ損失量ヲ二割以内ニ留メ得、蠶糞ニ五%量ノ過磷酸ヲ加ヘ貯藏スルモノハ窒素損失量二割五分内外ナリトス

一〇、不良土改良栽培試驗

本試驗ハ前年來ノ繼續ニシテ管内ニ於テ五十町歩以上ノ圃地ヲナシ作物ノ生育著シク不良ナル箇所ヲ選定シ之カ改良法ヲ講セム爲現地調査並ニ土壤分析ヲ施行シ之ト附帶シテ肥料ニテ改良スヘキ方法ヲ驗知セムカ爲豫備試驗トシテ施行セルモノニシテ栽培方法ハ大要一般法ニ據リ肥料ハ反當窒素三貫匁(硫酸(磷酸)二貫(過

磷酸) 加里一貫五百多(炭酸加里)ヲ施用シ尙炭酸石灰三十貫ヲ補助肥料トシテ施用シ次ノ數項ニ亘リ試驗セ

(一) 試驗區別

- (甲) 地力試驗
 - 一、無肥料區 三要素ヲ施用セス石灰ノミ標準量施用
 - 二、無窒素區 窒素ノミ施用セス其他ハ標準量施用
 - 三、無磷酸區 磷酸ノミ施用セス其他ハ標準量施用
 - 四、無加里區 加里ノミ施用セス其他ハ標準量施用
 - 五、三要素區 全部標準量施用
 - 六、無石灰區 前者中石灰ノミヲ施用セス
 - 七、石灰普通區 第五區ト全樣即チ石灰三十貫施用
 - 八、石灰多量區 三要素ハ標準量石灰ハ九十貫施用
 - 九、無磷酸區 第三區ニ全シ
 - 十、磷酸三貫區 第五區ニ全シ
 - 十一、磷酸多量區 磷酸ノミ標準量ノ三倍(九貫)其他ハ標準量
 - 十二、三要素區 第五區ニ全シ
 - 十三、有機質多量區 堆肥反當五百貫不定窒素ヲ硫酸ニテ補給
 - 十四、無加里區 第四區ニ全シ
 - 十五、加里普通區 第五區ニ全シ
 - 十六、加里多量區 加里ノミ普通量ノ三倍其他ハ標準量
- (乙) 石灰 効能試驗
 - 一、無石灰區
 - 二、石灰普通區
 - 三、石灰多量區
- (丙) 磷酸 効能試驗
 - 一、無磷酸區
 - 二、磷酸三貫區
 - 三、磷酸多量區
- (丁) 有機質 効能試驗
 - 一、有機質多量區
 - 二、無加里區
 - 三、加里普通區
 - 四、加里多量區
- (戊) 加里 効能試驗
 - 一、加里多量區
 - 二、加里普通區
 - 三、加里多量區

(二) 試驗地

- (甲) 藪塚土壤 新田郡藪塚本町大字大久保土壤ニシテ第四紀古層ニ屬スル赤褐色砂質壤土、乾燥瘠薄ナル一帯ノ平地帶ナリ、之種ノ土壤ハ同地方ノ外同郡笠懸村、佐波郡東、赤堀、殖蓮村、山田郡大間々町、相生村等ノ各町村ニ亘リ廣大ノ面積ニ露出ス
- (乙) 妙義裾野土壤 試驗地ハ碓氷郡松井田町大字新堀東泉原ニシテ浮石ヲ混セル輕鬆墟土ニシテ心土ハ浮石ノ礫ヲ混セル黑粘土ナリ植物ノ生育極メテ不良、荒蕪地ナリ此土質ニ類似セルモノハ碓氷郡坂本町、白井町東横野村、北甘樂郡妙義町ニ亘リ稍廣キ面積ヲ占ム
- (丙) 美野原土壤 吾妻郡澤田村、中之條町、伊參村ニ跨リ廣大ノ面積ヲ占ムル高原地帶ニシテ表土ハ輕鬆黑色ノ腐植質土其下層ハ赤色粘土ナリ之ニ類スル土壤ハ利根、勢多、群馬、各郡ノ高原地ニ露出ス
- (丁) 赤城裾野土壤 第四紀古層ニ屬スル黑色墟土ニシテ底土ハ赤黃褐色ノ粗粘土ナリ然レトモ西部ニ於テハ下層ニ浮石ヲ混シ群馬郡及利根郡ニ露出スルモノト相似タリ試驗地ハ大胡町大字金丸御料地ニシテ開墾地多シ
- (戊) 山田郡矢場川村谷中土壤 表土ハ黑色粘質土壤土下層土ハ青色重粘土ニテ排水極メテ不良低濕ナル一毛田ナリ

(三) ボット試驗收量成績 (第三又ハ第四作目)